平成18年度第7回診療報酬調査専門組織・慢性期入院医療の包括評価調査分科会

日時 : 平成19年3月14日 (水) 14:00~16:00

場所 : 全国都市会館 第 1 会議室 (3 階)

議事次第

- 1 平成18年度慢性期入院医療の包括評価に関する調査について
- 2 その他

前回分科会(3月8日)資料の訂正項目について

1. 患者特性調査(医療療養病棟)別紙1

番号	訂正箇所		訂正			
1	P1~P8 各表 平成 18 年度調査結果表 で、平成 17 年度調査結果と 比較し、割合が顕著に異な る項目。	平成 18 年度調査結り て、3%以上の増減があ 3%以上減少には↓印を	った場合に矢			
2	P4 入退院の状況					-
	<平成 18 年度のみ> 退院先の見通し(「2. 今後 受け皿が整備されれば退院 できる」の回答者) 集計表の%表示部分	《平成18年度のみ》 退院先の見急し(12、今後受け皿が整備 されれば退院できるJの回答者) 1. 自宅(家族等にの同居も含む) 2. グループホーム 3. 有料老人ホーム 4. ケアハウス(軽費老人ホーム含む) 5. 介護老人福祉施設(特別要護老人ホーム) 6. 介護老人保健施設 7. 他の医療機関の一般病床 8. 他の医療機関の一般病床 9. 他の医療機関のその他の病床 10. 自院の障害者施設等入院基本料算定 病棟 11. 自院の一般病床(10.の病棟を除く) 12. 自院のその他の病床 13. その他 無回答 全一体	医療区分1 68 20.4% 5 1.5% 3 0.9% 9 2.7% 105 31.4% 90 26.9% 3 0.9% 4 1.2% 0 0.0% 0 0.0% 9 2.7% 10 3.0% 2 0.6% 2 0.6% 2 0.6% 3 3.4 100.0%	平成18年度課3 医療区分2 43	医療区分3 12 3.6% 1 0.3% 1 0.3% 1 0.3% 1 3.3% 23 6.9% 5 1.5% 20 0.0% 0 0.0% 0 0.0% 1 0.3% 0 0.0% 0 0.0% 1 0.3% 0 0.0% 1 0.3% 0 0.0% 1 0.3% 0 0.0% 1 0.3% 0 0.0% 1 0.3% 0 0.0% 1 0.3% 0 0.0% 1 0.3% 0 0.0% 1 0.3% 0 0.0% 1 0.3%	23 36.8% 11 3.3% 15 4.5% 14 4.2% 216 64.7% 217 65.0% 13 33.8% 7 2.1% 0 0.0% 1 0.3% 20 6.0% 13 3.9% 5 1.5% 768 229.9%
		【正】 《平成18年度のみ》 退院先の見通し(「2. 今後受け皿が整備	医療区分1	平成18年度調	董 (n=768) 医療区分3	→ 合計
		されれば退院できる」の回答者) 1. 自宅(家族等にの同居も含む) 2. グループホーム 3. 有料老人ホーム 4. ケアハウス(軽費老人ホーム含む) 5. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) 6. 介護老人保健施設 7. 他の医療機関の一般病床 8. 他の医療機関の一般病床 9. 他の医療機関の一般病床 10. 自除の障害者施設等入院基本料算定病機 11. 自院の一般病床(10.の病機を除く) 12. 自院のその他の病床 13. その他 無回答 全一体	68 20.4% 5 1.5% 3 0.9% 9 2.7% 105 31.4% 90 26.9% 3 0.9% 26 7.8% 4 1.2% 0 0.0% 0 0.0% 0 0.0% 10 3.0% 2 0.6% 3 3.0% 2 0.6% 3 3.4 100.0%	12.0% 5 1.4% 5 1.4% 11 3.19% 4 1.19% 100 27.99% 104 29.19% 5 1.49% 66 18.49% 3 0.89% 0 0.09% 1 0.39% 10 2.89% 3 0.89% 3 0.89% 3 0.89% 3 0.89% 3 100.09%	12 15.8% 1 1.3% 1 1.3% 1 1.3% 1 1.3% 1 14.5% 23 30.3% 5 6.6% 21 27.6% 0 0.0% 0 0.0% 0 1.3% 0 0.0% 0 0.0% 1 1.3% 0 0.0% 1 1.3%	123 16.0% 11 1.4% 15 2.0% 14 1.8% 216 28.1% 217 28.3% 13 1.7% 113 14.7% 7 0.9% 0 0.0% 1 0.1% 20 2.6% 13 1.7% 5 0.7% 768 100.0%
3	P5 その他の患者状態像 (医療区分採用項目以外)	【誤】 アルツハイマー病以外	の痴呆症			
	「疾患」の名称	【正】 アルツハイマー病以外				

番号	訂正箇所	訂正内容
4	P6 感染症(複数回答)	【誤】
		抗生物質性菌感染
	「感染症」の名称	
		[正]
		抗生物質 <u>耐</u> 性菌感染
5	P6 感染症(複数回答)	
	「尿路感染症」	医療区分採用項目の集計と内容重複のため、項目削除
6	P6 問題状況(複数回答)	
	「脱水」	医療区分採用項目の集計と内容重複のため、項目削除
7	P6 問題状況(複数回答)	
	「体内出血」	医療区分採用項目の集計と内容重複のため、項目削除

2. 患者特性調查 (医療療養病棟) 別紙1参考資料

番号	訂正箇所	訂正内容
1	P1~P8 各表	
	平成 18 年度調査結果表	平成 18 年度調査結果の各表において、平成17年度調査結果と比較し
	で、平成 17 年度調査結果と	て、3%以上の増減があった場合に矢印を付し、3%以上増加は↑印、3%
	比較し、割合が顕著に異な	以上減少は↓印を付す。
	る項目。また、別紙1と傾向	また、別紙1(平成17年度と平成18年度調査共通病院における比較)と、
	が異なる項目。	異なる傾向(矢印の有無、もしくは矢印の向きが異なる)を示す場合は、項目
		の左端に*印を付す。
2	P5 その他の患者状態像	【誤】
	(医療区分採用項目以外)	アルツハイマー病以外の痴呆症
	「疾患」の名称	(正)
		アルツハイマー病以外の認知症
3	P6 感染症(複数回答)	【誤】
		抗生物質性菌感染
	「感染症」の名称	
		(正)
		抗生物質 <u>耐</u> 性菌感染
4	P6 感染症(複数回答)	
	「尿路感染症」	医療区分採用項目の集計と内容重複のため、項目削除

3. 患者特性調查(介護療養病棟)別紙2

番号	訂正箇所	訂正内容
1	P1~P8 各表	
	平成 18 年度調査結果表	平成 18 年度調査結果の各表において、平成17年度調査結果と比較し
	で、平成 17 年度調査結果と	て、3%以上の増減があった場合に矢印を付し、3%以上増加は↑印、3%
	比較し、割合が顕著に異な	以上減少は↓印を付す。
	る項目。	
2	P3 入退院の状況	【誤】
	「退院先の見通し」	平成 18 年度調査(n=680)
	表頭のn数表示	(正)
		平成 18 年度調査(n=195)
3	P6 感染症(複数回答)	【誤】
		抗生物質性菌感染
	「感染症」の名称	
		(正)
		抗生物質 <u>耐</u> 性菌感染
4	P6 感染症(複数回答)	
	「尿路感染症」	医療区分採用項目の集計と内容重複のため、項目削除

4. 患者特性調查(介護療養病棟)別紙2参考資料

番号	訂正箇所	訂正内容
1	P1~P8 各表	
	平成 18 年度調査結果表	平成 18 年度調査結果の各表において、平成17年度調査結果と比較し
	で、平成 17 年度調査結果と	て、3%以上の増減があった場合に矢印を付し、3%以上増加は↑印、3%
	比較し、割合が顕著に異な	以上減少は↓印を付す。
	る項目。また、別紙1と傾向	また、別紙1(平成17年度と平成18年度調査共通病院における比較)と、
	が異なる項目。	異なる傾向(矢印の有無、もしくは矢印の向きが異なる)を示す場合は、項目
		の左端に*印を付す。
2	P1 医療区分採用項目	(誤)
	「24 時間持続点滴」	0.1%
	平成 18 年度調査、医療区	[正]
	分1における割合	0.0%
3	P5 その他の患者状態像	【誤】
	(医療区分採用項目以外)	アルツハイマー病以外の痴呆症
	「疾患」の名称(平成17年度	【正】
	調査結果)	アルツハイマー病以外の認知症
4	P6 感染症(複数回答)	
		抗生物質性菌感染
	「感染症」の名称	
		(正)
		抗生物質耐性菌感染
5	P7 処置·治療(複数回答)	
	「感染隔離病室におけるケ	医療区分採用項目の集計と内容重複のため、項目削除
	ア」	

5. 介護療養病床のみを有する病院の調査 別紙3

番号	訂正箇所		訂正内容	}		
1	P1 医療区分採用項目 「24 時間持続点滴」	【誤】 5 0.5%				
	平成 18 年度調査、医療区 分2における件数・%	(正) 0 0.0%				
2	P2 入退院の状況	[記]	医療区分1	医療区分2	医療区分3	2 #
	「調査病棟に入院する前の 状況」の選択肢8~12名称 (件数・%は訂正なし)	1. 自宅(家族等との同居も含む) 2. グルーブホーム 3. 有料を人ホーム 4. ケアハウス(経費を人ホーム含む) 5. 介護を人福仕施設(特別養護を人ホーム) 6. 介護を人保健施設 7. 他の医療機関の一般病床 8. 他の医療機関の一般病床(精神病床等) 10. 自院の一般病床(転棟) 11. 自院の一般病床(精神病床等)(転様) 12. わからない 無当答 全一体	128 10.9% 14 1.2% 2 0.2% 2 0.2% 20 1.7% 93 7.9% 694 59.0% 114 9.7% 54 4.6% 33 2.8% 13 1.1% 0 0.0% 9 0.8% 1,176 100.0%	91 9.2% 12 1.2% 0 0.0% 3 0.3% 15 1.5% 84 8.5% 617 62.3% 94 9.5% 31 3.1% 25 2.5% 9 0.9% 0 0.0% 10 1.0% 991 100.0%	20 10.5% 0 0.0% 1 0.5% 0 0.0% 5 2.6% 11 5.8% 125 65.4% 18 9.4% 6 3.1% 3 1.6% 0 0.0% 0 0.0% 2 1.0% 2 1.0%	239 10.1% 26 1.1% 3 0.1% 5 0.2% 40 1.7% 188 8.0% 1,436 60.9% 226 9.6% 91 3.9% 61 2.6% 22 0.9% 0 0.0% 21 0.9% 2,358 100.0%
		1. 自宅(家族等との両層も含む) 2. ブルーブホーム 3. 有料を人ホーム 4. ケアリウス(経費を人ホーム含む) 5. 介護を人福祉施設(特別養護を人ホーム) 6. 介護を人福祉施設(特別養護を人ホーム) 7. 他の医療機関の一般病床 8. 他の医療機関の一般病床 9. 他の医療機関の一般病床 10. 他の医療機関のその他の病床(精神病床)	28 10.9% 14 1.2% 2 0.2% 2 0.2% 20 1.7% 39 4 55.0% 6 14 9.7% 6 14 9.7% 6 13 1.1% 9 0.8%	野原区分2 91 9.2% 12 1.2% 0 0.0% 3 0.3% 15 1.5% 84 8.5% 17 62.3% 94 9.5% 31 3.1% 25 2.5% 9 0.9% 10 1.0%	医療区分3 20 10.5% 0 0.0% 1 0.5% 0 0.0% 5 2.6% 11 5.8% 125 65.4% 18 9.4% 6 3.1% 3 1.6% 0 0.0% 2 1.0%	239 10.1% 26 1.1% 3 0.1% 5 0.2% 40 1.7% 188 8.0% 1,436 60.9% 226 9.6% 91 3.9% 61 2.6% 22 0.9% 22 0.9% 2358 100.0%

番号	訂正箇所	訂正内容
3	P2~4 入退院の状況 「退院先の見通し」の選択肢 10~13 名称 (件数・%は訂正なし)	退院先の見通し
		9. 他の医療機関のその他の病床 10. 自院の障害者施設等入院基本料算定病棟 11. 自院の一般病床(10.の病棟を除く) 12. 自院のその他の病床 13. その他 無回答 全 体
		退院先の見通し 1. 自宅(家族等との同居も含む) 2. ヴループホーム 3. 有料老人ホーム 4. ケアハウス(軽費老人ホーム含む) 5. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) 6. 介護老人保健施設 7. 他の医療機関の一般病床 8. 他の医療機関の療養病床 9. 他の医療機関のその他の病床 10. その他無回答 全 体
4	P6 感染症(複数回答) 「感染症」の名称	【誤】 抗生物質性菌感染
		【正】 抗生物質 <u>耐</u> 性菌感染
5	P6 感染症(複数回答) 「尿路感染症」	医療区分採用項目の集計と内容重複のため、項目削除

6. タイムスタディ調査 別紙4

1 P1 個別ケア時間の職種別 (誤) (再掲)看護補助職 P2 患者1人1日当り職種別 人件費重み付けケア時間 (正) (再掲)看護補助者 「職種」の名称			
内訳 (再掲)看護補助職 P2 患者1人1日当り職種別 人件費重み付けケア時間 【正】 (再掲)看護補助者			
P2 患者1人1日当り職種別 人件費重み付けケア時間 (再掲)看護補助者			
人件費重み付けケア時間 【正】 (再掲)看護補助者			
(再掲)看護補助者			
「職種」の名称			
2 P2 職種別人件費の相対比 【誤】			
H16 H26 H26 H27 H27	<u>H18</u> 人件費	相対比	
H18年度調査とH16年度調	(円/時間)	THENT	
査の表示順を変更 医師 7,352 円 2.95 看護師 2,488 円 1.00	7,631 円	3.35 1.00	
(表の数値の変更はなし) 推着護師 2,023円 0.81	1,997 円	0.88	
	1,349 円	0.59	
リハスタッフ(PT,OT,ST) 2,046 円 0.82	1,802円	0.79	
その他職種(MSW.薬剤師.栄養士.その他) 2,139 円 0.86	1,808 円	0.79	
(正)			
H18 職種 人件費 相対比	H16 人件費	相対比	
(円/時間) 医師 7,631円 3.35	(円/時間) 7,352 円	2.95	
看護師 2,276 円 1.00	2,488 円	1.00	
准看護師 1,997 円 0.88	2,023 円	0.81	
看護補助者 1,349 円 0.59	1,454 F	0.58	
リハスタッフ(PT,OT,ST) 1,802 円 0.79 その他職種(MSW,薬剤師,栄養士,その他) 1,808 円 0.79	2,046 円	0.82	
		I	
4 P3 患者分類(11区分)別の 【誤】			
患者1人1日当り職種別人 最小値の網掛け部分 医療区分1·ADL 区分1・記	認知機能阿	章害なし	
件費重み付けケア時間の相			
対比 平成 18 年度調査 【正】			
最小値の網掛け部分 医療区分1·ADL 区分1・i	認知機能	章害あり	
最小値の網掛けの部分	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
5 P4~P17 H18 年度調査結			
果の各表 医療区分1のケア時間について、医療区分2全	体のケア問	寺間上り長	長い場
H18 年度の調査結果につい 合は↑印、医療区分3全体のケア時間より長い場合			1115
	, , ,		≡ , 、±⊟
して、医療区分毎のケア時間 医療区分2のケア時間について、医療区分3全体 フェー・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・			又い場
の水準が顕著に異なる項 合は↑印、医療区分1全体のケア時間より短い場合	は↓印を	付す。	
目。 医療区分3のケア時間について、医療区分2全位	体のケア師	寺間より知	短い場
合は↓印、医療区分1全体ケア時間よりも短い場合	は↓↓印	を付す。	

番号	訂正箇所	訂正内容
6	P8 6疾患の状態別ケア時	【誤】
	間(H18 年度)	VI1q 疾患 アルツハイマー病以外の痴呆症
	疾患名称	(正)
		VI1q疾患 アルツハイマー病以外の認知症
7	P9 6疾患の状態別ケア時	【誤】
	間(H16 年度)	VI1n 疾患 アルツハイマー病以外の痴呆症
	疾患名称	【正】
		VI1n 疾患 アルツハイマー病以外の認知症

7. タイムスタディ調査 別紙4参考資料

		17-16-1-11					
番号	訂正箇所		訂正内容		-		
1	P1 個別ケア時間の職種別	【誤】					
İ	 内訳	(再掲)看護補助職					
	P2 患者1人1日当り職種別	CT 3 3 40 M HSC 1113-750-1174					
		(T)					
	人件費重み付けケア時間	(正)					
	, 	(再掲)看護補助者					
	「職種」の名称						
2	P2 職種別人件費の相対比	【誤】					
		職種	H16 人件費	相対比	H18 人件費	相対比	
	H18年度調査とH16年度調		(円/時間)		(円/時間)		
	査の表示順を変更	医師 看護師	7,352円	2.95 1.00	7,631円	3.35 1.00	
	 (表の数値の変更はなし)	准看護師	2,023 円	0.81	1,997 円	0.88	
		看護補助者	1,454 円	0.58	1,349円	0.59	
		リハスタッフ(PT,OT,ST) その他職種(MSW,薬剤師,栄養士,その他)	2,046円	0.82	1,802 円	0.79 0.79	
					<		
		(正)					
		職種	H18 人件費	相対比	H16 人件費	相対比	
			(円/時間)		(円/時間)		
		医師 看護師	7,631円	3.35 1.00	7,352 円 2,488 円	2.95 1.00	
		准看護師	1,997円	0.88		0.81	
		看護補助者	1,349円	0.59		0.58	
		リハスタッフ(PT,OT,ST) その他職種(MSW,薬剤師,栄養士,その他)	1,802 円	0.79 0.79		0.82	
4	D4。D17 III9 年度の選木	(T)			· · · ·		
4	P4~P17 H18 年度の調査	(正)					
	結果の各表	医療区分1のケア時間につい	て、医療区	分2全	体のケア問	寺間よりま	長い場
	H18 年度の調査結果につい	合は↑印、医療区分3全体のケブ	で時間より長	い場合	は↑↑印	を付す。	
	て、医療区分毎のケア時間	医療区分2のケア時間につい	て、医療区	分3全	体のケア問	専間より₺	長い場
	の水準が顕著に異なる項目	合は↑印、医療区分1全体のケブ	で時間より短	紅場合	は↓印を	付す。	
	及び別紙4と傾向が異なる	医療区分3のケア時間につい	て、医療区	分2全	体のケア時	寺間より知	短い場
	項目。	合は↓印、医療区分1全体ケア時	持間よりも短	い場合	は↓↓印	を付す。	
		また、別紙4の共通病院でのと	比較で傾向	の違い	が見られた	こものに	ついて
		は(矢印の向き又は有無)、項目					-
5	P8 6疾患の状態別ケア時	【誤】		. – . •			
	間(H18 年度)	VI1g 疾患 アルツハイマー病」	3人外の痴早	. 結			
	1.4	THE DOMESTIC TO A STATE OF THE SERVICE STATE OF THE	シンバングルオ	· /JL_			
	· 佐 典 叔 我	7.773					
	疾患名称	(正)					
		VI1q 疾患 アルツハイマー病.	以外の認知	症			

番号	訂正箇所	訂正内容
6	P9 6疾患の状態別ケア時	(誤)
	間(H16 年度)	VI1n 疾患 アルツハイマー病以外の痴呆症
	疾患名称	(正)
		VI1n 疾患 アルツハイマー病以外の認知症

8. コスト調査 別紙5

番号	訂正箇所	訂正内容						
1	P2 箱ひげ図	【誤】			箱ひげ図			
	H18年度調査とH16年度調査の表示順を変更 (グラフの変更はなし)		45,000	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□		上	5000	
		(正)	単位:円 45,000	*	箱ひげ図			
			40,000 - 35,000 - 25,000 - 25,000 - 15,000 - 5,000 - 0	HID家僚僚委 H10原		下级概要 HI 50455	ABER	
2	P3 (参考)上記の比較対象	【誤】						
	病院のうち H16 年度に特殊			H16 医療療		H18 (n=		
	疾患療養病棟のない病院に		費用内訳 給与費	1日当り費用 12,127	構成比 55.2%	1日当り費用 12,459	構成比 56.8%	
			材料費	2,833	12.9%	3,387	15.4%	
	ついて		委託費	1,821	B.3%	1,995	9.1%	
			設備関係費 研究研修費	2,338	10.6%	2,255	10.3% 0.4%	
	D4 1110 7 FF 7 - 1110 7 FF		経費	2,472	11.3%	1,684	7.7%	
	P4 H16年度及びH18年度		その他	300	1.4%	21.022	0.2%	
	の職種別人件費と相対比		全体費用	21,953	100.0%	21,923	100.0%	
		(正)			>	<		
	L知の体配について ロコロ	- -				*		
	上記2箇所について、H18			H18(n	=11)	H16 医療療		
	年度調査とH16年度調査の		費用内訳	1日当り費用	構成比	1日当り費用	構成比	
			給与費 材料費	12,459 3,387	56.8% 15.4%	12,127 2,833	55.2% 12.9%	
	表示順を変更		委託費	1,995	9.1%	1,821	8.3%	
	(表の数値の変更はなし)		設構関係費	2,255	10.3%	2,338	10.6%	
	(30.5%) [1.5%]		研究研修費 経費	94 1,684	0.4% 7.7%	2 477	0.3%	
1			程質	1,664	0.2%	2,472 300	11.3%	
			全体費用	21,923	100.0%	21,953	100.0%	

9. レセプト調査(タイムスタディ調査病棟) 別紙6

番号	訂正箇所	訂正内容
1	P1~3 (参照)H18 年度患者特性調査	【誤】 (参照)H18年度患者特性調査
	参照する先を「H18 年度国保支払分レセプト調査」に変更する。	【正】 (参照)H18 年度国保支払分レセプト調査
		参照先を変更したため数値も異なる。

以上

前回分科会(3月8日)での集計に関する要望事項について

1. コスト調査について

(1)患者分類別の医業収支の集計について

コスト調査では、医業収入と医業費用を把握しているので、患者分類別に収支を算定することは出来ないか。

【回答】

現時点においては、患者分類別の費用までは算定できないが、病院全体の収支に 関しては比較できる。

病院によって収支構造が大きく異なるため、前回調査も実施した 22 病院に限って 比較すると、包括評価導入後に、14 病院は改善し、8 病院は悪化していた。

医療療養病棟を持つ病院の医業収支の変化状況 (平成18年度調査と平成16年度調査との比較)

		病院数	平成18年度	- 平成16年度	内訳
H18収3	支率-H16収支率	双列列英	収入差	支出差	病院数
ılo		-	↑増	↓減	7
支	+3%以上	10	↑増	↑増	1
収支改善			↓減	↓減	2
	0%~+3%	4	↓減	↓減	4
	•		↑増	↑増	1
収	0%~-3%	3	↓減	↑増	1
収支悪			↓減	↓減	1
化化	20/17	5	↑増	↑増	1
	-3%以下	3	↓減	↑増	. 4

^{※1.} 収支率は次式による。 収支率 = (医業収入-医業費用)/医業収入

^{※2.} 収支率の比較差は、平成18年度調査での収支率から平成16年度調査での収支率を差し引いたもの。

^{※3.} 平成16年度調査と平成18年度調査のコスト調査に参加した共通の病院(22病院)を集計対象とした。

^{※4.} 平成16年度調査は平成15年度の年間データを用いて算出した。平成18年度調査は平成18年11 月の1ヶ月分のデータを用いて算出した。

2. タイムスタディ調査について

(1) 医療処置のケア時間について

今回の調査では、医療処置を明確に定義した上でケア時間を測定しているので、 医療処置の時間の集計をして欲しい。

【回答】

医療処置のケア時間について、患者分類(11区分)別に集計を行った。集計結果は、下表のとおりである。

患者分類(11区分)別の患者1人1日当り全体ケア時間

平成18年度調査(70病院) 単位:分 医療区分1 医療区分2 医療区分3 全体 ADL区分3 134.2 151.1 193.2 161.8 ADL区分2 118.0 135.9 170.7 132.6

患者分類(11区分)別の患者1人1日当り医療処置時間

心石力及(・・ ビリ/川ツ瓜石・八・口 コッピ及だほ时间 では10年度球木/70年時)

平成18年度調査(70病	院)			単位:分
	医療区分1	医療区分2	医療区分3	全体
ADL区分3	24.6	40.1	60.0	44.1
ADL区分2	12.6	17.9	35.5	17.8
ADL区分1	10.1(認)	9.1(認)	20.5	12.4
ADLEZIT	10.5	15.4	20.5	12.4
全体	14.9	30.2	54.1	30.7

^{※「}医療区分1·ADL 区分1·認知機能障害有り」及び「医療区分2·ADL 区分1·認知機能障害有り」においては処置時間の逆転現象が見られるが、例数が少ないことに注意(それぞれ80件、61件)。

患者分類(11 区分)別の患者1人1日当り医療処置以外のケア時間

平成18年度調査(70病院) 単位:分 医療区分1 医療区分2 医療区分3 全体 ADL区分3 109.6 111.1 133.2 117.8 ADL区分2 105.3 118.1 135.2 114.8 83.4(認) 97.4(認) ADL区分1 98.3 84.8 77.0 89.2 全体 96.3 102.4 131.3 110.1

ADL区分1
 93.5(認)
 106.5(認)

 87.5
 104.6

 全体
 111.2
 132.6
 185.4
 140.8

[※]全体ケア時間とは、患者1人1日当り職種別人件費重み付けケア時間(リハスタッフ分除く)である。

[※]医療処置以外のケア時間とは、全体ケア時間から医療処置時間を差し引いたもの。

患者分類(11区分)別の患者1人1日当り医療処置時間の相対比

平成18年度調査(70病院)

	医療区分1	医療区分2	医療区分3	全体
ADL区分3	0.802	1.305	1.954	1.435
ADL区分2	0.411	0.582	1.155	0.579
ADI EZALA	0.329	0.298	0.666	0.405
ADL区分1	0.341	0.501	0.000	0.403
全体	0.487	0.983	1.761	1.000

全体ケア時間に占める医療処置時間割合%

平成18年度調査(70病院)

単位:%

平成18年度調宜(70病院)										
	医療区分1	医療区分2	医療区分3	全体						
ADL区分3	18.3	26.5	31.1	27.2						
ADL区分2	10.7	13.1	20.8	13.4						
ADIEZA1	10.8	8.6	17.2	12.8						
ADL区分1	12.0	14.7	17.2	12.0						
全体	13.4	22.8	29.2	21.8						

[※]全体ケア時間とは、患者1人1日当り職種別人件費重み付けケア時間(リハスタッフ分除く)である。

(参考)医療処置の範囲

バイタルサインの測定、服薬援助・管理、点滴・注射、中心静脈栄養の管理、褥瘡・創傷部処置、経鼻栄養・胃ろう・経腸栄養の実施・管理、気管内吸引、気管切開の処置、酸素療法の管理、吸入、膀胱洗浄・膀胱留置カテーテルの管理、浣腸・摘便、人工肛門・人工膀胱の管理、人工呼吸器の管理、CAPD(腹膜透析)の管理、心電図モニター管理

3. 患者特性調査 (医療療養病棟) について

(1)介護施設への退院見通しがあり、経管栄養を実施している患者について 「退院の見通し」があり、退院先として介護施設(老健・特養)を挙げている患 者について、経管栄養の実施状況を集計して欲しい。

【回答】

患者特性調査(医療療養病棟)票の「XII-2. 退院先の見通し」で、今後の見通しとして最も可能性の高い退院先に「介護老人福祉施設」を挙げた患者(N=444)、および「介護老人保健施設」を挙げた患者(N=626)について、退院先の見通し別・医療区分別に経管栄養の実施率の集計を行った。集計結果は、下表のとおりである。なお、退院先の見通し別では、「1.90日以内に退院できる見通し」の場合と「2.90日以内に退院できる見通しはないが、今後の受け皿が整備されれば退院できる」場合の2つの選択肢別に集計した。

■ 介護老人福祉施設 経管栄養(経鼻・胃瘻等)の実施率

			医療区分別内訳							全体	
退院先の見通し	実施率		医療区分1		医療区分2		医療区分3		± 14*		
1.90日以内に退院できる見通し	15	3.4%	5	33.3%	9	60.0%	1	6.7%	15	100.0%	
2.90日以内に退院できる見通しはないが、 今後受け皿が整備されれば退院できる	104	23.4%	27	26.0%	70	67.3%	7	6.7%	104	100.0%	
it+	119	26.8%	32	26.9%	79	66.4%	8	6.7%	119	100.0%	

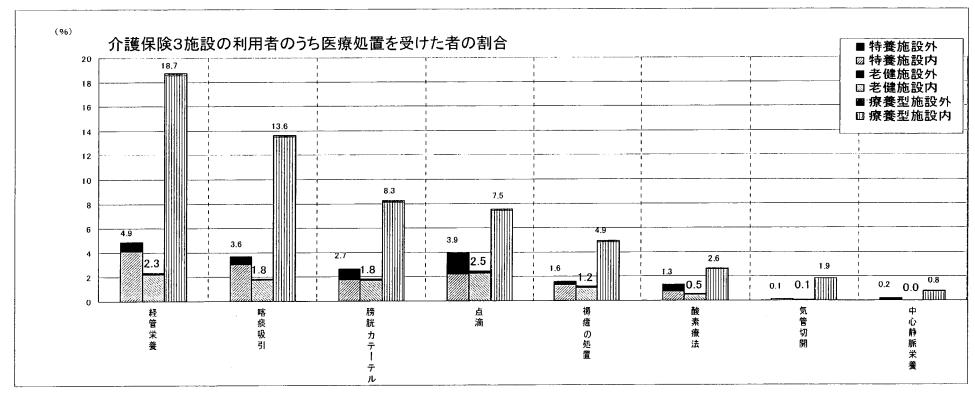
■ 介護老人保健施設 経管栄養(経鼻・胃瘻等)の実施率

	実施率		医療区分別内訳							全 体	
退院先の見通し			医療区分1		医療区分2		医療区分3		± 14		
1.90日以内に退院できる見通し	14	2.2%	7	50.0%	5	35.7%	2	14.3%	14	100.0%	
2.90日以内に退院できる見通しはないが、 今後受け皿が整備されれば退院できる	159	25.4%	36	22.6%	99	62.3%	24	15.1%	159	100.0%	
ā†	173	27.6%	43	24.9%	104	60.1%	26	15.0%	173	100.0%	

現在の介護保険サービスにおける医療等への対応

診調組 慢-1-3 19. 3.14

- (1)介護保険3施設における医療処置への対応
- ①介護保険3施設における医療処置の提供状況
- 介護保険3施設における医療処置の提供状況は、施設種別によって違いはあるが、いずれの施設においても、経管栄養、喀痰吸引などの医療処置を実施している。
- 医療処置を受けた者の割合は、 介護療養型医療施設>特別養護老人ホーム>老人保健施設 となっている。



【資料】「介護サービス施設・事業所調査」(厚生労働省大臣官房統計情報部)

注1) 標記グラフは、「他の医療機関での処置を受けた者」又は「施設内で処置を受けた者」を合計した人数を、各介護保険施設の利用者数で除したものの 割合を示したものである。なお、「他の医療機関での処置」と「施設内の拠点」の双方を受けた者は重複されている。

注2) 平成13年10月1日時点の抽出調査

平成 18年度調査の結果速報について

1. 結果速報の概要

本資料では、前回2月21日の分科会提出資料に続き、2月16日までに回収された「患者特性調査票(医療療養病棟)」、「患者特性調査票(介護療養病棟等)」、「タイムスタディ調査票」、「コスト調査票」、「レセプト調査票(タイムスタディ調査病棟)」、「有床診療所の患者分類分布調査票」、「介護療養病床のみを有する病院の調査票」のそれぞれについて集計を行った。

集計の対象件数は以下のとおりである。

集計対象数(2月16日時点回収分)

調査票	現時点での件数	最終見込み件数
1. 患者特性調查票(医療療養病棟)	77病院	90病院
2. 患者特性調查票(介護療養病棟等)	31病院	37病院
3. タイムスタディ調査票	70病院	90病院
4. コスト調査票	50病院	90病院
5. レセプト調査票(タイムスタディ調査病棟)	77病院	90病院
6. 有床診療所の患者分類分布調査票	109診療所	
7. 介護療養病床のみを有する病院の調査票	1 6病院	_

2. 集計結果速報について

集計結果速報について、それぞれ別紙1~7にまとめた。

別紙1:患者特性調査(医療療養病棟) 集計結果速報(共通病院比較)

別紙2:患者特性調査(介護療養病棟等) 集計結果速報(共通病院比較)

別紙3:患者特性調査(介護療養病床のみを有する病院の調査) 集計結果速報

別紙4:タイムスタディ調査 集計結果速報(共通病院比較)

別紙5:コスト調査 集計結果速報

別紙6:レセプト調査(タイムスタディ調査病棟) 集計結果速報

別紙7:有床診療所の患者分類分布調査 集計結果

別紙1参考資料:患者特性調查(医療療養病棟) 集計結果速報(全病院比較)

別紙2参考資料:患者特性調查(介護療養病棟等) 集計結果速報(全病院比較)

別紙4参考資料:タイムスタディ調査 集計結果速報(全病院比較)

以上

平成18年度「慢性期入院医療の包括評価に関する調査」 《患者特性調査(医療療養病棟) 集計結果速報》

平成18年度調査集計対象: 平成18年度調査対象病院のうち、平成17年度慢性期入院医療実態調査を実施した病院(42病院)の、 療養病棟入院基本料2を算定している患者

平成17年度調査集計対象: 平成17年度慢性期入院医療実態調査の対象病院のうち、平成18年度調査を実施した病院(42病院)の、 下記入院料を算定している患者 ・療養病棟入院基本料1,2 ・療養病棟入院基本料特別1,2

- ·特殊疾患療養病棟入院料1·2、特殊疾患入院管理料
- (注)本集計における「医療区分」は、特殊疾患療養病棟等の経過措置については考慮していない。

1 ADL区分・医療区分、認知機能障害加算の状況

A.D. (7.4)	3	平成18年度	調査 (n=2,2	10)	平成17年度調査 (n=2,222)				
ADL区分	医療区分1	医療区分2	医療区分3	合計	医療区分1	医療区分2	医療区分3	合計	
ADL区分3	10.4%	25.9%	16.0%	52.3%	14.3%	18.5%	8.6%	41.4%	
ADL区分2	11.1%	11.4%	2.7%	25.2%	15.8%	10.3%	2.1%	28.1%	
ADI EZA	2.4%(認)	1.3%(認)	1.5%	22.4%	4.5%(認)	2.7%(認)	1.6%	30.5%	
ADL区分1	10.5%	6.7%	1.5%	22.4%	15.2%	6.6%	1.070	30.370	
全 体	34.4%	45.3%	20.2%	100.0%	49.6%	38.1%	12.3%	100.0%	

無回答 n=17

無回答 n=10

2 医療区分採用項目

		平成18年度	調査 (n=2,2	27)			7成17年度記	周査(n=2,232)
医療区分採用項目	医療区分1	医療区分2	医療区分3	合計	医療区	分1	医療区分2	医療区分3	合計
スモン	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.	0%	0.0%	0.0%	0.0%
24時間の監視・管理	0.0%	0.0%	3.8%	0.8%	0.	0%	0.0%	14.2%	1.7%
中心静脈栄養	0.0%	0.0%	27.2%	5.5% ↑	0.0	9%	0.0%	18.2%	2.2%
24時間持続点滴	0.0%	0.0%	33.7%	7.0% 1	0.0)%	0.0%	32.5%	4.0%
人工呼吸器(レスピレーター)	0.0%	0.0%	3.1%	0.6%	0.	0%	0.0%	4.0%	0.5%
ドレーン法・胸腹腔洗浄	0.0%	0.0%	0.4%	0.1%	0.	0%	0.0%	1.1%	0.1%
気管切開・気管内挿管<発熱を伴う>	0.0%	0.0%	11.4%	2.3%	0.	0%	0.0%	9.1%	1.1%
酸素療法	0.0%	0.0%	47.5%	9.6% ↑	0.0)%	0.0%	50.4%	6.2%
感染隔離室	0.0%	0.0%	9.4%	1.9%	0.	0%	0.0%	10.2%	1.3%
多発性硬化症	0.0%	0.4%	0.2%	0.2%	0.	0%	0.4%	0.0%	0.1%
パーキンソン病関連疾患	0.0%	16.0%	4.2%	8.1%	0.	0%	14.5%	2.9%	5.9%
その他神経難病	0.0%	3.2%	2.5%	1.9%	0.	.0%	3.5%	4.4%	1.9%
神経難病以外の難病	0.0%	1.5%	0.7%	0.8%	0.	.0%	3.5%	4.4%	1.9%
脊髄損傷<四肢麻痺がみられる>	0.0%	1.1%	0.4%	0.6%	[O.	.0%	0.5%	0.0%	0.2%
肺気腫/慢性閉塞性肺疾患(COPD)	0.0%	5.3%	12.9%	5.0%	0.	.0%	6.4%	13.5%	4.1%
悪性腫瘍<疼痛コントロールが必要>	0.0%	0.8%	2.9%	0.9%	0	.0%	2.0%	0.4%	0.8%
肺炎	0.0%	7.9%	24.6%	8.5%	0	.0%	11.4%	21.5%	7.0%
尿路感染症	0.0%	10.6%	11.8%	7.2% 1	0.	0%	5.7%	5.5%	2.8%
創感染	0.0%	0.8%	0.9%	0.5%	0	.0%	1.6%	0.4%	0.7%
リハビリテーション	0.0%	6.5%	1.8%	3.3%	0	.0%	7.1%	3.3%	3.1%
脱水	0.0%	7.6%	13.8%	6.2% 1	0.	0%	3.2%	3.6%	1.7%
体内出血	0.0%	1.4%	2.9%	1.2%	0	.0%	0.6%	2.2%	0.5%
嘔吐	0.0%	3.1%	3.3%	2.1%	0	.0%	2.0%	2.9%	1.1%
褥瘡	0.0%	6.3%	8.9%	4.6%	0	.0%	14.4%	13.1%	7.1%
うっ血性潰瘍	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11	.0%	0.0%		0.0%
せん妄	0.0%	3.4%	3.3%	2.2%	11	.0%		1	1.7%
うつ状態	0.0%	15.7%	5.6%	8.2%	' II	0%	1	1	5.2%
暴行	0.0%	2.8%	1.1%	1.5%	12	.0%		ł	0.9%
透析	0.0%	5.7%	0.7%	2.7%	0	.0%	4.8%	1.1%	2.0%
経鼻胃管・胃痩の経腸栄養<発熱または 嘔吐を伴う>	0.0%	8.3%	19.4%	7.7%	0	.0%	7.3%	19.3%	5.2%
喀痰吸引(1日8回以上)	0.0%	20.4%	31.3%	15.5%	i∥ o.	0%	20.0%		12.3%
気管切開·気管内挿管	0.0%	9.2%	18.8%	7.9%		.0%		ı	6.4%
血糖検査(1日3回以上)	0.0%	4.7%	2.5%	2.6%		.0%	2.7%	1.8%	1.3%
皮膚の潰瘍のケア	0.0%	10.6%	7.4%	6.3%		.0%	9.0%	9.9%	4.6%
創傷処置	0.0%	17.2%	13.6%	10.5%	0.	0%	11.4%		5.6%
全 体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100	.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(注)↑は平成17年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの

			र्ग	成18年度調	査(n=2,22	7)		
調査病棟に入院する前の状況	医療区分1		医療区	医療区分2		⊠分3	合計	
1. 自宅(家族等との同居も含む)	86	11.1%	112	11.1%	29	6.5%	227	10.2% ↓
2. グループホーム	1	0.1%	5	0.5%	3	0.7%	9	0.4%
3. 有料老人ホーム	5	0.6%	10	1.0%	3	0.7%	18	0.8%
4. ケアハウス(軽費老人ホーム含む)	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.0%
5. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	5	0.6%	30	3.0%	16	3.6%	51	2.3%
6. 介護老人保健施設	29	3.8%	42	4.2%	32	7.1%	103	4.6%
7. 他の医療機関	364	47.2%	469	46.6%	200	44.6%	1,033	46.4% ↑
(再掲)他の医療機関の一般病床	314	40.7%	415	41.2%	185	41.3%	914	41.0%
(再掲)他の医療機関の療養病床	43	5.6%	39	3.9%	13	2.9%	95	4.3%
(再掲)他の医療機関のその他の病床(精神病床等)	7	0.9%	15	1.5%	2	0.4%	24	1.1%
8. 自院の他の病床	271	35.1%	333	33.1%	164	36.6%	768	34.5% 1
(再掲)自院の一般病床(転棟)	210	27.2%	266	26.4%	132	29.5%	608	27.3%
(再掲)自院のその他の病床(精神病床等) (転棟)	61	7.9%	67	6.7%	32	7.1%	160	7.2%
12. わからない	6	0.8%	3	0.3%	1	0.2%	10	0.4%
無回答	4	0.5%	3	0.3%	0	0.0%	7	0.3%
全体	772	100.0%	1,007	100.0%	448	100.0%	2,227	100.0%

⁽注)平成18年度集計表の、↑は平成17年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの

	<u>_</u>	平成17年度調査 (n=2,232)										
調査病棟に入院する前の状況	医療	医療区分1		医療区分2		区分3	合計					
1. 自宅	232	20.9%	113	13.3%	31	11.3%	376	16.8%				
2. グループホーム	5	0.5%	3	0.4%	2	0.7%	10	0.4%				
3. 有料老人ホーム	4	0.4%	8	0.9%	1	0.4%	13	0.6%				
4. ケアハウス	3	0.3%	3	0.4%	0	0.0%	6	0.3%				
5. 特別養護老人ホーム	12	1.1%	33	3.9%	13	4.7%	58	2.6%				
6. 介護老人保健施設	37	3.3%	38	4.5%	20	7.3%	95	4.3%				
7. 他の医療機関	472	42.6%	340	40.0%	135	49.3%	947	42.4%				
8. 自院の他の病棟	312	28.1%	272	32.0%	68	24.8%	652	29.2%				
9. わからない	32	2.9%	39	4.6%	4	1.5%	75	3.4%				
全 体	1,109	100.0%	849	100.0%	274	100.0%	2,232	100.0%				

	平成18年度調査 (n=2,227)									
調査病棟に入院した背景(複数回答)	医療区分1		医療区	医療区分2		⊠分3	合	計		
急性期状態が安定	526	68.1%	649	64.4%	255	56.9%	1,430	64.2%		
疾病の急性憎悪	63	8.2%	101	10.0%	89	19.9%	253	11.4%		
継続的高度医療管理が必要	55	7.1%	181	18.0%	161	35.9%	397	17.8% ↑		
継続的なリハビリが必要	338	43.8%	319	31.7%	98	21.9%	755	33.9% ↓		
他施設の空きがない	101	13.1%	103	10.2%	19	4.2%	223	10.0%		
自宅の体制が整わない	183	23.7%	224	22.2%	49	10.9%	456	20.5% 1		
本人、家族等が希望	380	49.2%	495	49.2%	207	46.2%	1,082	48.6% 1		
全 体	772	100.0%	1,007	100.0%	448	100.0%	2,227	100.0%		

⁽注)平成18年度集計表の、↑は平成17年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの

	平成17年度調査 (n=2,232)									
調査病棟に入院した背景(複数回答)	医療	区分1	医療	医療区分2		区分3	合	計		
急性期状態が安定	664	59.9%	535	63.0%	177	64.6%	1,376	61.6%		
疾病の急性憎悪	67	6.0%	83	9.8%	45	16.4%		8.7%		
継続的高度医療管理が必要	56	5.0%	93	11.0%	40	14.6%	189	8.5%		
継続的なリハビリが必要	565	50.9%	347	40.9%	76	27.7%	988	44.3%		
他施設の空きがない	116	10.5%	89	10.5%	16	5.8%	221	9.9%		
自宅の体制が整わない	283	25.5%	223	26.3%	48	17.5%	554	24.8%		
本人、家族等が希望	469	42.3%	406	47.8%	129	47.1%	1,004	45.0%		
全 体	1,109	100.0%	849	100.0%	274	100.0%	2,232	100.0%		

			平	成18年度調	査(n=1,22	2)		
退院先の見通し	医療区	区分1	医療区	₹分2	医療区	☑分3	合	i †
1. 自宅(家族等との同居も含む)	157	29.4%	109	21.0%	18	10.6%	284	23.2%
2. グループホーム	11	2.1%	6	1.2%	2	1.2%	19	1.6%
3. 有料老人ホーム	5	0.9%	18	3.5%	2	1.2%	25	2.0%
4. ケアハウス(軽費老人ホーム含む)	10	1.9%	5	1.0%	1	0.6%	16	1.3%
5. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	123	23.0%	124	23.9%	15	8.8%	262	21.4%
6. 介護老人保健施設	131	24.5%	122	23.6%	29	17.1%	282	23.1%
7. 他の医療機関	56	10.5%	94	18.1%	41	24.1%	191	15.6%
(再掲)他の医療機関の一般病床	15	2.8%	13	2.5%	11	6.5%	39	3.2%
(再掲)他の医療機関の療養病床	35	6.6%	76	14.7%	27	15.9%	138	11.3%
(再掲)他の医療機関のその他の病床	6	1.1%	5	1.0%	3	1.8%	14	1.1%
8. 自院の他の病床	18	3.4%	22	4.2%	15	8.8%	55	4.5%
(再掲)自院の障害者施設等入院基本料 算定病棟	1	0.2%	0	0.0%	1	0.6%	2	0.2%
(再掲)自院の一般病床(上記病棟を除く)	4	0.7%	8	1.5%	12	7.1%	24	2.0%
(再掲)自院のその他の病床	13	2.4%	14	2.7%	2	1.2%	29	2.4%
9. その他	20	3.7%	12	2.3%	38	22.4%	70	5.7%
無回答	3	0.6%	6	1.2%	9	5.3%	18	1.5%
全 体	534	100.0%	518	100.0%	170	100.0%	1,222	100.0%

と ※退院先の見通しは、平成17年度調査結果について「わからない」とする患者が多数いるため、退院先の割合の増減についての比較は行っていない。

	平成17年度調査 (n=2,232)									
退院先の見通し	医療区分1		医療	区分2	医療区分3		合	計		
1. 自宅(家族等との同居も含む)	210	18.9%	102	12.0%	21	7.7%	333	14.9%		
2. グループホーム	2	0.2%	2	0.2%	0	0.0%	4	0.2%		
3. 有料老人ホーム	8	0.7%	3	0.4%	1	0.4%	12	0.5%		
4. ケアハウス(軽費老人ホーム含む)	3	0.3%	1	0.1%	0	0.0%	4	0.2%		
5. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	152	13.7%	109	12.8%	34	12.4%	295	13.2%		
6. 介護老人保健施設	99	8.9%	58	6.8%	8	2.9%	165	7.4%		
7. 他の医療機関	73	6.6%	99	11.7%	25	9.1%	197	8.8%		
8. 自院の他の病床	24	2.2%	18	2.1%	14	5.1%	56	2.5%		
9. わからない ~	538	48.5%	457	53.8%	171	62.4%	1,166	52.2%		
全 体	1,109	100.0%	849	100.0%	274	100.0%	2,232	100.0%		

<平成18年度のみ>	平成18年度調査(n=2,227)									
退院の見通し	医療区分1		医療	医療区分2		区分3	合	計		
1. 90日以内に退院できる見通し	177	22.9%	130	12.9%	21	4.7%	328	14.7%		
2.90日以内に退院できる見通しはないが、今後受け皿が整備されれば退院できる	334	43.3%	358	35.6%	76	17.0%	768	34.5%		
3. 悪化して転院・転棟・死亡する見通し	23	3.0%	30	3.0%	73	16.3%	126	5.7%		
4. 退院(転院・転棟)の見通しはない	226	29.3%	482	47.9%	276	61.6%	984	44.2%		
無回答	12	1.6%	7	0.7%	2	0.4%	21	0.9%		
全 体	772	100.0%	1,007	100.0%	448	100.0%	2,227	100.0%		

<平成18年度のみ>			Σ	平成18年度記	周査 (n=32	8)		
退院先の見通し(「1.90日以内に退院で きる見通し」の回答者)	医療区分1		医療	医療区分2		区分3	合	計
1. 自宅(家族等との同居も含む)	89	50.3%	66	50.8%	5	23.8%	160	48.8%
2. グループホーム	6	3.4%	1	0.8%	1	4.8%	8	2.4%
3. 有料老人ホーム	2	1.1%	7	5.4%	0	0.0%	9	2.7%
4. ケアハウス(軽費老人ホーム含む)	1	0.6%	1	0.8%	0	0.0%	2	0.6%
5. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	17	9.6%	24	18.5%	3	14.3%	44	13.4%
6. 介護老人保健施設	40	22.6%	16	12.3%	6	28.6%	62	18.9%
7. 他の医療機関の一般病床	9	5.1%	4	3.1%	0	0.0%	13	4.0%
8. 他の医療機関の療養病床	9	5.1%	9	6.9%	3	14.3%	21	6.4%
9. 他の医療機関のその他の病床	2	1.1%	2	1.5%	1	4.8%	5	1.5%
10. 自院の障害者施設等入院基本料算定 病棟	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
11. 自院の一般病珠(10.の病棟を除く)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
12. 自院のその他の病床	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
13. そ の他	2	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.6%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	2	9.5%	2	0.6%
全 体	177	100.0%	130	100.0%	21	100.0%	328	100.0%

<平成18年度のみ>			2	P成18年度記	周査 (n=76	8)		
退院先の見通し(「2. 今後受け皿が整備 されれば退院できる」の回答者)	医療区分1		医療	区分2	医療	区分3	合	計
1. 自宅(家族等との同居も含む)	68	20.4%	43	12.0%	12	15.8%	123	16.0%
2. グループホーム	5	1.5%	5	1.4%	1	1.3%	11	1.4%
3. 有料老人ホーム	3	0.9%	11	3.1%	1	1.3%	15	2.0%
4. ケアハウス(軽費老人ホーム含む)	9	2.7%	4	1.1%	1	1.3%	14	1.8%
5. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	105	31.4%	100	27.9%	11	14.5%	216	28.1%
6. 介護老人保健施設	90	26.9%	104	29.1%	23	30.3%	217	28.3%
7. 他の医療機関の一般病床	3	0.9%	5	1.4%	5	6.6%	13	1.7%
8. 他の医療機関の療養病床	26	7.8%	66	18.4%	21	27.6%	113	14.7%
9. 他の医療機関のその他の病床	4	1.2%	3	0.8%	0	0.0%	7	0.9%
10. 自院の障害者施設等入院基本料算定 病棟	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
11. 自院の一般病床(10.の病棟を除く)	0	0.0%	1	0.3%	0	0.0%	1	0.1%
12. 自院のその他の病床	9	2.7%	10	2.8%	1	1.3%	20	2.6%
13. そ の他	10	3.0%	3	0.8%	0	0.0%	13	1.7%
無回答	2	0.6%	3	0.8%	0	0.0%	5	0.7%
全 体	334	100.0%	358	100.0%	76	100.0%	768	100.0%

<平成18年度のみ>			2	平成18年度記	周査 (n=12	6)		
退院先の見通し(「3. 悪化して転院・転 棟・死亡する見通し」の回答者)	医療	医療区分1		区分2	医療	区分3	合計	
1. 自宅(家族等との同居も含む)	0	0.0%	0	0.0%	1	1.4%	1	0.8%
2. グループホーム	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
3. 有料老人ホーム	0	0.0%	0	0.0%	1	1.4%	1	0.8%
4. ケアハウス(軽費老人ホーム含む)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	1	4.3%	0	0.0%	1	1.4%	2	1.6%
6. 介護老人保健施設	1	4.3%	2	6.7%	0	0.0%	3	2.4%
7. 他の医療機関の一般病床	3	13.0%	4	13.3%	6	8.2%	13	10.3%
8. 他の医療機関の療養病床	0	0.0%	1	3.3%	3	4.1%	4	3.2%
9. 他の医療機関のその他の病床	0	0.0%	0	0.0%	2	2.7%	2	1.6%
10. 自院の障害者施設等入院基本料算定 病棟	1	4.3%	0	0.0%	1	1.4%	2	1.6%
11. 自院の一般病床(10.の病棟を除く)	4	17.4%	7	23.3%	12	16.4%	23	18.3%
12. 自院のその他の病床	4	17.4%	4	13.3%	1	1.4%	9	7.1%
13. その他	8	34.8%	9	30.0%	38	52.1%	55	43.7%
無回答	1	4.3%	3	10.0%	7	9.6%	11	8.7%
全 体	23	100.0%	30	100.0%	73	100.0%	126	100.0%

4 その他の患者状態像(医療区分採用項目以外)

			平月	成18年度調	査(n=2,227	7)		
疾患(複数回答)	医療区	3分1	医療区分2		医療区	5分3	合詞	; †
糖尿病	90	11.7%	150	14.9%	53	11.8%	293	13.2%
不整脈	39	5.1%	67	6.7%	33	7.4%	139	6.2%
うっ血性心不全	16	2.1%	34	3.4%	39	8.7%	89	4.0% ↓
高血圧症	139	18.0%	189	18.8%	76	17.0%	404	18.1%
虚血性心疾患	31	4.0%	64	6.4%	26	5.8%	121	5.4%
 大腿骨頚部骨折	59	7.6%	59	5.9%	24	5.4%	142	6.4%
脊椎圧迫骨折	19	2.5%	37	3.7%	10	2.2%	66	3.0%
その他の骨折	43	5.6%	54	5.4%	15	3.3%	112	5.0%
関節リウマチ	23	3.0%	21	2.1%	4	0.9%	48	2.2%
アルツハイマー病	23	3.0%	34	3.4%	28	6.3%	85	3.8%
失語症	45	5.8%	91	9.0%	35	7.8%	171	7.7%
脳性麻痺	2	0.3%	3	0.3%	2	0.4%	7	0.3%
脳梗塞	275	35.6%	334	33.2%	142	31.7%	751	33.7% ↓
脳出血	131	17.0%	157	15.6%	58	12.9%	346	15.5%
アルツハイマー病以外の認知症	127	16.5%	212	21.1%	90	20.1%	429	19.3%
片側不全麻痺	118	15.3%	143	14.2%	39	8.7%	300	13.5%
四肢麻痺	32	4.1%	116	11.5%	42	9.4%	190	8.5% †
脊髄損傷	4	0.5%	20	2.0%	2	0.4%	26	1.2%
喘息	16	2.1%	24	2.4%	23	5.1%	63	2.8%
 腎不全	25	3.2%	61	6.1%	17	3.8%	103	4.6%
ローニ がん(悪性腫瘍)	38	4.9%	46	4.6%	46	10.3%	130	5.8%
腸閉塞(イレウス)<新規>	4	0.5%	9	0.9%	13	2.9%	26	1.2%
肝不全 <新規>	4	0.5%		1.0%	7	1.6%	21	0.9%
急性心不全 <新規>	0	0.0%	1	0.1%	8	1.8%	9	0.4%
慢性心不全 <新規>	49	6.3%		6.0%	51	11.4%	160	7.2%
仮性球麻痺 <新規>	70	9.1%	1	14.3%	64	14.3%	278	12.5%
全 体	772	100.0%	1,007	100.0%	448	100.0%	2,227	100.0%

⁽注)平成18年度集計表の、↑は平成17年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの

			平	成17年度調	査 (n=2,232	2)		
疾患(複数回答)	医療区	区分1	医療區	医療区分2		医療区分3		ī†
糖尿病	149	13.4%	133	15.7%	38	13.9%	320	14.3%
不整脈	51	4.6%	55	6.5%	16	5.8%	122	5.5%
うっ血性心不全	83	7.5%	68	8.0%	26	9.5%	177	7.9%
高血圧症	257	23.2%	165	19.4%	46	16.8%	468	21.0%
虚血性心疾患	85	7.7%	60	7.1%	11	4.0%	156	7.0%
大腿骨頚部骨折	78	7.0%	60	7.1%	14	5.1%	152	6.8%
脊椎圧迫骨折	44	4.0%	23	2.7%	4	1.5%	71	3.2%
その他の骨折	60	5.4%	29	3.4%	7	2.6%	96	4.3%
関節リウマチ	29	2.6%	27	3.2%	2	0.7%	58	2.6%
アルツハイマー病	35	3.2%	30	3.5%	11	4.0%	76	3.4%
失語症	41	3.7%	59	6.9%	12	4.4%	112	5.0%
脳性麻痺	3	0.3%	9	1.1%	3	1.1%	15	0.7%
脳梗塞	429	38.7%	307	36.2%	105	38.3%	841	37.7%
脳出血	156	14.1%	114	13.4%	37	13.5%	307	13.8%
アルツハイマー病以外の認知症	202	18.2%	134	15.8%	37	13.5%	373	16.7%
片側不全麻痺	181	16.3%	86	10.1%	33	12.0%	300	13.4%
四肢麻痺	36	3.2%	63	7.4%	21	7.7%	120	5.4%
脊髄損傷	. 6	0.5%	11	1.3%	2	0.7%	19	0.9%
喘息	36	3.2%	20	2.4%	15	5.5%	71	3.2%
腎不全	30	2.7%	65	7.7%	11	4.0%	106	4.7%
がん(悪性腫瘍)	43	3.9%	1	6.2%	19	6.9%	115	5.2%
全 体	1,109	100.0%		100.0%	274	100.0%	2,232	100.0%

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	平成18年度調査(n=2,227)								
感染症(複数回答)	医療区分1		医療図	医療区分2		≅分3	合	計	
抗生物質耐性菌感染(たとえばMRSA)	5	0.6%	42	4.2%	46	10.3%	93	4.2%	
後天性免疫不全症候群(HIV感染含む)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
上気道感染	5	0.6%	14	1.4%	10	2.2%	29	1.3%	
敗血症	0	0.0%	1	0.1%	1	0.2%	2	0.1%	
多剤耐性結核	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
上記以外の結核	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%	1	0.0%	
ウィルス性肝炎	3	0.4%	4	0.4%	1	0.2%	8	0.4%	
皮膚の感染症	5	0.6%	17	1.7%	8	1.8%	30	1.3%	
急性胆嚢炎 <新規>	1	0.1%	5	0.5%	3	0.7%	9	0.4%	
急性腹膜炎 <新規>	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
急性膵炎 <新規>	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%	1	0.0%	
全 体	772	100.0%	1,007	100.0%	448	100.0%	2,227	100.0%	

⁽注)平成18年度集計表の、↑は平成17年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの

	平成17年度調査 (n=2,232)									
感染症(複数回答)	医療	医療区分1		区分2	医療区分3		合計			
抗生物質耐性菌感染(たとえばMRSA)	25	2.3%	40	4.7%	30	10.9%	95	4.3%		
後天性免疫不全症候群(HIV感染含む)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		
上気道感染	12	1.1%	18	2.1%	4	1.5%	34	1.5%		
敗血症	3	0.3%	2	0.2%	3	1.1%	8	0.4%		
多剤耐性結核	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%	1	0.0%		
上記以外の結核	0	0.0%	3	0.4%	2	0.7%	5	0.2%		
ウィルス性肝炎	4	0.4%	4	0.5%	1	0.4%	9	0.4%		
皮膚の感染症	5	0.5%	18	2.1%	4	1.5%	27	1.2%		
全 体	1,109	100.0%	849	100.0%	274	100.0%	2,232	100.0%		

			平	成18年度調	査(n=2,22	7)		
問題状況(複数回答)	医療	区分1	医療	区分2	医療	区分3	合	<u></u>
妄想	29	3.8%	72	7.1%	17	3.8%	118	5.3%
発熱	17	2.2%	110	10.9%	177	39.5%	304	13.7% ↑
幻覚	18	2.3%	37	3.7%	14	3.1%	69	3.1%
嘔吐	0	0.0%	31	3.1%	15	3.3%	46	2.1%
胸水 <新規>	1	0.1%	16	1.6%	20	4.5%	37	1.7%
腹水 <新規>	0	0.0%	4	0.4%	13	2.9%	17	0.8%
高カルシウム血症(10.5mg/dl以上) <新規>	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%	1	0.0%
悪疫質(癌を伴う) <新規>	2	0.3%	1	0.1%	10	2.2%	13	0.6%
消化管の通過障害(癌を伴う) <新規>	1	0.1%	1	0.1%	8	1.8%	10	0.4%
全 体	772	100.0%	1,007	100.0%	44 8	100.0%	2,227	100.0%

⁽注)平成18年度集計表の、↑は平成17年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの

		平成17年度調査 (n=2,232)								
Ⅷ. 1. 問題状況(複数回答)	医療	区分1	医療	医療区分2		医療区分3		計		
妄想	31	2.8%	27	3.2%	7	2.6%	65	2.9%		
発熱	23	2.1%	96	11.3%	98	35.8%	217	9.7%		
幻覚	14	1.3%	20	2.4%	5	1.8%	39	1.7%		
嘔吐	0	0.0%	17	2.0%	8	2.9%	25	1.1%		
全 体	1,109	100.0%	849	100.0%	274	100.0%	2,232	100.0%		

			平	成18年度調	査(n=2,22)	7)		
処置·治療(複数回答)	医療区	区分1	医療区	≅分2	医療区	☑分3	合	!
抗がん剤療法	5	0.6%	2	0.2%	4	0.9%	11	0.5%
胃痩、腎痩、人工肛門などの痩の処置	77	10.0%	222	22.0%	107	23.9%	406	18.2% ↑
放射線治療	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%	1	0.0%
吸引(1日1~7回)	30	3.9%	62	6.2%	52	11.6%	144	6.5% ↓
輸血	0	0.0%	1	0.1%	2	0.4%	3	0.1%
緩和ケア	4	0.5%	4	0.4%	6	1.3%	14	0.6%
疼痛コントロール	32	4.1%	37	3.7%	18	4.0%	87	3.9%
膀胱留置カテーテル	50	6.5%	138	13.7%	162	36.2%	350	15.7% ↑
血糖チェック(週1回~1日2回)	19	2.5%	17	1.7%	7	1.6%	43	1.9% ↓
インシュリン皮下注射	24	3.1%	51	5.1%	18	4.0%	93	4.2%
全 体	772	100.0%	1,007	100.0%	448	100.0%	2,227	100.0%

(注)平成18年度集計表の、↑は平成17年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの

			4	成17年度調	直 (n=2,23	2)		_
処置·治療(複数回答)	医療区分1		医療	区分2	医療	区分3	合計	
抗がん剤療法	1	0.1%	2	0.2%	0	0.0%	3	0.1%
胃痩、腎痩、人工肛門などの痩の処置	88	7.9%	165	19.4%	62	22.6%	315	14.1%
放射線治療	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.0%
吸引(1日1~7回)	103	9.3%	116	13.7%	56	20.4%	275	12.3%
輸血	2	0.2%	0	0.0%	1	0.4%	3	0.1%
緩和ケア	9	0.8%	13	1.5%	5	1.8%	27	1.2%
疼痛コントロール	41	3.7%	50	5.9%	3	1.1%	94	4.2%
膀胱留置カテーテル	57	5.1%	105	12.4%	90	32.8%	252	11.3%
血糖チェック(週1回~1日2回)	52	4.7%	41	4.8%	19	6.9%	112	5.0%
インシュリン皮下注射	39	3.5%	40	4.7%	10	3.6%	89	4.0%
全 体	1,109	100.0%	849	100.0%	274	100.0%	2,232	100.0%

			平	成18年度調	査(n=2,22	7)			
状態の安定性(複数回答)	医療	区分1	医療	区分2	医療区分3 合計			H	
個室における管理が必要	5	0.6%	19	1.9%	49	10.9%	73	3.3%	
急性症状が発生したり再発性や慢性の問題 が再燃した	10	1.3%	50	5.0%	83	18.5%	143	6.4%	
末期の疾患であり余命が6ヶ月以下である	6	0.8%	6	0.6%	34	7.6%	46	2.1%	
全 体	<i>7</i> 72	100.0%	1,007	100.0%	44 8	100.0%	2,227	100.0%	

⁽注)平成18年度集計表の、↑は平成17年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの

	平成17年度調査 (n=2,232)								
大態の安定性(複数回答) 	医療	区分1	医療	区分2	医療	区分3	合	計	
絶対安静	3	0.3%	7	0.8%	28	10.2%	38	1.7%	
個室における管理が必要	3	0.3%	13	1.5%	32	11.7%	48	2.2%	
急性症状が発生したり再発性や慢性の問題 が再燃した	22	2.0%	62	7.3%	78	28.5%	162	7.3%	
末期の疾患であり余命が6ヶ月以下である	6	0.5%	15	1.8%	14	5.1%	35	1.6%	
全 体	1,109	100.0%	849	100.0%	274	100.0%	2,232	100.0%	

			平	成18年度調	査(n=2,22	7)		
栄養摂取の方法(複数回答)	医療師	区分1	医療	区分2	医療	区分3	合	計
中心静脈栄養	0	0.0%	0	0.0%	122	27.2%	122	5.5% 1
末梢静脈栄養	8	1.0%	28	2.8%	85	19.0%	121	5.4%
経管栄養	155	20.1%	434	43.1%	185	41.3%	774	34.8% ↑
いずれか1つ以上該当	162	21.0%	458	45.5%	364	81.3%	984	44.2% ↑
全 体	<i>7</i> 72	100.0%	1,007	100.0%	44 8	100.0%	2,227	100.0%

(注)平成18年度集計表の、↑は平成17年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの

W # 155 - 1 - 1 / 1 1 1 1 1 1 1 1 1		平成17年度調査 (n=2,232)								
栄養摂取の方法(複数回答) 	医療区分1		医療	医療区分2		医療区分3		合計		
中心静脈栄養	0	0.0%	0	0.0%	50	18.2%	50	2.2%		
末梢静脈栄養	19	1.7%	35	4.1%	58	21.2%	112	5.0%		
経管栄養	221	19.9%	334	39.3%	115	42.0%	670	30.0%		
いずれか1つ以上該当	239	21.6%	366	43.1%	198	72.3%	803	36.0%		
全 体	1,109	100.0%	849	100.0%	274	100.0%	2,232	100.0%		

リハビリテーションを要す状態	平成18年度調査(n=1,229)									
発症してからの日数 14日以下	医療区	区分1	医療	医療区分2		区分3	合	計		
	0	0.0%	17	3.0%	5	2.8%	22	1.8%		
15日から30日以下	0	0.0%	48	8.4%	3	1.7%	51	4.1%		
31日から90日以下	86	18.0%	60	10.5%	28	15.5%	174	14.2% ↑		
91日から180日以下	86	18.0%	72	12.7%	33	18.2%	191	15.5%		
181日以上	297	62.0%	358	62.9%	105	58.0%	760	61.8% ↓		
無回答	10	2.1%	14	2.5%	7	3.9%	31	2.5%		
全_体	479	100.0%	569	100.0%	181	100.0%	1,229	100.0%		

(注)平成18年度集計表の、↑は平成17年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの

リハビリテーションを要す状態		平成17年度調査 (n=1,379)										
発症してからの日数	医療区分1		医療	医療区分2		区分3	合計					
14日以下	0	0.0%	29	5.8%	2	1.7%	31	2.2%				
15日から30日以下	0	0.0%	31	6.2%	7	5.8%	38	2.8%				
31日から90日以下	98	13.0%	43	8.5%	11	9.2%	152	11.0%				
91日から180日以下	118	15.6%	61	12.1%	9	7.5%	188	13.6%				
181日以上	518	68.6%	329	65.3%	89	74.2%	936	67.9%				
無回答	21	2.8%	11	2.2%	2	1.7%	34	2.5%				
全 体	755	100.0%	504	100.0%	120	100.0%	1,379	100.0%				

		平成18年度調査 (n=2,227)									
日常の意思決定を行うための認知能力	医療	医療区分1 医療区分2 医療区分3			合	合計					
自立	193	25.0%	141	14.0%	31	6.9%	365	16.4% ↓			
限定的な自立	122	15.8%	105	10.4%	37	8.3%	264	11.9%			
軽度の障害	77	10.0%	94	9.3%	21	4.7%	192	8.6%			
中程度の障害	123	15.9%	147	14.6%	53	11.8%	323	14.5%			
重度の障害	152	19.7%	263	26.1%	153	34.2%	568	25.5% ↑			
意識障害者	99	12.8%	247	24.5%	151	33.7%	497	22.3% 1			
無回答	6	0.8%	10	1.0%	2	0.4%	18	0.8%			
全 体	772	100.0%	1,007	100.0%	448	100.0%	2,227	100.0%			

(注)平成18年度集計表の、↑は平成17年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの

	平成17年度調査 (n=2,232)										
日常の意思決定を行うための認知能力	医療	医療区分1		医療区分2		区分3	合計				
自立	279	25.2%	124	14.6%	45	16.4%	448	20.1%			
限定的な自立	157	14.2%	107	12.6%	24	8.8%	288	12.9%			
軽度の障害	104	9.4%	81	9.5%	8	2.9%	193	8.6%			
中程度の障害	193	17.4%	144	17.0%	30	10.9%	367	16.4%			
重度の障害	229	20.6%	198	23.3%	62	22.6%	489	21.9%			
意識障害者	138	12.4%	189	22.3%	104	38.0%	431	19.3%			
無回答	9	0.8%	6	0.7%	1	0.4%	16	0.7%			
全 体	1,109	100.0%	849	100.0%	274	100.0%	2,232	100.0%			

平成18年度「慢性期入院医療の包括評価に関する調査」 《患者特性調査(医療療養病棟) 集計結果速報》

平成18年度調査集計対象: 平成18年度調査対象病院(全77病院)の療養病棟入院基本料2を算定している患者 平成17年度調査集計対象: 平成17年度慢性期入院医療実態調査の対象病院(全428病院)の下記入院料を算定している患者 ・療養病棟入院基本料1,2 ・療養病棟入院基本料特別1,2

・特殊疾患療養病棟入院料1,2、特殊疾患入院管理料

(注)本集計における「医療区分」は、特殊疾患療養病棟等の経過措置については考慮していない。

1 ADL区分・医療区分、認知機能障害加算の状況

ADL区分	平	成18年度調	査(n=5,141)	平成17年度調査 (n=21,425)				
	医療区分1	医療区分2	医療区分3	合計	医療区分1	医療区分2	医療区分3	合計	
ADL区分3	10.6%	26.1%	16.8%	53.4%	14.0%	18.3%	6.3%	38.6%	
ADL区分2	11.3%	12.9%	2.9%	27.1%	16.1%	10.2%	1.2%	27.5%	
	2.6%(認)	2.0%(認)	1 70/	10.40/	5.3%(認)	2.6%(認)	1.3%	33.9%	
ADL区分1	8.1%	5.5%	1.2%	19.4%	17.5%	7.2%	1.570	33.570	
全 体	32.6%	46.4%	20.9%	100.0%	53.0%	38.3%	8.8%	100.0%	

無回答 n=31

2 医療区分採用項目

	平	成18年度調	査(n=5,172	2)		क्	成17年度調	査 (n=21,425)
医療区分採用項目	医療区分1	医療区分2	医療区分3	合計		医療区分1	医療区分2	医療区分3	合計
スモン	0.0%	0.0%	0.5%	0.1%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
24時間の監視・管理	0.0%	0.0%	4.8%	1.0%		0.0%	0.0%	9.7%	0.9%
中心静脈栄養	0.0%	0.0%	30.0%	6.3%	î	0.0%	0.0%	17.2%	1.6%
24時間持続点滴	0.0%	0.0%	41.1%	9.0%	1	0.0%	0.0%	29.5%	2.7%
人工呼吸器(レスピレーター)	0.0%	0.0%	4.9%	1.0%	ļ	0.0%	0.0%	5.7%	0.5%
ドレーン法・胸腹腔洗浄	0.0%	0.0%	0.8%	0.2%	Ì	0.0%	0.0%	2.8%	0.3%
気管切開・気管内挿管<発熱を伴う>	0.0%	0.0%	13.8%	2.9%		0.0%	0.0%	13.9%	1.3%
酸素療法	0.0%	0.0%	44.8%	9.3%	1	0.0%	0.0%	51.4%	4.7%
感染隔離室	0.0%	0.0%	7.3%	1.5%	ı	0.0%	0.0%	7.1%	0.6%
多発性硬化症	0.0%	0.5%	0.3%	0.3%	- 1	0.0%	0.7%	0.3%	0.3%
パーキンソン病関連疾患	0.0%	15.1%	6.8%	8.4%		0.0%	14.2%	5.0%	5.9%
その他神経難病	0.0%	3.7%	2.2%	2.2%	١	0.0%	3.2%	3.8%	1.6%
神経難病以外の難病	0.0%	3.3%	1.0%	1.7%		0.0%	3.2%	3.8%	1.6%
脊髄損傷 < 四肢麻痺がみられる>	0.0%	1.7%	0.3%	0.9%		0.0%	0.7%	0.4%	0.3%
肺気腫/慢性閉塞性肺疾患(COPD)	0.0%	3.7%	10.2%	3.8%		0.0%	4.2%	12.7%	2.8%
悪性腫瘍<疼痛コントロールが必要>	0.0%	0.8%	1.7%	0.7%		0.0%	1.2%	1.0%	0.6%
肺炎	0.0%	9.2%	24.6%	9.4%		0.0%	11.7%	22.1%	6.5%
尿路感染症	0.0%	11.0%	11.1%	7.4%	1	0.0%	6.1%	5.9%	2.9%
創感染	0.0%	1.4%	1.1%	0.9%		0.0%	1.1%	1.0%	0.5%
リハビリテーション	0.0%	5.1%	3.5%	3.1%		0.0%	7.4%	2.4%	3.1%
脱水	0.0%	7.5%	13.3%	6.2%	1	0.0%	2.5%	5.6%	1.5%
体内出血	0.0%	1.3%	2.6%	1.1%		0.0%	0.9%	2.7%	0.6%
嘔吐	0.0%	2.7%	3.4%	2.0%		0.0%	2.3%	3.9%	1.2%
* 褥瘡	0.0%	4.9%	6.8%	3.7%	ļ	0.0%	14.2%	16.0%	6.9%
うっ血性潰瘍	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
せん妄	0.0%	2.3%	2.7%	1.6%		0.0%	3.1%	3.1%	1.5%
* うつ状態	0.0%	14.1%	4.0%	7.4%		0.0%	11.9%	5.6%	5.1%
暴行	0.0%	3.3%	1.1%	1.7%		0.0%	2.5%	1.2%	1.1%
透析	0.0%	3.8%	0.4%	1.8%		0.0%	4.8%	1.0%	2.0%
* 経鼻胃管・胃痩の経腸栄養く発熱または 嘔吐を伴う>	0.0%	10.0%	23.5%	9.6%	1	0.0%	7.6%	21.9%	4.9%
喀痰吸引(1日8回以上)	0.0%	21.6%	36.1%	17.6%	1	0.0%	18.8%	42.5%	11.1%
* 気管切開・気管内挿管	0.0%	11.2%	22.2%	9.8%	1	0.0%	10.7%	27.9%	6.7%
血糖検査(1日3回以上)	0.0%	1	3.5%	3.2%		0.0%	3.2%	2.3%	1.4%
皮膚の潰瘍のケア	0.0%	8.6%	8.8%	5.8%		0.0%	9.4%	10.6%	4.6%
創傷処置	0.0%	· ·		10.3%	1	0.0%	15.0%	11.0%	6.8%
全 体	100.0%		· •	100.0%		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⁽注)↑は平成17年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの 左端の*印の項目は、別紙1の共通病院での比較と傾向の違いが見られたもの(矢印の向き又は有無)

			य	成18年度調	査(n=5,17	(2)			
調査病棟に入院する前の状況	医療	区分1	医療区分2		医療区分3		合計		
1. 自宅(家族等との同居も含む)	176	10.4%	222	9.3%	64	5.9%	462	8.9%	1
2. グループホーム	2	0.1%	7	0.3%	6	0.6%	15	0.3%	
3. 有料老人ホーム	5	0.3%	13	0.5%	3	0.3%	21	0.4%	
4. ケアハウス(軽費老人ホーム含む)	4	0.2%	4	0.2%	1	0.1%	9	0.2%	
5. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	17	1.0%	62	2.6%	34	3.2%	113	2.2%	
6. 介護老人保健施設	7 7	4.5%	95	4.0%	68	6.3%	240	4.6%	
7. 他の医療機関	843	49.7%	1,150	48.0%	479	44.4%	2,472	47.8%	1
(再掲)他の医療機関の一般病床	73 1	43.1%	1,011	42.2%	443	41.1%	2,185	42.2%	
(再掲)他の医療機関の療養病床	97	5.7%	109	4.5%	32	3.0%	238	4.6%	
(再掲)他の医療機関のその他の病床(精神病床等)	15	0.9%	30	1.3%	4	0.4%	49	0.9%	
8. 自院の他の病床	549	32,4%	800	33.4%	403	37.3%	1,752	33.9%	1
(再掲)自院の一般病床(転棟)	339	20.0%	511	21.3%	249	23.1%	1,099	21.2%	
(再掲)自院のその他の病床(精神病床等) (転棟)	210	12.4%	289	12.1%	154	14.3%	653	12.6%	
9. わからない	8	0.5%	8	0.3%	5	0.5%	21	0.4%	
無回答	14	0.8%	37	1.5%	16	1.5%	67	1.3%	
全体	1,695	100.0%	2,398	100.0%	1,079	100.0%	5,172	100.0%	

(注) 平成18年度集計表の、↑は平成17年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの 左端の*印の項目は、別紙1の共通病院での比較と傾向の違いが見られたもの(矢印の向き又は有無)

			平	成17年度調]査 (n=21,42	25)		
調査病棟に入院する前の状況	医療区分1		医療	区分2	医療	区分3	合計	
1. 自宅(家族等との同居も含む)	1,966	17.5%	1,105	13.4%	268	13.7%	3,339	15.6%
2. グループホーム	30	0.3%	22	0.3%	5	0.3%	57	0.3%
3. 有料老人ホーム	28	0.2%	23	0.3%	5	0.3%	56	0.3%
4. ケアハウス(軽費老人ホーム含む)	28	0.2%	17	0.2%	3	0.2%	48	0.2%
5. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	115	1.0%	122	1.5%	49	2.5%	286	1.3%
6. 介護老人保健施設	319	2.8%	278	3.4%	81	4.1%	678	3.2%
7. 他の医療機関	3,820	34.0%	2,802	34.0%	765	39.2%	7,387	34.5%
8. 自院の他の病床	4,528	40.3%	3,655	44.3%	733	37.6%	8,916	41.6%
9. わからない	389	3.5%	226	2.7%	43	2.2%	658	3.1%
全 体	11,223	100.0%	8,250	100.0%	1,952	100.0%	21, 4 25	100.0%

	平成18年度調査 (n=5,172)										
調査病棟に入院した背景(複数回答)	医療	医療区分1		区分2	医療区分3		合計				
急性期状態が安定	1,065	62.8%	1,505	62.8%	635	58.9%	3,205	62.0%	_		
疾病の急性憎悪	114	6.7%	223	9.3%	204	18.9%	541	10.5%			
継続的高度医療管理が必要	139	8.2%	423	17.6%	369	34.2%	931	18.0%	1		
継続的なリハビリが必要	791	46.7%	952	39.7%	339	31.4%	2,082	40.3%			
他施設の空きがない	199	11.7%	192	8.0%	45	4.2%	436	8.4%			
自宅の体制が整わない	384	22.7%	463	19.3%	95	8.8%	942	18.2%	1		
本人、家族等が希望	858	50.6%	1,209	50.4%	455	42.2%	2,522	48.8%	1		
全体	1,695	100.0%	2,398	100.0%	1,079	100.0%	5,172	100.0%			

(注)平成18年度集計表の、↑は平成17年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの 左端の*印の項目は、別紙1の共通病院での比較と傾向の違いが見られたもの(矢印の向き又は有無)

		平成17年度調査 (n=21,425)										
調査病棟に入院した背景(複数回答)	医療区分1		医療[医療区分2		区分3	合計					
急性期状態が安定	6,846	61.0%	5,588	67.7%	1,341	68.7%	13,775	64.3%				
疾病の急性憎悪	727	6.5%	634	7.7%	242	12.4%	1,603	7.5%				
継続的高度医療管理が必要	654	5.8%	1,225	14.8%	530	27.2%	2,409	11.2%				
継続的なリハビリが必要	5,014	44.7%	3,268	39.6%	479	24.5%	8,761	40.9%				
他施設の空きがない	1,177	10.5%	778	9.4%	93	4.8%	2,048	9.6%				
自宅の体制が整わない	2,659	23.7%	1,685	20.4%	266	13.6%	4,610	21.5%				
本人、家族等が希望	5,192	46.3%	3,722	45.1%	851	43.6%	9,765	45.6%				
全 体	11,223	100.0%	8,250	100.0%	1,952	100.0%	21,425	100.0%				

			平	成18年度調	査(n=2,21	2)		
退院先の見通し 。 	医療区	区分1	医療図	区分2	医療区	⊻分3	合	i †
1. 自宅(家族等との同居も含む)	228	25.0%	193	19.8%	31	9.6%	452	20.4%
2. グループホーム	24	2.6%	15	1.5%	4	1.2%	43	1.9%
3. 有料老人ホーム	9	1.0%	22	2.3%	5	1.5%	36	1.6%
4. ケアハウス(軽費老人ホーム含む)	17	1.9%	16	1.6%	2	0.6%	35	1.6%
5. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	207	22.7%	211	21.6%	26	8.0%	444	20.1%
6. 介護老人保健施設	267	29.3%	288	29.5%	71	21.9%	626	28.3%
7. 他の医療機関	88	9.7%	163	16.7%	81	25.0%	332	15.0%
(再掲)他の医療機関の一般病床	24	2.6%	27	2.8%	24	7.4%	75	3.4%
(再掲)他の医療機関の療養病床	56	6.1%	128	13.1%	53	16.4%	237	10.7%
(再掲)他の医療機関のその他の病床(精神病床等)	8	0.9%	8	0.8%	4	1.2%	20	0.9%
8. 自院の他の病床	36	4.0%	41	4.2%	30	9.3%	107	4.8%
(再掲)自院の障害者施設等入院料算定 病棟	1	0.1%	2	0.2%	1	0.3%	4	0.2%
(再掲)自院の一般病床(上記病棟を除く)	5	0.5%	12	1.2%	19	5.9%	36	1.6%
(再掲)自院のその他の病床	30	3.3%	27	2.8%	10	3.1%	67	3.0%
9. その他	30	3.3%	20	2.0%	60	18.5%	110	5.0%
無回答	5	0.5%	8	0.8%	14	4.3%	27	1.2%
全体	911	100.0%	977	100.0%	324	100.0%	2,212	100.0%

※退院先の見通しは、平成17年度調査結果について「わからない」とする患者が多数いるため、退院先の割合の増減についての比較は行っていない。

NG 44 4			平	成17年度調	査 (n=21,42	25)		
退院先の見通し	医療区分1		医療区	₹分2	医療[区分3	合計	
1. 自宅(家族等との同居も含む)	2,096	18.7%	1,127	13.7%	162	8.3%	3,385	15.8%
2. グループホーム	66	0.6%	36	0.4%	2	0.1%	104	0.5%
3. 有料老人ホーム	65	0.6%	31	0.4%	2	0.1%	98	0.5%
4. ケアハウス(軽費老人ホーム含む)	53	0.5%	25	0.3%	1	0.1%	79	0.4%
5. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	968	8.6%	645	7.8%	127	6.5%	1,740	8.1%
6. 介護老人保健施設	973	8.7%	628	7.6%	57	2.9%	1,658	7.7%
7. 他の医療機関	567	5.1%	607	7.4%	130	6.7%	1,304	6.1%
8. 自院の他の病床	201	1.8%	177	2.1%	72	3.7%	4 50	2.1%
9. わからない	6,234	55.5%	4,974	60.3%	1,399	71.7%	12,607	58.8%
全体	11,223	100.0%	8,250	100.0%	1,952	100.0%	21,425	100.0%

<平成18年度のみ>		平成18年度調査 (n=5,172)										
退院の見通し	医療区分1		医療	医療区分2		区分3	合	計				
1.90日以内に退院できる見通し	254	15.0%	204	8.5%	37	3.4%	495	9.6%				
2.90日以内に退院できる見通しはないが、今後受け皿が整備されれば退院できる	624	36.8%	716	29.9%	156	14.5%	1,496	28.9%				
3. 悪化して転院・転棟・死亡する見通し	33	1.9%	57	2.4%	131	12.1%	221	4.3%				
4. 退院(転院・転棟)の見通しはない	769	45.4%	1,412	58.9%	750	69.5%	2,931	56.7%				
無回答	15	0.9%	9	0.4%	5	0.5%	29	0.6%				
全 体	1,695	100.0%	2,398	100.0%	1,079	100.0%	5,172	100.0%				

<平成18年度のみ>			4	成18年度記	周査 (n=49	5)		
退院先の見通し(「1. 90日以内に退院で きる見通し」の回答者)	医療区分1		医療	区分2	医療	区分3	合	
1. 自宅(家族等との同居も含む)	117	46.1%	99	48.5%	8	21.6%	224	45.3%
2. グループホーム	8	3.1%	2	1.0%	1	2.7%	11	2.2%
3. 有料老人ホーム	2	0.8%	8	3.9%	0	0.0%	10	2.0%
4. ケアハウス(軽費老人ホーム含む)	1	0.4%	4	2.0%	0	0.0%	5	1.0%
5. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	25	9.8%	42	20.6%	9	24.3%	76	15.4%
6. 介護老人保健施設	72	28.3%	29	14.2%	12	32.4%	113	22.8%
7. 他の医療機関の一般病床	10	3.9%	4	2.0%	0	0.0%	14	2.8%
8. 他の医療機関の療養病床	9	3.5%	11	5.4%	4	10.8%	24	4.8%
9. 他の医療機関のその他の病床	3	1.2%	3	1.5%	1	2.7%	7	1.4%
10. 自院の障害者施設等入院基本料算定 病棟	0	0.0%	1	0.5%	0	0.0%	1	0.2%
11. 自院の一般病床(10.の病棟を除く)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
12. 自院のその他の病床	4	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	4	0.8%
13. その他	3	1.2%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.6%
無回答	0	0.0%	1	0.5%	2	5.4%	3	0.6%
全 体	254	100.0%	204	100.0%	37	100.0%	495	100.0%

<平成18年度のみ>			平	成18年度調	査(n=1,49	6)		
退院先の見通し(「2. 今後受け皿が整備 されれば退院できる」の回答者)	医療区分1		医療区	医療区分2		区分3	合	\$ †
1. 自宅(家族等との同居も含む)	110	17.6%	94	13.1%	19	12.2%	223	14.9%
2. グループホーム	16	2.6%	13	1.8%	2	1.3%	31	2.1%
3. 有料老人ホーム	7	1.1%	14	2.0%	1	0.6%	22	1.5%
4. ケアハウス(軽費老人ホーム含む)	16	2.6%	12	1.7%	2	1.3%	30	2.0%
5. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホー)	181	29.0%	169	23.6%	16	10.3%	366	24.5%
6. 介護老人保健施設	194	31.1%	257	35.9%	58	37.2%	509	34.0%
7. 他の医療機関の一般病床	8	1.3%	9	1.3%	7	4.5%	24	1.6%
8. 他の医療機関の療養病床	47	7.5%	115	16.1%	46	29.5%	208	13.9%
9. 他の医療機関のその他の病床	5	0.8%	5	0.7%	1	0.6%	11	0.7%
10. 自院の障害者施設等入院基本料算定 病棟	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%	1	0.1%
11. 自院の一般病床(10.の病棟を除く)	0	0.0%	2	0.3%	1	0.6%	3	0.2%
12. 自院のその他の病床	20	3.2%	15	2.1%	2	1.3%	37	2.5%
13. その他	16	2.6%	6	0.8%	1	0.6%	23	1.5%
無回答	4	0.6%	4	0.6%	0	0.0%	8	0.5%
全 体	624	100.0%	716	100.0%	156	100.0%	1,496	100.0%

<平成18年度のみ>			ञ	成18年度記	周査 (n=221	1)		
退院先の見通し(「3. 悪化して転院・転 棟・死亡する見通し」の回答者)	医療區	区分1	医療区	区分2	医療區	区分3	合	t t
1. 自宅(家族等との同居も含む)	1	3.0%	0	0.0%	4	3.1%	5	2.3%
2. グループホーム	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%	1	0.5%
3. 有料老人ホーム	0	0.0%	0	0.0%	4	3.1%	4	1.8%
4. ケアハウス(軽費老人ホーム含む)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	1	3.0%	0	0.0%	1	0.8%	2	0.9%
6. 介護老人保健施設	1	3.0%	2	3.5%	1	0.8%	4	1.8%
7. 他の医療機関の一般病床	6	18.2%	14	24.6%	17	13.0%	37	16.7%
8. 他の医療機関の療養病床	0	0.0%	2	3.5%	3	2.3%	5	2.3%
9. 他の医療機関のその他の病床	0	0.0%	0	0.0%	2	1.5%	. 2	0.9%
10. 自院の障害者施設等入院基本料算定 病棟	1	3.0%	0	0.0%	1	0.8%	2	0.9%
11. 自院の一般病床(10.の病棟を除く)	5	15.2%	10	17.5%	18	13.7%	33	14.9%
12. 自院のその他の病床	6	18.2%	12	21.1%	8	6.1%	26	11.8%
13. その他	11	33.3%	14	24.6%	59	45.0%	84	38.0%
無回答	1	3.0%	3	5.3%	12	9.2%	16	7.2%
全 体	33	100.0%	57	100.0%	131	100.0%	221	100.0%

4 その他の患者状態像(医療区分採用項目以外)

		·	平	成18年度調	査(n=5,17	2)		
疾患(複数回答)	医療区	₹分1	医療区	医療区分2		☑分3	合	it
糖尿病	224	13.2%	362	15.1%	136	12.6%	722	14.0%
不整脈	104	6.1%	130	5.4%	70	6.5%	304	5.9%
うっ血性心不全	48	2.8%	82	3.4%	74	6.9%	204	3.9% ↓
* 高血圧症	373	22.0%	448	18.7%	178	16.5%	999	19.3% 🌡
虚血性心疾患	89	5.3%	129	5.4%	46	4.3%	264	5.1%
大腿骨頚部骨折	122	7.2%	149	6.2%	55	5.1%	326	6.3%
脊椎圧迫骨折	45	2.7%	72	3.0%	23	2.1%	140	2.7%
その他の骨折	75	4.4%	80	3.3%	30	2.8%	185	3.6%
関節リウマチ	36	2.1%	59	2.5%	13	1.2%	108	2.1%
アルツハイマー病	68	4.0%	90	3.8%	48	4.4%	206	4.0%
* 失語症	138	8.1%	217	9.0%	98	9.1%	453	8.8% 1
脳性麻痺	4	0.2%	18	0.8%	6	0.6%	28	0.5%
* 脳梗塞	655	38.6%	801	33.4%	397	36.8%	1,853	35.8%
脳出血	315	18.6%	391	16.3%	174	16.1%	880	17.0%
* アルツハイマー病以外の認知症	278	16.4%	478	19.9%	172	15.9%	928	17.9% ↑
片側不全麻痺	300	17.7%	307	12.8%	105	9.7%	712	13.8%
四肢麻痺	81	4.8%	273	11.4%	120	11.1%	474	9.2% 1
脊髄損傷	31	1.8%	77	3.2%	5	0.5%	113	2.2%
喘息	34	2.0%	62	2.6%	51	4.7%	147	2.8%
腎不全	55	3.2%	116	4.8%	45	4.2%	216	4.2%
がん(悪性腫瘍)	76	4.5%	119	5.0%	100	9.3%	295	5.7%
腸閉塞(イレウス)<新規>	9	0.5%	24	1.0%	28	2.6%	61	1.2%
肝不全 <新規>	9	0.5%	15	0.6%	17	1.6%	41	0.8%
急性心不全 <新規>	3	0.2%	4	0.2%	12	1.1%	19	0.4%
慢性心不全 <新規>	130	7.7%	165	6.9%	144	13.3%	439	8.5%
仮性球麻痺 <新規>	250	14.7%	4 02	16.8%	213	19.7%	865	16.7%
全 体	1,695	100.0%	2,398	100.0%	1,079	100.0%	5,172	100.0%

⁽注)平成18年度集計表の、↑は平成17年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの 左端の*印の項目は、別紙1の共通病院での比較と傾向の違いが見られたもの(矢印の向き又は有無)

			平	成17年度調	査(n=21,42	5)		
疾患(複数回答)	医療区	≅分1	医療区分2		医療区分3		合	Bt
糖尿病	1,529	13.6%	1,228	14.9%	218	11.2%	2,975	13.9%
不整脈	517	4.6%	419	5.1%	114	5.8%	1,050	4.9%
うっ血性心不全	970	8.6%	685	8.3%	256	13.1%	1,911	8.9%
高血圧症	2,777	24.7%	1,696	20.6%	321	16.4%	4,794	22.4%
虚血性心疾患	839	7.5%	525	6.4%	127	6.5%	1,491	7.0%
大腿骨頚部骨折	913	8.1%	534	6.5%	71	3.6%	1,518	7.1%
脊椎圧迫骨折	421	3.8%	255	3.1%	24	1.2%	700	3.3%
その他の骨折	526	4.7%		3.6%	47	2.4%	868	4.1%
関節リウマチ	305	2.7%	183	2.2%	51	2.6%	539	2.5%
アルツハイマー病	395	3.5%	316	3.8%	50	2.6%	761	3.6%
失語症	477	4.3%	441	5.3%	111	5.7%	1,029	4.8%
脳性麻痺	123	1.1%	73	0.9%	17	0.9%	213	1.0%
脳梗塞	4,353	38.8%	2,849	34.5%		35.6%	7,897	36.9%
脳出血	1,619	14.4%	1,177	14.3%	312	16.0%	3,108	14.5%
アルツハイマー病以外の認知症	1,717	15.3%	1,207	14.6%	245	12.6%	3,169	14.8%
片側不全麻痺	1,643	14.6%	888	10.8%	176	9.0%	2,707	12.6%
四肢麻痺	368	3.3%	643	7.8%	221	11.3%	1,232	5.8%
脊髄損傷	111	1.0%	154	1.9%	24	1.2%	289	1.3%
喘息	244	2.2%	219	2.7%	102	5.2%	565	2.6%
腎不全	320	2.9%	581	7.0%	78	4.0%	979	4.6%
がん(悪性腫瘍)	515	4.6%	498	6.0%	163	8.4%	1,176	5.5%
全 体	11,223	100.0%	8,250	100.0%	1,952	100.0%	21,425	100.0%

	平成18年度調査 (n=5,172)									
感染症(複数回答)	医療区分1		医療	₹分2	医療図	区分3	合	dž		
抗生物質耐性菌感染(たとえばMRSA)	17	1.0%	72	3.0%	97	9.0%	186	3.6%		
後天性免疫不全症候群(HIV感染含む)	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%	1	0.0%		
上気道感染	15	0.9%	65	2.7%	37	3.4%	117	2.3%		
敗血症	1	0.1%	3	0.1%	8	0.7%	12	0.2%		
多剤耐性結核	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		
上記以外の結核	2	0.1%	3	0.1%	2	0.2%	7	0.1%		
ウィルス性肝炎	13	0.8%	12	0.5%	5	0.5%	30	0.6%		
皮膚の感染症	10	0.6%	35	1.5%	18	1.7%	63	1.2%		
急性胆囊炎 〈新規〉	4	0.2%	10	0.4%	9	0.8%	23	0.4%		
急性腹膜炎 <新規>	0	0.0%	1	0.0%	0	0.0%	1	0.0%		
急性膵炎 <新規>	0	0.0%	2	0.1%	2	0.2%	4	0.1%		
全 体	1,695	100.0%	2,398	100.0%	1,079	100.0%	5,172	100.0%		

⁽注)平成18年度集計表の、↑は平成17年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの 左端の*印の項目は、別紙1の共通病院での比較と傾向の違いが見られたもの(矢印の向き又は有無)

	平成17年度調査 (n=21,425)									
感染症(複数回答)	医療区分1		医療	≅分2	医療[区分3	合	計		
抗生物質耐性菌感染(たとえばMRSA)	108	1.0%	246	3.0%	180	9.2%	534	2.5%		
後天性免疫不全症候群(HIV感染含む)	4	0.0%	1	0.0%	1	0.1%	6	0.0%		
上気道感染	72	0.6%	172	2.1%	71	3.6%	315	1.5%		
敗血症	9	0.1%	22	0.3%	13	0.7%	44	0.2%		
多剤耐性結核	1	0.0%	9	0.1%	3	0.2%	13	0.1%		
上記以外の結核	18	0.2%	20	0.2%	16	0.8%	54	0.3%		
ウィルス性肝炎	102	0.9%	84	1.0%	20	1.0%	206	1.0%		
皮膚の感染症	83	0.7%	161	2.0%	43	2.2%	287	1.3%		
全 体	11,223	100.0%	8,250	100.0%	1,952	100.0%	21,425	100.0%		

		平成18年度調査 (n=5,172)									
問題状況(複数回答)	医療区分1		医療区	医療区分2		医療区分3		#	ı		
妄想	51	3.0%	176	7.3%	33	3.1%	260	5.0%			
発熱	46	2.7%	323	13.5%	457	42.4%	826	16.0%	1		
幻覚	33	1.9%	97	4.0%	24	2.2%	154	3.0%			
嘔吐	0	0.0%	64	2.7%	37	3.4%	101	2.0%			
胸水 <新規>	2	0.1%	24	1.0%	62	5.7%	88	1.7%			
腹水 <新規>	0	0.0%	7	0.3%	21	1.9%	28	0.5%			
高カルシウム血症(10.5mg/dl以上) <新規>	0	0.0%	4	0.2%	2	0.2%	6	0.1%			
悪疫質(癌を伴う) <新規>	3	0.2%	8	0.3%	22	2.0%	33	0.6%			
消化管の通過障害(癌を伴う) <新規>	2	0.1%	4	0.2%	15	1.4%	21	0.4%			
全 体	1,695	100.0%	2,398	100.0%	1,079	100.0%	5,172	100.0%			

⁽注)平成18年度集計表の、↑は平成17年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの 左端の*印の項目は、別紙1の共通病院での比較と傾向の違いが見られたもの(矢印の向き又は有無)

		平成17年度調査 (n=21,425)										
問題状況(複数回答)	医療	医療区分1		医療区分2		区分3	合計					
妄想	236	2.1%	292	3.5%	60	3.1%	588	2.7%				
発熱	199	1.8%	886	10.7%	733	37.6%	1,818	8.5%				
幻覚	118	1.1%	209	2.5%	34	1.7%	361	1.7%				
嘔吐	0	0.0%	190	2.3%	76	3.9%	266	1.2%				
全 体	11,223	100.0%	8,250	100.0%	1,952	100.0%	21,425	100.0%				

			平	成18年度調	査(n=5,17	(2)			
処置·治療(複数回答)	医療区	区分1	医療	医療区分2		区分3	合計		
抗がん剤療法	6	0.4%	6	0.3%	4	0.4%	16	0.3%	
胃痩、腎痩、人工肛門などの痩の処置	216	12.7%	637	26.6%	309	28.6%	1,162	22.5%	1
放射線治療	1	0.1%	0	0.0%	1	0.1%	2	0.0%	
吸引(1日1~7回)	62	3.7%	146	6.1%	123	11.4%	331	6.4%	Į.
輸血	0	0.0%	4	0.2%	12	1.1%	16	0.3%	
緩和ケア	5	0.3%	11	0.5%	12	1.1%	28	0.5%	
疼痛コントロール	45	2.7%	90	3.8%	35	3.2%	170	3.3%	,
膀胱留置カテーテル	92	5.4%	283	11.8%	327	30.3%	702	13.6%	1
血糖チェック(週1回~1日2回)	41	2.4%	53	2.2%	54	5.0%	148	2.9%	i
インシュリン皮下注射	53	3.1%	135	5.6%	58	5.4%	246	4.8%	
全 体	1,695	100.0%	2,398	100.0%	1,079	100.0%	5,172	100.0%	

⁽注)平成18年度集計表の、↑は平成17年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの 左端の*印の項目は、別紙1の共通病院での比較と傾向の違いが見られたもの(矢印の向き又は有無)

		平成17年度調査 (n=21,425)									
│ 処置·治療(複数回答) │	医療図	区分1	医療	≤分2	医療[区分3	合計				
	21	0.2%	16	0.2%	5	0.3%	42	0.2%			
胃痩、腎痩、人工肛門などの痩の処置	955	8.5%	1,666	20.2%	487	24.9%	3,108	14.5%			
放射線治療	3	0.0%	4	0.0%	5	0.3%	12	0.1%			
吸引(1日1~7回)	916	8.2%	1,188	14.4%	399	20.4%	2,503	11.7%			
輸血	8	0.1%	7	0.1%	6	0.3%	21	0.1%			
緩和ケア	122	1.1%	148	1.8%	52	2.7%	322	1.5%			
疼痛コントロール	452	4.0%	419	5.1%	89	4.6%	960	4.5%			
膀胱留置カテーテル	484	4.3%	924	11.2%	596	30.5%	2,004	9.4%			
血糖チェック(週1回~1日2回)	590	5.3%	420	5.1%	106	5.4%	1,116	5.2%			
インシュリン皮下注射	330	2.9%	398	4.8%	52	2.7%	780	3.6%			
全 体	11,223	100.0%	8,250	100.0%	1,952	100.0%	21,425	100.0%			

Γ		平成18年度調査 (n=5,172)									
	状態の安定性(複数回答)	医療区分1		医療区分2		医療区分3		合計			
ŀ	個室における管理が必要	9	0.5%	36	1.5%	90	8.3%	135	2.6%		
↑	急性症状が発生したり再発性や慢性の問題 が再燃した	40	2.4%	185	7.7%	229	21.2%	454	8.8% 1		
	末期の疾患であり余命が6ヶ月以下である	10	0.6%	12	0.5%	70	6.5%	92	1.8%		
Ī	全 体	1,695	100.0%	2,398	100.0%	1,079	100.0%	5,172	100.0%		

⁽注)平成18年度集計表の、↑は平成17年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの 左端の*印の項目は、別紙1の共通病院での比較と傾向の違いが見られたもの(矢印の向き又は有無)

	平成17年度調査 (n=21,425)										
状態の安定性(複数回答) 	医療区分1		医療区分2		医療区分3		合計				
絶対安静	55	0.5%	157	1.9%	256	13.1%	468	2.2%			
個室における管理が必要	62	0.6%	142	1.7%	199	10.2%	403	1.9%			
急性症状が発生したり再発性や慢性の問題 が再燃した	210	1.9%	500	6.1%	393	20.1%	,	5.1%			
末期の疾患であり余命が6ヶ月以下である	35	0.3%	91	1.1%	126	6.5%	252	1.2%			
全 体	11,223	100.0%	8,250	100.0%	1,952	100.0%	21,425	100.0%			

		平成18年度調査 (n=5,172)									
栄養摂取の方法(複数回答) 	医療区分1		医療区分2		医療区分3		合計				
中心静脈栄養	0	0.0%	0	0.0%	324	30.0%	324	6.3%	1		
末梢静脈栄養	17	1.0%	83	3.5%	208	19.3%	308	6.0%			
経管栄養	363	21.4%	1,071	44.7%	488	45.2%	1,922	37.2%	1		
いずれか1つ以上該当	377	22.2%	1,132	47.2%	890	82.5%	2,399	46.4%	1]		
全 体	1,695	100.0%	2,398	100.0%	1,079	100.0%	5,172	100.0%			

⁽注)平成18年度集計表の、↑は平成17年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの 左端の*印の項目は、別紙1の共通病院での比較と傾向の違いが見られたもの(矢印の向き又は有無)

W # 17 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1		平成17年度調査 (n=21,425)									
栄養摂取の方法(複数回答)	医療区分1		医療区分2		医療区分3		合計				
中心静脈栄養	0	0.0%	0	0.0%	335	17.2%	335	1.6%			
末梢静脈栄養	120	1.1%	228	2.8%	371	19.0%	719	3.4%			
経管栄養	1,816	16.2%	3,128	37.9%	907	46.5%	5,851	27.3%			
いずれか1つ以上該当	1,925	17.2%	3,312	40.1%	1,409	72.2%	6,646	31.0%			
全 体	11,223	100.0%	8,250	100.0%	1,952	100.0%	21,425	100.0%			

リハビリテーションを要す状	態	平成18年度調査 (n=3,413)									
発症してからの日数	- 1	医療区分1		医療区分2		区分3	合	計			
14日以下	0	0.0%	. 33	2.1%	22	3.6%	55	1.6%			
15日から30日以下	0	0.0%	90	5.6%	16	2.6%	106	3.1%			
* 31日から90日以下	142	11.8%	139	8.7%	73	11.9%	354	10.4%			
91日から180日以下	150	12.5%	167	10.4%	72	11.7%	389	11.4%			
* 181日以上	894	74.6%	1,154	72.1%	420	68.5%	2,468	72.3%			
無回答	13	1.1%	18	1.1%	10	1.6%	41	1.2%			
全 体	1,199	100.0%	1,601	100.0%	613	100.0%	3,413	100.0%			

⁽注)平成18年度集計表の、↑は平成17年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの 左端の*印の項目は、別紙1の共通病院での比較と傾向の違いが見られたもの(矢印の向き又は有無)

リハビリテーションを要す状態		平成17年度調査 (n=14,273)									
発症してからの日数	医療	医療区分1		医療区分2		医療区分3		計			
14日以下	0	0.0%	269	4.9%	19	2.0%	288	2.0%			
15日から30日以下	0	0.0%	342	6.2%	27	2.9%	369	2.6%			
31日から90日以下	986	12.6%	415	7.5%	87	9.4%	1,488	10.4%			
91日から180日以下	1,094	13.9%	578	10.5%	93	10.0%	1,765	12.4%			
181日以上	5,554	70.8%	3,774	68.6%	683	73.5%	10,011	70.1%			
無回答	210	2.7%	122	2.2%	20	2.2%	352	2.5%			
全体	7,844	100.0%	5,500	100.0%	929	100.0%	14,273	100.0%			

		平成18年度調査 (n=5,172)										
日常の意思決定を行うための認知能力	医療区分1		医療	医療区分2		区分3	合計					
自立	337	19.9%	303	12.6%	63	5.8%	703	13.6%	1			
限定的な自立	283	16.7%	243	10.1%	65	6.0%	591	11.4%				
軽度の障害	180	10.6%	224	9.3%	47	4.4%	451	8.7%				
中程度の障害	321	18.9%	417	17.4%	142	13.2%	880	17.0%				
重度の障害	356	21.0%	650	27.1%	391	36.2%	1,397	27.0%	1			
意識障害者	209	12.3%	546	22.8%	366	33.9%	1,121	21.7%	1			
無回答	9	0.5%	15	0.6%	5	0.5%	29	0.6%				
全 体	1,695	100.0%	2,398	100.0%	1,079	100.0%	5,172	100.0%				

⁽注)平成18年度集計表の、↑は平成17年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの 左端の*印の項目は、別紙1の共通病院での比較と傾向の違いが見られたもの(矢印の向き又は有無)

	平成17年度調査 (n=21,425)									
日常の意思決定を行うための認知能力	医療区分1		医療	≅分2	医療区分3		合	計		
自立	2,955	26.3%	1,398	16.9%	255	13.1%	4,608	21.5%		
限定的な自立	1,773	15.8%	951	11.5%	139	7.1%	2,863	13.4%		
軽度の障害	1,121	10.0%	695	8.4%	96	4.9%	1,912	8.9%		
中程度の障害	1,940	17.3%	1,310	15.9%	205	10.5%	3,455	16.1%		
重度の障害	2,194	19.5%	1,980	24.0%	424	21.7%	4,598	21.5%		
意識障害者	1,158	10.3%	1,872	22.7%	822	42.1%	3,852	18.0%		
無回答	82	0.7%	44	0.5%	11	0.6%	137	0.6%		
全 体	11,223	100.0%	8,250	100.0%	1,952	100.0%	21,425	100.0%		

平成18年度「慢性期入院医療の包括評価に関する調査」 《患者特性調査(介護療養病棟) 集計結果速報》

平成18年度調査集計対象: 平成18年度調査対象病院のうち、平成17年度慢性期入院医療実態調査を実施した病院(16病院)の、 療養型介護療養施設サービス費を算定している患者

平成17年度調査集計対象: 平成17年度慢性期入院医療実態調査の対象病院のうち、平成18年調査を実施した病院(16病院)の、 療養型介護療養施設サービス費を算定している患者

1 ADL区分・医療区分、認知機能障害加算の状況

		平成18年度	調査 (n=6	78)	平成17年度調査 (n=760)				
ADL区分	医療区分1	医療区分2	医療区分3	計	医療区分1	医療区分2	医療区分3	計	
ADL区分3	29.4%	20.6%	7.1%	57.1%	31.3%	19.2%	5.1%	55.7%	
ADL区分2	20.5%	8.6%	1.3%	30.4%	19.9%	12.8%	0.8%	33,4%	
ADLEZA	3.2% (認)	1.2% (認)	0.1%	12.5%	4.1%(認)	1.6%(認)	0.0%	10.9%	
ADL区分1	5.9%	1.5%	0.1%	12.5%	3.9%	1.3%	0.0%	10.570	
計	59.6%	31.9%	8.6%	100.0%	59.2%	34.9%	5.9%	100.0%	

無回答 n=2

無回答 n=6

2 医療区分採用項目

		平成18年度	調査 (n=68	30)	3	平成17年度	調査 (n=766)	
医療区分採用項目	医療区分1	医療区分2	医療区分3	合計	医療区分1	医療区分2	医療区分3	合計
スモン	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
24時間の監視・管理	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.4%	0.3%
中心静脈栄養	0.0%	0.0%	15.3%	1.3%	0.0%	0.0%	28.9%	1.7%
24時間持続点滴	0.0%	0.0%	32.2%	2.8%	0.0%	0.0%	37.8%	2.2%
人工呼吸器(レスピレーター)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	0.1%
ドレーン法・胸腹腔洗浄	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
気管切開・気管内挿管<発熱を伴う>	0.0%	0.0%	6.8%	0.6%	0.0%	0.0%	2.2%	0.1%
酸素療法	0.0%	0.0%	28.8%	2.5%	0.0%	0.0%	35.6%	2.1%
感染隔離室	0.0%	0.0%	18.6%	1.6%	0.0%	0.0%	15.6%	0.9%
多発性硬化症	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	0.1%
パーキンソン病関連疾患	0.0%	12.9%	3.4%	4.4%	0.0%	11.3%	13.3%	4.7%
その他神経難病	0.0%	0.9%	0.0%	0.3%	0.0%	1.5%	0.0%	0.5%
神経難病以外の難病	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	0.5%
脊髄損傷<四肢麻痺がみられる>	0.0%	1.4%	0.0%	0.4%	0.0%	0.4%	0.0%	0.1%
肺気腫/慢性閉塞性肺疾患(COPD)	0.0%	5.1%	6.8%	2.2%	0.0%	3.8%	13.3%	2.1%
悪性腫瘍<疼痛コントロールが必要>	0.0%	0.5%	0.0%	0.1%	0.0%	0.4%	0.0%	0.1%
肺炎	0.0%	5.5%	23.7%	3.8%	0.0%	7.5%	26.7%	4.2%
尿路感染症	0.0%	6.5%	8.5%	2.8%	0.0%	5.3%	2.2%	2.0%
創感染	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	0.3%
リハビリテーション	0.0%	0.5%	1.7%	0.3%	0.0%	0.8%	0.0%	0.3%
脱水	0.0%	10.6%	13.6%	4.6%	0.0%	4.1%	8.9%	2.0%
体内出血	0.0%	1.8%	0.0%	0.6%	0.0%	1.1%	6.7%	0.8%
嘔吐	0.0%	1.4%	0.0%	0.4%	0.0%	1.5%	0.0%	0.5%
褥瘡	0.0%	6.0%	6.8%	2.5%	0.0%	13.2%	13.3%	5.4%
うっ血性潰瘍	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
せん妄	0.0%	2.3%	0.0%	0.7%	0.0%	3.4%	2.2%	1.3%
うつ状態	0.0%	14.7%	1.7%	4.9%	0.0%	27.8%	6.7%	10.1%
暴行	0.0%	7.4%	3.4%	2.6%	0.0%	3.0%	2.2%	1.2%
透析	0.0%	1.4%	0.0%	0.4%	0.0%	0.4%	0.0%	0.1%
経鼻胃管・胃痩の経腸栄養<発熱または 嘔吐を伴う>	0.0%	7.8%	16.9%	4.0%	0.0%	8.3%	6.7%	3.3%
喀痰吸引(1日8回以上)	0.0%	14.7%	32.2%	7.5%	0.0%	15.8%	31.1%	7.3%
気管切開·気管内挿管	0.0%	3.2%	11.9%	2.1%	0.0%	3.4%	15.6%	2.1%
血糖検査(1日3回以上)	0.0%	2.3%	0.0%	0.7%	0.0%	1.1%	2.2%	0.5%
皮膚の潰瘍のケア	0.0%	15.2%	10.2%	5.7%	0.0%		8.9%	3.5%
創傷処置	0.0%	23.0%	13.6%	8.5%	0.0%		1	8.4%
全 体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		-)	100.0%

(注)↑は平成17年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの

			ম	☑成18年度記	周査 (n=686	0)			
調査病棟に入院する前の状況 	医療	区分1	医療	区分2	医療	区分3	合	計	
1. 自宅(家族等との同居も含む)	25	6.2%	10	4.6%	3	5.1%	38	5.6%	ᆿ
2. グループホーム	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%	
3. 有料老人ホーム	10	2.5%	1	0.5%	3	5.1%	14	2.1%	
4. ケアハウス(軽費老人ホーム含む)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-
5. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	3	0.7%	2	0.9%	0	0.0%	5	0.7%	
6. 介護老人保健施設	16	4.0%	5	2.3%	1	1.7%	22	3.2%	
7. 他の医療機関	116	28.7%	87	40.1%	25	42.4%	228	33.5%	
(再掲)他の医療機関の一般病床	105	26.0%	<i>7</i> 5	34.6%	22	37.3%	202	29.7%	
(再掲)他の医療機関の療養病床	8	2.0%	11	5.1%	3	5.1%	22	3.2%	1
(再掲)他の医療機関のその他の病床(精 神病床等)	3	0.7%	1	0.5%	0	0.0%	4	0.6%	
8. 自院の他の病床	232	57.4%	112	51.6%	27	45.8%	371	54.6%	1
(再掲)自院の一般病床(転棟)	105	26.0%	64	29.5%	21	35.6%	190	27.9%	
(再掲)自院のその他の病床(精神病床等)(転棟)	127	31.4%	48	22.1%	6	10.2%	181	26.6%	
9. わからない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
無回答	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%	
全 体	404	100.0%	217	100.0%	59	100.0%	680	100.0%	••••

⁽注)平成18年度集計表の、↑は平成17年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの

	•		<u> </u>	成17年度	凋査 (n=76	6)		
調査病棟に入院する前の状況	医療区分1		医療	区分2	医療	区分3	合	計
1. 自宅(家族等との同居も含む)	41	9.0%	16	6.0%	4	8.9%	61	8.0%
2. グループホーム	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
3 有料老人ホーム	9	2.0%	0	0.0%	1	2.2%	10	1.3%
4. ケアハウス(軽費老人ホーム含む)	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%
5. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	5	1.1%	7	2.6%	0	0.0%	12	1.6%
6. 介護老人保健施設	28	6.2%	12	4.5%	5	11.1%	45	5.9%
7. 他の医療機関	145	31.9%	89	33.5%	9	20.0%	243	31.7%
8. 自院の他の病床	214	47.0%	140	52.6%	25	55.6%	379	49.5%
9. わからない	12	2.6%	2	0.8%	1	2.2%	15	2.0%
全 体	455	100.0%	266	100.0%	45	100.0%	766	100.0%

		平成18年度調査 (n=680)										
調査病棟に入院した背景(複数回答)	医療区分1		医療	医療区分2		医療区分3		計				
急性期状態が安定	304	75.2%	185	85.3%	46	78.0%	535	78.7%	1			
疾病の急性憎悪	22	5.4%	11	5.1%	4	6.8%	37	5.4%				
継続的高度医療管理が必要	15	3.7%	6	2.8%	10	16.9%	31	4.6%	ľ			
継続的なリハビリが必要	127	31.4%	54	24.9%	10	16.9%	191	28.1%	1			
他施設の空きがない	73	18.1%	27	12.4%	4	6.8%	104	15.3%	·			
自宅の体制が整わない	168	41.6%	95	43.8%	21	35.6%	284	41.8%	1			
本人、家族等が希望	286	70.8%	182	83.9%	49	83.1%	517	76.0%	Ì			
全 体	404	100.0%	217	100.0%	59	100.0%	680	100.0%				

⁽注)平成18年度集計表の、↑は平成17年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの

	平成17年度調査 (n=766)									
調査病棟に入院した背景(複数回答) 	医療区分1		医療	医療区分2		区分3	合	計		
急性期状態が安定	276	60.7%	168	63.2%	30	66.7%	474	61.9%		
疾病の急性憎悪	24	5.3%	9	3.4%	7	15.6%	40	5.2%		
継続的高度医療管理が必要	12	2.6%	8	3.0%	5	11.1%	25	3.3%		
継続的なリハビリが必要	198	43.5%	121	45.5%	17	37.8%	336	43.9%		
他施設の空きがない	69	15.2%	34	12.8%	2	4.4%	105	13.7%		
自宅の体制が整わない	121	26.6%	81	30.5%	5	11.1%	207	27.0%		
本人、家族等が希望	302	66.4%	174	65.4%	18	40.0%	494	64.5%		
全 体	455	100.0%	266	100.0%	45	100.0%	766	100.0%		

			र्य	成18年度記	周査 (n=195)		
退院先の見通し	医療	区分1	医療区	₹分2	医療区分3		合:	! +
1. 自宅(家族等との同居も含む)	13	10.2%	4	7.1%	0	0.0%	17	8.7%
2. グループホーム	16	12.6%	3	5.4%	0	0.0%	19	9.7%
3. 有料老人ホーム	1	0.8%	2	3.6%	1	8.3%	4	2.1%
4. ケアハウス(軽費老人ホーム含む)	6	4.7%	0	0.0%	0	0.0%	6	3.1%
5. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	60	47.2%	25	44.6%	2	16.7%	87	44.6%
6. 介護老人保健施設	25	19.7%	14	25.0%	2	16.7%	41	21.0%
7. 他の医療機関	0	0.0%	3	5.4%	0	0.0%	3	1.5%
(再掲)他の医療機関の一般病床	0	0.0%	1	1.8%	0	0.0%	1	0.5%
(再掲)他の医療機関の療養病床	0	0.0%	2	3.6%	0	0.0%	2	1.0%
(再掲)他の医療機関のその他の病床	0	0.0%	0	0.0%	. 0	0.0%	0	0.0%
8. 自院の他の病床	0	0.0%	3	5.4%	2	16.7%	5	2.6%
(再掲)自院の障害者施設等入院基本料 算定病棟	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
(再掲)自院の一般病床(上記病棟を除く)	0	0.0%	3	5.4%	0	0.0%	3	1.5%
(再掲)自院のその他の病床	0	0.0%	0	0.0%	2	16.7%	2	1.0%
9. その他	0	0.0%	1	1.8%	1	8.3%	2	1.0%
無回答	6	4.7%	1	1.8%	4	33.3%	11	5.6%
全 体	127	100.0%	56	100.0%	12	100.0%	195	100.0%

※退院先の見通しは、平成17年度調査結果について「わからない」とする患者が多数いるため、退院先の割合の増減についての比較は行っていない。

			ম	成17年度記	周査 (n=766	3)		
退院先の見通し	医療区分1		医療区	₹分2	医療区分3		合計	
1. 自宅(家族等との同居も含む)	13	2.9%	4	1.5%	0	0.0%	17	2.2%
2. グループホーム	2	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.3%
3. 有料老人ホーム	2	0.4%	2	0.8%	0	0.0%	4	0.5%
4. ケアハウス(軽費老人ホーム含む)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	31	6.8%	2 1	7.9%	1	2.2%	53	6.9%
6. 介護老人保健施設	16	3.5%	16	6.0%	1	2.2%	33	4.3%
7. 他の医療機関	7	1.5%	4	1.5%	0	0.0%	11	1.4%
8. 自院の他の病床	10	2.2%	19	7.1%	4	8.9%	33	4.3%
9. わからない	374	82.2%	200	75.2%	39	86.7%	613	80.0%
全 体	455	100.0%	266	100.0%	45	100.0%	766	100.0%

<平成18年度のみ>	平成18年度調査 (n=680)									
退院の見通し	医療区分1		医療	医療区分2		区分3	合計			
1. 90日以内に退院できる見通し	16	4.0%	5	2.3%	0	0.0%	21	3.1%		
2.90日以内に退院できる見通しはないが、今後受け皿が整備されれば退院できる	106	26.2%	47	21.7%	5	8.5%	158	23.2%		
3. 悪化して転院・転棟・死亡する見通し	5	1.2%	4	1.8%	7	11.9%	16	2.4%		
4. 退院(転院・転棟)の見通しはない	277	68.6%	161	74.2%	47	79.7%	485	71.3%		
全 体	404	100.0%	217	100.0%	59	100.0%	680	100.0%		

<平成18年度のみ>			3	平成18年度	調査 (n=21)		
退院先の見通し(「1.90日以内に退院できる見通し」の回答者)	医療区分1		医療	区分2	医療	区分3	合	dž
1. 自宅(家族等との同居も含む)	5	31.3%	1	20.0%	0	-	6	28.6%
2. グループホーム	1	6.3%	1	20.0%	0	-	2	9.5%
3. 有料老人ホーム	0	0.0%	0	0.0%	0	-	0	0.0%
4. ケアハウス(軽費老人ホーム含む)	0	0.0%	0	0.0%	0	-	0	0.0%
5. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	3	18.8%	2	40.0%	0	-	5	23.8%
6. 介護老人保健施設	6	37.5%	0	0.0%	0	-	6	28.6%
7. 他の医療機関の一般病床	0	0.0%	0	0.0%	0	-	0	0.0%
8. 他の医療機関の療養病床	0	0.0%	1	20.0%	0	-	1	4.8%
9. 他の医療機関のその他の病床	0	0.0%	0	0.0%	0	-	0	0.0%
10. 自院の障害者施設等入院基本料算定 病棟	0	0.0%	0	0.0%	0	-	0	0.0%
11. 自院の一般病床(10.の病棟を除く)	0	0.0%	0	0.0%	0	-	0	0.0%
12. 自院のその他の病床	0	0.0%	0	0.0%	0	-	0	0.0%
13. その他	0	0.0%	0	0.0%	0.	-	0	0.0%
無回答	1	6.3%	0	0.0%	0	-	1	4.8%
全 体	16	100.0%	5	100.0%	0	-	21	100.0%

<平成18年度のみ>			म्	² 成18年度記	凋査 (n=15	в)		
退院先の見通し(「2. 今後受け皿が整備 されれば退院できる」の回答者)	医療区分1		医療区分2		医療区分3		合	計
1. 自宅(家族等との同居も含む)	8	7.5%	3	6.4%	0	0.0%	11	7.0%
2. グループホーム	15	14.2%	2	4.3%	0	0.0%	17	10.8%
3. 有料老人ホーム	0	0.0%	2 -	4.3%	0	0.0%	2	1.3%
4. ケアハウス(軽費老人ホーム含む)	6	5.7%	0	0.0%	0	0.0%	6	3.8%
5. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	57	53.8%	23	48.9%	2	40.0%	82	51.9%
6. 介護老人保健施設	19	17.9%	14	29.8%	2	40.0%	35	22.2%
7. 他の医療機関の一般病床	0	0.0%	1	2.1%	0	0.0%	1	0.6%
8. 他の医療機関の療養病床	0	0.0%	1	2.1%	0	0.0%	1	0.6%
9. 他の医療機関のその他の病床	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
10. 自院の障害者施設等入院基本料算定 病棟	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
11. 自院の一般病床(10.の病棟を除く)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
12. 自院のその他の病床	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
13. その他	0	0.0%	1	2.1%	0 '	0.0%	1	0.6%
無回答	1	0.9%	0	0.0%	1	20.0%	2	1.3%
全体	106	100.0%	47	100.0%	5	100.0%	158	100.0%

<平成18年度のみ>			7	平成18年度	調査 (n=16	5)		
退院先の見通し(「3. 悪化して転院・転棟・死亡する見通し」の回答者)	医療区分1		医療区	⊻分2	医療	区分3	合	i t
1. 自宅(家族等との同居も含む)	0	0.0%	O	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2. グループホーム	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
3. 有料老人ホーム	1	20.0%	0	0.0%	1	14.3%	2	12.5%
4. ケアハウス(軽費老人ホーム含む)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
6. 介護老人保健施設	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
7. 他の医療機関の一般病床	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
8. 他の医療機関の療養病床	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
9. 他の医療機関のその他の病床	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	Ö	0.0%
10. 自院の障害者施設等入院基本料算定 病棟	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
11. 自院の一般病床(10.の病棟を除く)	0	0.0%	3	75.0%	0	0.0%	3	18.8%
12. 自院のその他の病床	0	0.0%	0	0.0%	2	28.6%	2	12.5%
13. その他	0	0.0%	0	0.0%	1	14.3%	1	6.3%
無回答	4	80.0%	1	25.0%	3	42.9%	8	50.0%
全 体	5	100.0%	4	100.0%	7	100.0%	16	100.0%

4 その他の患者状態像(医療区分採用項目以外)

			<u> </u>	成18年度訓	査 (n≃680)			
疾患(複数回答)	医療	⊠分1	医療区	₹分2	医療区	₹分3	合	Ħ	
糖尿病	42	10.4%	30	13.8%	8	13.6%	80	11.8%	
不整脈	19	4.7%	19	8.8%	5	8.5%	43	6.3%	ļ
うっ血性心不全	36	8.9%	23	10.6%	10	16.9%	69	10.1%	1
高血圧症	80	19.8%	47	21.7%	7	11.9%	134	19.7%	1
虚血性心疾患	25	6.2%	21	9.7%	8	13.6%	54	7.9%	
大腿骨頚部骨折	44	10.9%	18	8.3%	4	6.8%	66	9.7%	
脊椎圧迫骨折	18	4.5%	16	7.4%	2	3.4%	36	5.3%	
その他の骨折	13	3.2%	12	5.5%	1	1.7%	26	3.8%	
関節リウマチ	2	0.5%	4	1.8%	1	1.7%	7	1.0%	
アルツハイマー病	38	9.4%	9	4.1%	5	8.5%	52	7.6%	
失語症	42	10.4%	36	16.6%	10	16.9%	88	12.9%	1
脳性麻痺	4	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	0.6%	
脳梗塞	201	49.8%	105	48.4%	22	37.3%	328	48.2%	
脳出血	51	12.6%	28	12.9%	11	18.6%	90	13.2%	
アルツハイマー病以外の認知症	130	32.2%	80	36.9%	15	25.4%	225	33.1%	1
片側不全麻痺/片麻痺	105	26.0%	57	26.3%	19	32.2%	181	26.6%	1
四肢麻痺	28	6.9%	23	10.6%	7	11.9%	58	8.5%	1
脊髄損傷	2	0.5%	4	1.8%	0	0.0%	6	0.9%	
喘息	6	1.5%	4	1.8%	2	3.4%	12	1.8%	
腎不全	9	2.2%	14	6.5%	4	6.8%	27	4.0%	
がん(悪性腫瘍)	8	2.0%	9	4.1%	4	6.8%	21	3.1%	
腸閉塞(イレウス)<新規>	1	0.2%	2	0.9%	0	0.0%	3	0.4%	
肝不全 <新規>	1	0.2%	2	0.9%	0	0.0%	3	0.4%	
急性心不全 <新規>	. 0	0.0%	2	0.9%	0	0.0%	2	0.3%	
慢性心不全 <新規>	42	10.4%	20	9.2%	8	13.6%	70	10.3%	
仮性球麻痺 <新規>	17	4.2%	22	10.1%	4	6.8%	43	6.3%	
全 体	404	100.0%	217	100.0%	59	100.0%	680	100.0%	

⁽注)平成18年度集計表の、↑は平成17年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの

				成17年度記	周査 (n=766	5)		
疾患(複数回答) 	医療区	区分1	医療区分2		医療区	≅分3	合	i †
糖尿病	60	13.2%	21	7.9%	8	17.8%	89	11.6%
不整脈	17	3.7%	11	4.1%	3	6.7%	31	4.0%
うっ血性心不全	49	10.8%	39	14.7%	15	33.3%	103	13.4%
高血圧症	60	13.2%	56	21.1%	7	15.6%	123	16.1%
虚血性心疾患	46	10.1%	24	9.0%	3	6.7%	73	9.5%
大腿骨頚部骨折	46	10.1%	21	7.9%	2	4.4%	69	9.0%
脊椎圧迫骨折	17	3.7%	7	2.6%	0	0.0%	24	3.1%
その他の骨折	13	2.9%	18	6.8%	2	4.4%	33	4.3%
関節リウマチ	10	2.2%	5	1.9%	2	4.4%	17	2.2%
アルツハイマー病	25	5.5%	16	6.0%	3	6.7%	44	5.7%
失語症	19	4.2%	8	3.0%	3	6.7%	30	3.9%
脳性麻痺	2	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.3%
脳梗塞	244	53.6%	124	46.6%	20	44.4%	388	50.7%
脳出血	62	13.6%	38	14.3%	4	8.9%	104	13.6%
アルツハイマー病以外の認知症	117	25.7%	69	25.9%	8	17.8%	194	25.3%
片側不全麻痺/片麻痺	79	17.4%	29	10.9%	2	4.4%	110	14.4%
四肢麻痺	23	5.1%	12	4.5%	3	6.7%	38	5.0%
脊髄損傷	1	0.2%	4	1.5%	0	0.0%	5	0.7%
喘息	3	0.7%	8	3.0%	1	2.2%	12	1.6%
腎不全	10	2.2%	4	1.5%	3	6.7%	17	2.2%
がん(悪性腫瘍)	10	2.2%	11	4.1%	4	8.9%	25	3.3%
全 体	455	100.0%	266	100.0%	45	100.0%	766	100.0%

			म	成18年度	凋査 (n=686	0)		
感染症(複数回答)	医療区分1		医療	区分2	医療	区分3	合	計
抗生物質耐性菌感染(たとえばMRSA)	2	0.5%	2	0.9%	12	20.3%	16	2.4%
後天性免疫不全症候群(HIV感染含む)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
上気道感染	0	0.0%	3	1.4%	1	1.7%	4	0.6%
敗血症	0	0.0%	0	0.0%	1	1.7%	1	0.1%
多剤耐性結核	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
上記以外の結核	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
ウィルス性肝炎	3	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.4%
皮膚の感染症	1	0.2%	2	0.9%	2	3.4%	5	0.7%
急性胆嚢炎 〈新規〉	2	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.3%
急性腹膜炎 <新規>	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
急性膵炎 <新規>	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
全 体	404	100.0%	217	100.0%	59	100.0%	680	100.0%

⁽注)平成18年度集計表の、↑は平成17年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの

	平成17年度調査 (n=766)										
感染症(複数回答)	医療区分1		医療[区分2	医療	区分3	含	ti			
抗生物質耐性菌感染(たとえばMRSA)	11	2.4%	11	4.1%	9	20.0%	31	4.0%			
後天性免疫不全症候群(HIV感染含む)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			
上気道感染	3	0.7%	3	1.1%	1	2.2%	7	0.9%			
敗血症	0	0.0%	0	0.0%	2	4.4%	2	0.3%			
多剤耐性結核	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			
上記以外の結核	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			
ウィルス性肝炎	4	0.9%	3	1.1%	0	0.0%	7	0.9%			
皮膚の感染症	5	1.1%	5	1.9%	1	2.2%	11	1.4%			
全 体	455	100.0%	266	100.0%	45	100.0%	766	100.0%			

	平成18年度調査 (n=680)								
問題状況(複数回答)	医療区分1		医療	区分2	医療	区分3	合	計	
妄想	15	3.7%	24	11.1%	1	1.7%	40	5.9%	
発熱	8	2.0%	21	9.7%	17	28.8%	46	6.8%	
幻覚	7	1.7%	15	6.9%	2	3.4%	24	3.5%	
嘔吐	0	0.0%	3	1.4%	0	0.0%	3	0.4%	
胸水 <新規>	2	0.5%	1	0.5%	5	8.5%	8	1.2%	
腹水 <新規>	1	0.2%	1	0.5%	0	0.0%	2	0.3%	
高カルシウム血症(10.5mg/dl以上) <新規>	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
悪疫質(癌を伴う) <新規>	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
消化管の通過障害(癌を伴う) <新規>	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
全 体	404	100.0%	217	100.0%	59	100.0%	680	100.0%	

⁽注)平成18年度集計表の、↑は平成17年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの

		平成17年度調査(n=766)									
問題状況(複数回答)	医療区分1		医療区分2		医療区分3		合計				
妄想	10	2.2%	14	5.3%	0	0.0%	24	3.1%			
発熱	9	2.0%	28	10.5%	17	37.8%	54	7.0%			
幻覚	5	1.1%	9	3.4%	0	0.0%	14	1.8%			
嘔吐	0	0.0%	4	1.5%	0	0.0%	4	0.5%			
全 体	455	100.0%	266	100.0%	45	100.0%	766	100.0%			

_		平成18年度調査 (n=680)									
処置·治療(複数回答) 	医療区分1		医療区	医療区分2		≤分3	合計				
 抗がん剤療法	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%			
胃痩、腎痩、人工肛門などの痩の処置	36	8.9%	37	17.1%	12	20.3%	85	12.5%			
放射線治療	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			
吸引(1日1~7回)	32	7.9%	18	8.3%	9	15.3%	59	8.7%			
輸血	0	0.0%	1	0.5%	0	0.0%	1	0.1%			
緩和ケア	0	0.0%	2	0.9%	0	0.0%	2	0.3%			
疼痛コントロール	4	1.0%	8	3.7%	0	0.0%	12	1.8%			
膀胱留置カテーテル	17	4.2%	21	9.7%	10	16.9%	48	7.1%			
血糖チェック(週1回~1日2回)	4	1.0%	6	2.8%	5	8.5%	15	2.2%			
インシュリン皮下注射	6	1.5%	12	5.5%	1	1.7%	19	2.8%			
全 体	404	100.0%	217	100.0%	59	100.0%	680	100.0%			

(注)平成18年度集計表の、↑は平成17年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの

			4	成17年度記	周査 (n=766	6)		
│	医療区	⊠分1	医療区	⊠分2	医療	区分3	合計	
抗がん剤療法	0	0.0%	1	0.4%	0	0.0%	1	0.1%
胃痩、腎痩、人工肛門などの痩の処置	38	8.4%	39	14.7%	7	15.6%	84	11.0%
放射線治療	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
吸引(1日1~7回)	41	9.0%	30	11.3%	15	33.3%	86	11.2%
輸血	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
緩和ケア	1	0.2%	3	1.1%	2	4.4%	6	0.8%
疼痛コントロール	7	1.5%	9	3.4%	0	0.0%	16	2.1%
膀胱留置カテーテル	30	6.6%	28	10.5%	13	28.9%	71	9.3%
血糖チェック(週1回~1日2回)	17	3.7%	4	1.5%	1	2.2%	22	2.9%
インシュリン皮下注射	16	3.5%	5	1.9%	1	2.2%	22	2.9%
全 体	455	100.0%	266	100.0%	45	100.0%	766	100.0%

	平成18年度調査 (n=680)									
状態の安定性(複数回答) 	医療区分1		医療区分2		医療区分3		合	計		
個室における管理が必要	5	1.2%	5	2.3%	4	6.8%	14	2.1%		
急性症状が発生したり再発性や慢性の問題 が再燃した	3	0.7%	9	4.1%	16	27.1%	28	4.1%		
末期の疾患であり余命が6ヶ月以下である	3	0.7%	3	1.4%	2	3.4%	8	1.2%		
全 体	404	100.0%	217	100.0%	59	100.0%	680	100.0%		

(注) 平成18年度集計表の、↑は平成17年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの

	平成17年度調査 (n=766)									
状態の安定性(複数回答) 	医療区分1		医療区分2		医療区分3		合	計		
絶対安静	2	0.4%	2	0.8%	8	17.8%	12	1.6%		
個室における管理が必要	0	0.0%	0	0.0%	5	11.1%	5	0.7%		
急性症状が発生したり再発性や慢性の問題 が再燃した	8	1.8%	13	4.9%	10	22.2%	31	4.0%		
末期の疾患であり余命が6ヶ月以下である	0	0.0%	0	0.0%	2	4.4%	2	0.3%		
全 体	455	100.0%	266	100.0%	45	100.0%	766	100.0%		

栄養摂取の方法(複数回答)		平成18年度調査 (n=680)									
	医療区分1		医療	医療区分2		医療区分3		計			
中心静脈栄養	0	0.0%	0	0.0%	9	15.3%	9	1.3%			
末梢静脈栄養	3	0.7%	5	2.3%	14	23.7%	22	3.2%			
経管栄養	112	27.7%	90	41.5%	26	44.1%	228	33.5% ↑			
いずれか1つ以上該当	115	28.5%	94	43.3%	44	74.6%	253	37.2% 1			
全 体	404	100.0%	217	100.0%	59	100.0%	680	100.0%			

(注)平成18年度集計表の、↑は平成17年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの

		平成17年度調査 (n=766)									
栄養摂取の方法(複数回答) 	医療区分1		医療区分2		医療区分3		合計				
中心静脈栄養	0	0.0%	0	0.0%	13	28.9%	13	1.7%			
末梢静脈栄養	8	1.8%	7	2.6%	6	13.3%	21	2.7%			
経管栄養	115	25.3%	97	36.5%	12	26.7%	224	29.2%			
いずれか1つ以上該当	123	27.0%	104	39.1%	30	66.7%	257	33.6%			
全 体	455	100.0%	266	100.0%	45	100.0%	766	100.0%			

リハビリテーションを要す状態		平成18年度調査 (n=547)									
発症してからの日数	医療区分1		医療	区分2	医療区分3		合	計			
14日以下	0	0.0%	1	0.6%	0	0.0%	1	0.2%			
15日から30日以下	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%	1	0.2%			
31日から90日以下	0	0.0%	2	1.1%	1	2.6%	3	0.5%			
91日から180日以下	15	4.5%	11	6.3%	1	2.6%	27	4.9%			
181日以上	313	94.0%	162	92.0%	35	92.1%	510	93.2% ↑			
無回答	5	1.5%	0	0.0%	0	0.0%	5	0.9%			
全 体	333	100.0%	176	100.0%	38	100.0%	547	100.0%			

(注)平成18年度集計表の、↑は平成17年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの

リハビリテーションを要す状態		平成17年度調査(n=528)									
発症してからの日数	医療	区分1	医療「	区分2	医療	区分3	合	計			
14日以下	0	0.0%	1	0.6%	0	0.0%	1	0.2%			
15日から30日以下	0	0.0%	1	0.6%	0	0.0%	1	0.2%			
31日から90日以下	3	0.9%	. 5	2.8%	0	0.0%	8	1.5%			
91日から180日以下	8	2.4%	9	5.1%	1	4.8%	18	3.4%			
181日以上	295	89.4%	151	85.3%	20	95.2%	466	88.3%			
無回答	24	7.3%	10	5.6%	0	0.0%	34	6.4%			
全 体	330	100.0%	177	100.0%	21	100.0%	528	100.0%			

	平成18年度調査 (n=680)									
日常の意思決定を行うための認知能力	医療区分1		医療口	区分2	医療区分3		合	計		
自立	37	9.2%	10	4.6%	5	8.5%	52	7.6%		
限定的な自立	28	6.9%	22	10.1%	4	6.8%	54	7.9%		
軽度の障害	32	7.9%	12	5.5%	2	3.4%	46	6.8%	ı	
中程度の障害	86	21.3%	40	18.4%	8	13.6%	134	19.7%	ļ	
重度の障害	157	38.9%	90	41.5%	19	32.2%	266	39.1%		
意識障害者	62	15.3%	43	19.8%	21	35.6%	126	18.5%	1	
無回答	2	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.3%		
全 体	404	100.0%	217	100.0%	59	100.0%	680	100.0%		

(注)平成18年度集計表の、↑は平成17年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの

	平成17年度調査 (n=766)										
日常の意思決定を行うための認知能力	医療	医療区分1		区分2	医療区分3		合計				
自立	28	6.2%	15	5.6%	2	4.4%	45	5.9%			
限定的な自立	39	8.6%	19	7.1%	1	2.2%	5 9	7.7%			
軽度の障害	47	10.3%	28	10.5%	6	13.3%	81	10.6%			
中程度の障害	104	22.9%	69	25.9%	4	8.9%	177	23.1%			
重度の障害	196	43.1%	96	36.1%	18	40.0%	310	40.5%			
意識障害者	38	8.4%	.38	14.3%	14	31.1%	90	11.7%			
無回答	3	0.7%	1	0.4%	0	0.0%	4	0.5%			
全 体	455	100.0%	266	100.0%	45	100.0%	766	100.0%			

平成18年度「慢性期入院医療の包括評価に関する調査」 《患者特性調査(介護療養病棟) 集計結果速報》

平成18年度調査集計対象: 平成18年度調査対象病院(全31病院)の療養型介護療養施設サービス費を算定している患者 平成17年度調査集計対象: 平成17年度慢性期入院医療実態調査の対象病院(全186病院・医療介護の混合病棟保有含む)の 療養型介護療養施設サービス費を算定している患者

1 ADL区分・医療区分、認知機能障害加算の状況

ADL区分		平成18年度	調査 (n=2,3	378)	平成17年度調査 (n=7,606)				
	医療区分1	医療区分2	医療区分3	計	医療区分1	医療区分2	医療区分3	計	
ADL区分3	22.3%	17.5%	5.5%	45.3%	25.8%	22.2%	5.2%	53.1%	
ADL区分2	23.3%	12.2%	1.5%	37.0%	23.0%	10.4%	0.8%	34.3%	
ADL区分1	5.9%(認)	2.1%(認)	0.3%	17.7%	4.1%(認)	1.6%(認)	0.2%	12.6%	
ADEMAT	7.4%	1.9%	0.3% 17.7%	5.0%	1.6%	0.270	12.070		
計	58.9%	33.8%	7.3%	100.0%	57.9%	35.8%	6.2%	100.0%	

無回答 n=8

無回答 n=43

2 医療区分採用項目

		平成18年度	調査 (n=2,3	386)		P成17年度記	周査 (n=7,649)
医療区分採用項目	医療区分1	医療区分2	医療区分3	合計	医療区分1	医療区分2	医療区分3	合計
スモン	0.0%	0.0%	1.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
24時間の監視・管理	0.0%	0.0%	5.7%	0.4%	0.0%	0.0%	11.7%	0.7%
中心静脈栄養	0.0%	0.0%	15.4%	1.1%	0.0%	0.0%	16.8%	1.0%
24時間持続点滴	0.0%	0.0%	36.6%	2.8%	0.0%	0.0%	37.1%	2.3%
人工呼吸器(レスピレーター)	0.0%	0.0%	1.7%	0.1%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%
ドレーン法・胸腹腔洗浄	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	0.3%
気管切開・気管内挿管<発熱を伴う>	0.0%	0.0%	7.4%	0.5%	0.0%	0.0%	7.8%	0.5%
酸素療法	0.0%	0.0%	25.7%	1.9%	0.0%	0.0%	47.6%	3.0%
感染隔離室	0.0%	0.0%	9.1%	0.7%	0.0%	0.0%	11.3%	0.7%
多発性硬化症	0.0%	0.9%	0.0%	0.3%	0.0%	0.7%	0.2%	0.3%
パーキンソン病関連疾患	0.0%	13.6%	4.0%	4.9%	0.0%	13.9%	6.7%	5.4%
その他神経難病	0.0%	1.1%	1.1%	0.5%	0.0%	1.3%	0.4%	0.5%
神経難病以外の難病	0.0%	0.5%	0.0%	0.2%	0.0%	1.3%	0.4%	0.5%
脊髄損傷<四肢麻痺がみられる>	0.0%	1.4%	0.0%	0.5%	0.0%	0.3%	0.0%	0.1%
肺気腫/慢性閉塞性肺疾患(COPD)	0.0%	6.3%	8.6%	2.8%	0.0%	3.7%	7.8%	1.8%
悪性腫瘍<疼痛コントロールが必要>	0.0%	0.5%	1.1%	0.3%	0.0%	0.3%	0.4%	0.1%
肺炎	0.0%	7.8%	26.9%	4.6%	0.0%	10.8%	24.7%	5.4%
尿路感染症	0.0%	6.4%	9.7%	2.9%	0.0%	6.7%	8.6%	2.9%
創感染	0.0%	0.5%	1.1%	0.3%	0.0%	1.3%	1.5%	0.5%
リハビリテーション	0.0%	1.0%	1.1%	0.4%	0.0%	2.2%	1.5%	0.9%
脱水	0.0%	8.3%	22.9%	4.5%	0.0%	3.9%	7.1%	1.8%
体内出血	0.0%	1.0%	1.1%	0.4%	0.0%	0.8%	4.6%	0.6%
嘔吐	0.0%	1.0%	5.1%	0.7%	0.0%	2.4%	6.7%	1.3%
* 褥瘡	0.0%	4.5%	8.6%	2.1%	0.0%	15.8%	16.8%	6.7%
うっ血性潰瘍	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
せん妄	0.0%	4.5%	4.0%	1.8%	0.0%	3.5%	2.5%	1.4%
* うつ状態	0.0%	19.3%	7.4%	7.1%	0.0%	14.5%	3.4%	5.4%
暴行	0.0%	5.3%	2.9%	2.0%	0.0%	4.9%	1.5%	1.8%
透析	0.0%	0.6%	0.0%	0.2%	0.0%	0.4%	0.0%	0.1%
経鼻胃管・胃痩の経腸栄養<発熱または 嘔吐を伴う>	0.0%	6.2%	20.0%	3.6%	0.0%	8.9%	20.8%	4.5%
* 喀痰吸引(1日8回以上)	0.0%	11.8%	24.0%	5.7%	0.0%	19.7%	40.3%	9.6%
気管切開·気管内挿管	0.0%	4.2%	10.9%	2.2%	0.0%	5.9%	14.9%	3.0%
血糖検査(1日3回以上)	0.0%	2.7%	0.6%	1.0%	0.0%	2.0%	1.9%	0.8%
皮膚の潰瘍のケア	0.0%	9.0%	8.6%	3.7%	0.0%	9.4%	9.4%	3.9%
創傷処置	0.0%	18.1%	9.7%	6.8%	0.0%	18.1%	10.7%	7.1%
全 体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⁽注)↑は平成17年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの 左端の*印の項目は、別紙1の共通病院での比較と傾向の違いが見られたもの(矢印の向き又は有無)

			. ग	成18年度調	査(n=2,38	6)			
調査病棟に入院する前の状況	医療	区分1	医療	区分2	医療區	医療区分3		計	
1. 自宅(家族等との同居も含む)	189	13.5%	100	12.4%	17	9.7%	306	12.8%	
2. グループホーム	10	0.7%	2	0.2%	0	0.0%	12	0.5%	ı
3. 有料老人ホーム	14	1.0%	5	0.6%	3	1.7%	22	0.9%	
4. ケアハウス(軽費老人ホーム含む)	4	0.3%	5	0.6%	0	0.0%	9	0.4%	
5. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	13	0.9%	12	1.5%	3	1.7%	28	1.2%	
6. 介護老人保健施設	59	4.2%	23	2.9%	5	2.9%	87	3.6%	
* 7. 他の医療機関	542	38.6%	380	47.1%	78	44.6%	1,000	41.9%	1
(再掲)他の医療機関の一般病床	464	33.0%	321	39.8%	67	38.3%	852	35.7%	
(再掲)他の医療機関の療養病床	51	3.6%	48	5.9%	8	4.6%	107	4.5%	
(再掲)他の医療機関のその他の病床(精 神病床等)	27	1.9%	11	1.4%	3	1.7%	41	1.7%	
* 8. 自院の他の病床	570	40.6%	278	34.4%	67	38.3%	915	38.3%	1
(再掲)自院の一般病床(転棟)	235	16.7%	129	16.0%	34	19.4%	398	16.7%	
(再掲)自院のその他の病床(精神病床等) (転棟)	335	23.9%	149	18.5%	33	18.9%	517	21.7%	
* 9. わからない	1	0.1%	0	0.0%	2	1.1%	3	0.1%	1
無回答	2	0.1%	2	0.2%	0	0.0%	4	0.2%	
全 体	1,404	100.0%	807	100.0%	175	100.0%	2,386	100.0%	

(注)↑は平成17年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの 左端の*印の項目は、別紙1の共通病院での比較と傾向の違いが見られたもの(矢印の向き又は有無)

	平成17年度調査(n=7,649)										
調査病棟に入院する前の状況	医療区分1		医療	区分2	医療	区分3	合計				
1. 自宅(家族等との同居も含む)	473	10.7%	268	9.8%	51	10.7%	<i>7</i> 92	10.4%			
2. グループホーム	4	0.1%	7	0.3%	0	0.0%	11	0.1%			
3. 有料老人ホーム	13	0.3%	9	0.3%	1	0.2%	23	0.3%			
4. ケアハウス(軽費老人ホーム含む)	7	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	7	0.1%			
5. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	71	1.6%	58	2.1%	18	3.8%	147	1.9%			
6. 介護老人保健施設	177	4.0%	106	3.9%	19	4.0%	302	3.9%			
7. 他の医療機関	1,399	31.5%	837	30.6%	151	31.7%	2,387	31.2%			
8. 自院の他の病床	2,117	47.7%	1,350	49.3%	220	46.1%	3,687	48.2%			
9. わからない	175	3.9%	101	3.7%	17	3.6%	293	3.8%			
全 体	4,436	100.0%	2,736	100.0%	477	100.0%	7,649	100.0%			

		平成18年度調査(n=2,386)										
	調査病棟に入院した背景(複数回答)	医療区分1		医療	区分2	医療区分3		合計				
į	急性期状態が安定	865	61.6%	559	69.3%	120	68.6%	1,544	64.7%	1		
	疾病の急性憎悪	76	5.4%	48	5.9%	11	6.3%	135	5.7%			
	継続的高度医療管理が必要	53	3.8%	73	9.0%	22	12.6%	148	6.2%			
*	継続的なリハビリが必要	550	39.2%	307	38.0%	53	30.3%	910	38.1%	1		
*	他施設の空きがない	194	13.8%	86	10.7%	6	3.4%	286	12.0%	1		
	自宅の体制が整わない	390	27.8%	192	23.8%	31	17.7%	613	25.7%	1		
	本人、家族等が希望	1,170	83.3%	709	87.9%	151	86.3%	2,030	85.1%	1		
	全 体	1,404	100.0%	807	100.0%	175	100.0%	2,386	100.0%			

(注)↑は平成17年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの 左端の*印の項目は、別紙1の共通病院での比較と傾向の違いが見られたもの(矢印の向き又は有無)

	平成17年度調査(n=7,649)										
調査病棟に入院した背景(複数回答)	医療区分1		医療	医療区分2		区分3	合	計			
急性期状態が安定	2,638	59.5%	1,708	62.4%	294	61.6%	4,640	60.7%			
疾病の急性憎悪	242	5.5%	165	6.0%	49	10.3%	456	6.0%			
継続的高度医療管理が必要	230	5.2%	299	10.9%	111	23.3%	640	8.4%			
継続的なリハビリが必要	1,544	34.8%	903	33.0%	119	24.9%	2,566	33.5%			
他施設の空きがない	739	16.7%	386	14.1%	28	5.9%	1,153	15.1%			
自宅の体制が整わない	1,052	23.7%	57 7	21.1%	51	10.7%	1,680	22.0%			
本人、家族等が希望	2,800	63.1%	1,749	63.9%	281	58.9%	4,830	63.1%			
全 体	4,436	100.0%	2,736	100.0%	477	100.0%	7,649	100.0%			

			म	成18年度訓	哥査 (n=587	')		
退院先の見通し	医療	区分1	医療	医療区分2		⊠分3	合	
1. 自宅(家族等との同居も含む)	49	13.5%	19	10.0%	6	17.6%	74	12.6%
2. グループホーム	31	8.5%	7	3.7%	0	0.0%	38	6.5%
3. 有料老人ホーム	10	2.8%	5	2.6%	1	2.9%	16	2.7%
4. ケアハウス(軽費老人ホーム含む)	14	3.9%	1	0.5%	2	5.9%	17	2.9%
5. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	165	45.5%	71	37.4%	3	8.8%	239	40.7%
6. 介護老人保健施設	60	16.5%	42	22.1%	3	8.8%	105	17.9%
7. 他の医療機関	22	6.1%	24	12.6%	4	11.8%	50	8.5%
(再掲)他の医療機関の一般病床	0	0.0%	5	2.6%	0	0.0%	5	0.9%
(再掲)他の医療機関の療養病床	21	5.8%	17	8.9%	4	11.8%	42	7.2%
(再掲)他の医療機関のその他の病床	1	0.3%	2	1.1%	0	0.0%	3	0.5%
8. 自院の他の病床	1	0.3%	14	7.4%	5	14.7%	20	3.4%
(再掲)自院の障害者施設等入院基本料 算定病棟	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
(再掲)自院の一般病床(上記病棟を除く)	0	0.0%	8	4.2%	2	5.9%	10	1.7%
(再掲)自院のその他の病床	1	0.3%	6	3.2%	3	8.8%	10	1.7%
9. その他	4	1.1%	3	1.6%	6	17.6%	13	2.2%
無回答	7	1.9%	4	2.1%	4	11.8%	15	2.6%
全体	363	100.0%	190	100.0%	34	100.0%	587	100.0%

※退院先の見通しは、平成17年度調査結果について「わからない」とする患者が多数いるため、退院先の割合の増減についての比較は行っていない。

	平成17年度調査 (n=7,649)										
退院先の見通し	医療区分1		医療	医療区分2		区分3	合計				
1. 自宅(家族等との同居も含む)	237	5.3%	134	4.9%	10	2.1%	381	5.0%			
2. グループホーム	21	0.5%	11	0.4%	0	0.0%	32	0.4%			
3. 有料老人ホーム	9	0.2%	7	0.3%	0	0.0%	16	0.2%			
4. ケアハウス(軽費老人ホーム含む)	11	0.2%	3	0.1%	1	0.2%	15	0.2%			
5. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	690	15.6%	415	15.2%	40	8.4%	1,145	15.0%			
6. 介護老人保健施設	266	6.0%	140	5.1%	19	4.0%	425	5.6%			
7. 他の医療機関	105	2.4%	107	3.9%	15	3.1%	227	3.0%			
8. 自院の他の病床	83	1.9%	75	2.7%	17	3.6%	175	2.3%			
9. わからない	3,014	67.9%	1,844	67.4%	375	78.6%	5,233	68.4%			
全 体	4,436	100.0%	2,736	100.0%	477	100.0%	7,649	100.0%			

<平成18年度のみ>	平成18年度調査 (n=2,386)									
退院の見通し	医療区分1		医療	医療区分2		医療区分3		Ħ		
1. 90日以内に退院できる見通し	35	2.5%	14	1.7%	1	0.6%	50	2.1%		
2.90日以内に退院できる見通しはないが、、今後受け皿が整備されれば退院できる	316	22.5%	150	18.6%	12	6.9%	478	20.0%		
3. 悪化して転院・転棟・死亡する見通し	12	0.9%	26	3.2%	21	12.0%	59	2.5%		
4. 退院(転院・転棟)の見通しはない	1,037	73.9%	616	76.3%	141	80.6%	1,794	75.2%		
無回答	4	0.3%	1	0.1%	0	0.0%	5	0.2%		
全 体	1,404	100.0%	807	100.0%	175	100.0%	2,386	100.0%		

<平成18年度のみ>			3	平成18年度	調査 (n=50)		
退院先の見通し(「1.90日以内に退院できる見通し」の回答者)	医療区分1		医療	区分2	医療	区分3	合	計
1. 自宅(家族等との同居も含む)	14	40.0%	7	50.0%	1	100.0%	22	44.0%
2. グループホーム	4	11.4%	1	7.1%	0	0.0%	5	10.0%
3. 有料老人ホーム	1	2.9%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.0%
4. ケアハウス(軽費老人ホーム含む)	2	5.7%	1	7.1%	0	0.0%	3	6.0%
5. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	3	8.6%	3	21.4%	0	0.0%	6	12.0%
6. 介護老人保健施設	8	22.9%	1	7.1%	0	0.0%	9	18.0%
7. 他の医療機関の一般病床	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
8. 他の医療機関の療養病床	1	2.9%	1	7.1%	0	0.0%	2	4.0%
9. 他の医療機関のその他の病床	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
10. 自院の障害者施設等入院基本料算定 病棟	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
11. 自院の一般病床(10.の病棟を除く)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
12. 自院のその他の病床	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
13. その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	2	5.7%	0	0.0%	0	0.0%	2	4.0%
全 体	35	100.0%	14	100.0%	1	100.0%	50	100.0%

<平成18年度のみ>			ম	7成18年度記	周査 (n=478	3)		
退院先の見通し(「2. 今後受け皿が整備 されれば退院できる」の回答者)	医療	区分1	医療	区分2	医療	区分3	合	計
1. 自宅(家族等との同居も含む)	33	10.4%	12	8.0%	2	16.7%	47	9.8%
2. グループホーム	27	8.5%	6	4.0%	0	0.0%	33	6.9%
3. 有料老人ホーム	8	2.5%	4	2.7%	0	0.0%	12	2.5%
4. ケアハウス(軽費老人ホーム含む)	12	3.8%	0	0.0%	0	0.0%	12	2.5%
5. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	161	50.9%	67	44.7%	3	25.0%	231	48.3%
6. 介護老人保健施設	52	16.5%	41	27.3%	3	25.0%	96	20.1%
7. 他の医療機関の一般病床	0	0.0%	1	0.7%	0	0.0%	1	0.2%
8. 他の医療機関の療養病床	20	6.3%	15	10.0%	3	25.0%	38	7.9%
9. 他の医療機関のその他の病床	0	0.0%	1	0.7%	0	0.0%	1	0.2%
10. 自院の障害者施設等入院基本料算定 病棟	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
11. 自院の一般病床(10.の病棟を除く)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
12. 自院のその他の病床	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%
13. その他	1	0.3%	2	1.3%	0	0.0%	3	0.6%
無回答	1	0.3%	1	0.7%	1	8.3%	3	0.6%
全体	316	100.0%	150	100.0%	12	100.0%	478	100.0%

<平成18年度のみ>			3	平成18年度	調査 (n=59)		
退院先の見通し(「3. 悪化して転院・転 棟・死亡する見通し」の回答者)	医療	区分1	医療	区分2	医療	区分3	合	計
1. 自宅(家族等との同居も含む)	2	16.7%	0	0.0%	3	14.3%	5	8.5%
2. グループホーム	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
3. 有料老人ホーム	1	8.3%	1	3.8%	1	4.8%	3	5.1%
4. ケアハウス(軽費老人ホーム含む)	0	0.0%	0	0.0%	2	9.5%	2	3.4%
5. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	1	8.3%	1	3.8%	0	0.0%	2	3.4%
6. 介護老人保健施設	0	0.0%	0	0.0%	. 0	0.0%	0	0.0%
7. 他の医療機関の一般病床	0	0.0%	4	15.4%	0	0.0%	4	6.8%
8. 他の医療機関の療養病床	0	0.0%	1	3.8%	1	4.8%	2	3.4%
9. 他の医療機関のその他の病床	1	8.3%	1	3.8%	0	0.0%	2	3.4%
10. 自院の障害者施設等入院基本料算定 病棟	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
11. 自院の一般病床(10.の病棟を除く)	0	0.0%	8	30.8%	2	9.5%	10	16.9%
12. 自院のその他の病床	0	0.0%	6	23.1%	3	14.3%	9	15.3%
13. その他	. 3	25.0%	1	3.8%	6	28.6%	10	16.9%
無回答	4	33.3%	3	11.5%	3	14.3%	10	16.9%
全 体	12	100.0%	26	100.0%	21	100.0%	59	100.0%

Γ				平	成18年度調	査(n=2,386	3)			
1	疾患(複数回答)	医療区	☑分1	医療区分2		医療区分3		合計		
1	糖尿病	160	11.4%	111	13.8%	25	14.3%	296	12.4%	
;	不整脈	90	6.4%	52	6.4%	15	8.6%	157	6.6%	1
*	5っ血性心不全	91	6.5%	67	8.3%	23	13.1%	181	7.6%	ļ
	高血圧症	376	26.8%	198	24.5%	28	16.0%	602	25.2%	1
ı,	虚血性心疾患	91	6.5%	61	7.6%	20	11.4%	172	7.2%	
*	大腿骨頚部骨折	195	13.9%	82	10.2%	11	6.3%	288	12.1%	1
*	脊椎圧迫骨折	63	4.5%	57	7.1%	10	5.7%	130	5.4%	1
-	その他の骨折	73	5.2%	31	3.8%	11	6.3%	115	4.8%	İ
- 1	関節リウマチ	19	1.4%	13	1.6%	3	1.7%	35	1.5%	1
*	アルツハイマー病	214	15.2%	88	10.9%	18	10.3%	320	13.4%	1
	失語症	144	10.3%	108	13.4%	37	21.1%	289	12.1%	1
	脳性麻痺	7	0.5%	3	0.4%	0	0.0%	10	0.4%	Į
- [脳梗塞	647	46.1%	359	44.5%	73	41.7%	1,079	45.2%	i
	脳出血	230	16.4%	127	15.7%	32	18.3%	389	16.3%	
ŀ	アルツハイマー病以外の認知症	497	35.4%	273	33.8%	53	30.3%	823	34.5%	1
ì	片側不全麻痺/片麻痺	338	24.1%	181	22.4%	44	25.1%	563	23.6%	. 1
*	四肢麻痺	65	4.6%	54	6.7%	24	13.7%	143	6.0%	
	脊髓損傷	7	0.5%	15	1.9%	0	0.0%	22	0.9%	- 1
	喘息	30	2.1%	15	1.9%	8	4.6%	53	2.2%	- 1
Ì	腎不全	48	3.4%	45	5.6%	10	5.7%	103	4.3%	- 1
-	がん(悪性腫瘍)	49	3.5%	50	6.2%	18	10.3%	117	4.9%	
Ì	腸閉塞(イレウス)<新規>	11	0.8%	17	2.1%	8	4.6%	36	1.5%	
1	肝不全 <新規>	4	0.3%	8	1.0%	4	2.3%	16	0.7%	.
	急性心不全 <新規>	3	0.2%	3	0.4%	0	0.0%	6	0.3%	,
- 1	慢性心不全 <新規>	116	8.3%	70	8.7%	25	14.3%	211	8.8%	,
- 1	仮性球麻痺 <新規>	73	5.2%	68	8.4%	23	13.1%	164	6.9%	
	全 体	1,404	100.0%	807	100.0%	175	100.0%	2,386	100.0%)

⁽注)↑は平成17年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの 左端の*印の項目は、別紙1の共通病院での比較と傾向の違いが見られたもの(矢印の向き又は有無)

			平	成17年度調	査(n=7,649	9)		
疾患(複数回答)	医療区	₹分1	医療区分2		医療区	₹分3	合計 	
糖尿病	538	12.1%	316	11.5%	50	10.5%	904	11.8%
不整脈	155	3.5%	92	3.4%	29	6.1%	276	3.6%
うっ血性心不全	307	6.9%	227	8.3%	74	15.5%	608	7.9%
高血圧症	963	21.7%	502	18.3%	98	20.5%	1,563	20.4%
虚血性心疾患	312	7.0%	184	6.7%	37	7.8%	533	7.0%
大腿骨頚部骨折	399	9.0%	213	7.8%	30	6.3%	642	8.4%
脊椎圧迫骨折	116	2.6%	49	1.8%	8	1.7%	173	2.3%
その他の骨折	145	3.3%	99	3.6%	6	1.3%	250	3.3%
関節リウマチ	86	1.9%	40	1.5%	11	2.3%	137	1.8%
アルツハイマー病	261	5.9%	171	6.3%	22	4.6%	454	5.9%
失語症	234	5.3%	161	5.9%	33	6.9%	428	5.6%
脳性麻痺	15	0.3%	7	0.3%	2	0.4%	24	0.3%
脳梗塞	2,168	48.9%	1,239	45.3%	239	50.1%	3,646	47.7%
脳出血	647	14.6%	384	14.0%	72	15.1%	1,103	14.4%
アルツハイマー病以外の認知症	1,094	24.7%	628	23.0%	86	18.0%	1,808	23.6%
片側不全麻痺	645	14.5%	309	11.3%	45	9.4%	999	13.1%
四肢麻痺	172	3.9%	144	5.3%	44	9.2%	360	4.7%
脊髓損傷	13	0.3%	21	0.8%	1	0.2%	35	0.5%
喘息	88	2.0%	68	2.5%	22	4.6%	178	2.3%
腎不全	86	1.9%	58	2.1%	22	4.6%	166	2.2%
がん(悪性腫瘍)	150	3.4%	117	4.3%	33	6.9%	300	3.9%
全 体	4,436	100.0%	2,736	100.0%	477	100.0%	7,649	100.0%

感染症(複数回答)			平	成18年度調	査(n=2,38	6)		
松朱维(後女四音)	医療区分1	医療区分1	医療区分2	医療区分2	医療区分3	医療区分3	全体	全 体
抗生物質耐性菌感染(たとえばMRSA)	5	0.4%	11	1.4%	18	10.3%	34	1.4%
後天性免疫不全症候群(HIV感染含む)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
上気道感染	5	0.4%	21	2.6%	5	2.9%	31	1.3%
敗血症	0	0.0%	1	0.1%	1	0.6%	2	0.1%
多剤耐性結核	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
上記以外の結核	2	0.1%	2	0.2%	0	0.0%	4	0.2%
ウィルス性肝炎	18	1.3%	14	1.7%	2	1.1%	34	1.4%
皮膚の感染症	7	0.5%	4	0.5%	2	1.1%	13	0.5%
急性胆嚢炎 <新規>	6	0.4%	2	0.2%	1	0.6%	9	0.4%
急性腹膜炎 <新規>	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
急性膵炎 <新規>	0	0.0%	1	0,1%	0	0.0%	1	0.0%
全 体	1,404	100.0%	807	100.0%	175	100.0%	2,386	100.0%

(注)↑は平成17年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの 左端の*印の項目は、別紙1の共通病院での比較と傾向の違いが見られたもの(矢印の向き又は有無)

感染症(複数回答)			4 7	成17年度調	査(n=7,64	9)		
您未是(後數自告)	医療区分1	医療区分1	医療区分2	医療区分2	医療区分3	医療区分3	全 体	全体
抗生物質耐性菌感染(たとえばMRSA)	41	0.9%	90	3.3%	73	15.3%	204	2.7%
後天性免疫不全症候群(HIV感染含む)	0	0.0%	2	0.1%	1	0.2%	3	0.0%
上気道感染	26	0.6%	59	2.2%	19	4.0%	104	1.4%
敗血症	0	0.0%	6	0.2%	3	0.6%	9	0.1%
多剤耐性結核	0	0.0%	7	0.3%	0	0.0%	7	0.1%
上記以外の結核	9	0.2%	8	0.3%	0	0.0%	17	0.2%
ウィルス性肝炎	28	0.6%	33	1.2%	3	0.6%	64	0.8%
皮膚の感染症	34	0.8%	45	1.6%	15	3.1%	94	1.2%
全 体	4,436	100.0%	2,736	100.0%	477	100.0%	7,649	100.0%

		平成18年度調査(n=2,386)									
問題状況(複数回答)	医療区分1		医療	医療区分2		区分3	合	t t			
妄想	58	4.1%	55	6.8%	7	4.0%	120	5.0%			
発熱	16	1.1%	75	9.3%	66	37.7%	157	6.6%			
幻覚	38	2.7%	34	4.2%	7	4.0%	79	3.3%			
嘔吐	0	0.0%	8	1.0%	9	5.1%	17	0.7%			
胸水 <新規>	5	0.4%	10	1.2%	13	7.4%	28	1.2%			
腹水 <新規>	4	0.3%	3	0.4%	2	1.1%	9	0.4%			
高カルシウム血症(10.5mg/dl以上) <新規>	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%			
悪疫質(癌を伴う) <新規>	1	0.1%	3	0.4%	2	1.1%	6	0.3%			
消化管の通過障害(癌を伴う) <新規>	0	0.0%	1	0.1%	4	2.3%	5	0.2%			
全 体	1,404	100.0%	807	100.0%	175	100.0%	2,386	100.0%			

(注)↑は平成17年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの 左端の*印の項目は、別紙1の共通病院での比較と傾向の違いが見られたもの(矢印の向き又は有無)

		平成17年度調査 (n=7,649)									
問題状況(複数回答)	医療	医療区分1		医療区分2		医療区分3		計			
 妄想	79	1.8%	113	4.1%	6	1.3%	198	2.6%			
発熱	83	1.9%	342	12.5%	188	39.4%	613	8.0%			
幻覚	53	1.2%	69	2.5%	4	0.8%	126	1.6%			
嘔吐	0	0.0%	65	2.4%	32	6.7%	97	1.3%			
全 体	4,436	100.0%	2,736	100.0%	477	100.0%	7,649	100.0%			

	平成18年度調査 (n=2,386)									
Д	医療区分1		医療	医療区分2		≅分3	合計			
抗がん剤療法	2	0.1%	2	0.2%	0	0.0%	4	0.2%		
胃痩、腎痩、人工肛門などの痩の処置	123	8.8%	156	19.3%	44	25.1%	323	13.5%		
放射線治療	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.0%		
「吸引(1日1~7回)	53	3.8%	51	6.3%	22	12.6%	126	5.3%		
輸血	1	0.1%	1	0.1%	0	0.0%	2	0.1%		
緩和ケア	0	0.0%	4	0.5%	1	0.6%	5	0.2%		
疼痛コントロール	23	1.6%	34	4.2%	3	1.7%	60	2.5%		
膀胱留置カテーテル	48	3.4%	81	10.0%	35	20.0%	164	6.9%		
血糖チェック(週1回~1日2回)	26	1.9%	23	2.9%	7	4.0%	56	2.3%		
インシュリン皮下注射	23	1.6%	37	4.6%	4	2.3%	64	2.7%		
全 体	1,404	100.0%	807	100.0%	175	100.0%	2,386	100.0%		

(注)↑は平成17年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの 左端の*印の項目は、別紙1の共通病院での比較と傾向の違いが見られたもの(矢印の向き又は有無)

	平成17年度調査 (n=7,649)									
処置·治療(複数回答)	医療区分1		医療	⊠分2	医療[区分3	合	Ħ		
抗がん剤療法	2	0.0%	. 3	0.1%	0	0.0%	5	0.1%		
胃痩、腎痩、人工肛門などの痩の処置	526	11.7%	603	22.4%	125	26.2%	1,254	16.4%		
放射線治療	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		
吸引(1日1~7回)	421	9.4%	379	14.1%	126	26.4%	926	12.1%		
輸血	2	0.0%	3	0.1%	3	0.6%	8	0.1%		
緩和ケア	39	0.9%	53	2.0%	18	3.8%	110	1.4%		
疼痛コントロール	72	1.6%	71	2.6%	9	1.9%	152	2.0%		
膀胱留置カテーテル	185	4.1%	304	11.3%	139	29.1%	628	8.2%		
血糖チェック(週1回~1日2回)	187	4.2%	119	4.4%	22	4.6%	328	4.3%		
インシュリン皮下注射	116	2.6%	98	3.6%	15	3.1%	229	3.0%		
全 体	4,479	100.0%	2,693	100.0%	4 77	100.0%	7,649	100.0%		

井能の生や針 (複数同答)	平成18年度調査 (n=2,386)										
状態の安定性(複数回答)	医療区分1		医療区分2		医療区分3		숨	計			
個室における管理が必要	1 7	1.2%	31	3.8%	15	8.6%	63	2.6%			
急性症状が発生したり再発性や慢性の問題 が再燃した	18	1.3%	43	5.3%	46	26.3%	107	4.5%			
末期の疾患であり余命が6ヶ月以下である	7	0.5%	12	1.5%	12	6.9%	31	1.3%			
全 体	1,404	100.0%	807	100.0%	175	100.0%	2,386	100.0%			

(注)↑は平成17年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの 左端の*印の項目は、別紙1の共通病院での比較と傾向の違いが見られたもの(矢印の向き又は有無)

	平成17年度調査 (n=7,649)									
状態の安定性(複数回答) 「	医療区分1		医療区分2		医療[区分3	合計			
絶対安静	8	0.2%	40	1.5%	70	14.7%	118	1.5%		
個室における管理が必要	14	0.3%	31 '	1.1%	39	8.2%	84	1.1%		
急性症状が発生したり再発性や慢性の問題 が再燃した	69	1.6%	118	4.3%	121	25.4%	308	4.0%		
末期の疾患であり余命が6ヶ月以下である	2	0.0%	7	0.3%	11	2.3%	20	0.3%		
全 体	4,436	100.0%	2,736	100.0%	477	100.0%	7,649	100.0%		

		平成18年度調査 (n=2,386)									
ı	栄養摂取の方法(複数回答)	医療	区分1	医療!	医療区分2		区分3	合	計		
	中心静脈栄養	0	0.0%	0	0.0%	27	15.4%	27	1.1%		
1	末梢静脈栄養	9	0.6%	33	4.1%	65	37.1%	107	4.5%		
*	経管栄養	283	20.2%	284	35.2%	66	37.7%	633	26.5% ↓		
*	いずれか1つ以上該当	289	20.6%	308	38.2%	138	78.9%	735	30.8%		
	全体	1,404	100.0%	807	100.0%	175	100.0%	2,386	100.0%		

⁽注)↑は平成17年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの

左端の*印の項目は、別紙1の共通病院での比較と傾向の違いが見られたもの(矢印の向き又は有無)

		平成17年度調査 (n=7,649)									
栄養摂取の方法(複数回答) 	医療	医療区分1		医療区分2		区分3	合計				
中心静脈栄養	0	0.0%	0	0.0%	80	16.8%	80	1.0%			
末梢静脈栄養	25	0.6%	70	2.6%	100	21.0%	195	2.5%			
経管栄養	1,103	24.9%	1,158	42.3%	216	45.3%	2,477	32.4%			
いずれか1つ以上該当	1,126	25.4%	1,218	44.5%	362	75.9%	2,706	32.4%			
全 体	4,436	100.0%	2,736	100.0%	477	100.0%	7,649	100.0%			

リハビリテーションを要す状態		平成18年度調査(n=1,877)									
発症してからの日数	医療	医療区分1		医療区分2		区分3	合計				
14日以下	0	0.0%	3	0.5%	0	0.0%	3	0.2%	٦		
15日から30日以下	0	0.0%	5	0.8%	2	1.7%	7	0.4%			
31日から90日以下	10	0.9%	4	0.6%	5	4.2%	19	1.0%			
91日から180日以下	43	3.9%	30	4.6%	8	6.7%	81	4.3%			
181日以上	1,042	94.3%	609	93.3%	104	87.4%	1,755	93.5%	1		
* 無回答	10	0.9%	2	0.3%	0	0.0%	12	0.6%			
全 体	1,105	100.0%	653	100.0%	119	100.0%	1,877	100.0%			

⁽注)↑は平成17年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの

左端の*印の項目は、別紙1の共通病院での比較と傾向の違いが見られたもの(矢印の向き又は有無)

リハビリテーションを要す状態		平成17年度調査 (n=4,992)									
発症してからの日数	医療	医療区分1		医療区分2		区分3	合計				
14日以下	0	0.0%	32	1.8%	2	0.8%	34	0.7%			
15日から30日以下	0	0.0%	27	1.6%	5	2.1%	32	0.6%			
31日から90日以下	74	2.5%	47	2.7%	7	2.9%	128	2.6%			
91日から180日以下	134	4.4%	90	5.2%	12	5.0%	236	4.7%			
181日以上	2,703	89.5%	1,483	85.6%	209	87.1%	4,395	88.0%			
無回答	108	3.6%	54	3.1%	5	2.1%	167	3.3%			
全 体	3,019	100.0%	1,733	100.0%	240	100.0%	4,992	100.0%			

		平成18年度調査 (n=2,386)									
日常の意思決定を行うための認知能力	医療	医療区分1		区分2	医療[区分3	合計				
自立	132	9.4%	54	6.7%	12	6.9%	198	8.3%			
限定的な自立	145	10.3%	78	9.7%	13	7.4%	236	9.9%			
* 軽度の障害	149	10.6%	78	9.7%	12	6.9%	239	10.0%			
* 中程度の障害	338	24.1%	156	19.3%	- 23	13.1%	517	21.7%			
重度の障害	506	36.0%	337	41.8%	71	40.6%	914	38.3%			
* 意識障害者	128	9.1%	101	12.5%	44	25.1%	273	11.4%	ļ		
無回答	6	0.4%	3	0.4%	0	0.0%	9	0.4%			
全 体	1,404	100.0%	807	100.0%	175	100.0%	2,386	100.0%			

⁽注)↑は平成17年度と比較して3%以上増加がみられたもの、↓は3%以上減少がみられたもの

左端の*印の項目は、別紙1の共通病院での比較と傾向の違いが見られたもの(矢印の向き又は有無)

	平成17年度調査 (n=7,649)									
日常の意思決定を行うための認知能力	医療区分1		医療	医療区分2		区分3	合	#		
自立	344	7.7%	133	4.9%	20	4.2%	497	6.5%		
限定的な自立	442	9.9%	165	6.1%	15	3.1%	622	8.1%		
軽度の障害	459	10.2%	225	8.4%	23	4.8%	707	9.2%		
中程度の障害	1,066	23.8%	549	20.4%	54	11.3%	1,669	21.8%		
重度の障害	1,610	35.9%	1,076	40.0%	162	34.0%	2,848	37.2%		
意識障害者	535	11.9%	528	19.6%	199	41.7%	1,262	16.5%		
無回答	23	0.5%	17	0.6%	4	0.8%	44	0.6%		
全 体	4,479	100.0%	2,693	100.0%	477	100.0%	7,649	100.0%		

平成18年度「慢性期入院医療の包括評価に関する調査」 《介護療養病床のみを有する病院の調査 集計結果速報》

介護療養病床(介護保険適用病床)のみを有する病院(16病院)を対象に、入院患者像について患者特性調査を行った。 集計対象:療養型介護療養施設サービス費を算定している患者

1 ADL区分・医療区分、認知機能障害加算の状況

ADL区分	医療区分1	医療区分2	医療区分3	計	医療区分1	医療区分2	医療区分3	計
ADL区分3	25.1%	28.5%	6.8%	60.4%	589	668	159	1,416
ADL区分2	19.3%	11.3%	1.0%	31.6%	453	265	23	741
	2.7%(認)	1.1%(認)	0.2%	8.0%	64(認)	25(認)	4	187
ADL区分1	2.8%	1.2%	0.276	0.070	65	29	7	107
計	50.0%	42.1%	7.9%	100.0%	1,171	987	186	2,344

無回答 n=14

2 医療区分採用項目

医療区分採用項目	医療区	分1	医療区	区分2	医療区	☑分3	全	体
スモン	0	0.0%	0 [0.0%	1	0.5%	1 '	0.0%
24時間の監視・管理	0	0.0%	٥	0.0%	17	8.9%	17	0.7%
中心静脈栄養	0	0.0%	ő	0.0%	14	7.3%	14	0.6%
24時間持続点滴	0	0.0%	ő	0.0%	97	50.8%	102	4.3%
人工呼吸器(レスピレーター)	0	0.0%	0	0.0%	2	1.0%	2	0.1%
ドレーン法・胸腹腔洗浄	0	0.0%	اه	0.0%	3	1.6%	3	0.1%
気管切開・気管内挿管<発熱を伴う>	o l	0.0%	o l	0.0%	12	6.3%	12	0.5%
酸素療法	0	0.0%	اه	0.0%	59	30.9%	59	2.5%
感染隔離室	o l	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
多発性硬化症	0	0.0%	3	0.3%	1	0.5%	4	0.2%
パーキンソン病関連疾患	0	0.0%	132	13.3%	15	7.9%	147	6.2%
その他神経難病	0	0.0%	13	1.3%	2	1.0%	15	0.6%
神経難病以外の難病	0	0.0%	6	0.6%	0	0.0%	6	0.3%
脊髄損傷 < 四肢麻痺がみられる >	0	0.0%	3	0.3%	2	1.0%	5	0.2%
肺気腫/慢性閉塞性肺疾患(COPD)	0	0.0%	26	2.6%	9	4.7%	35	1.5%
悪性腫瘍<疼痛コントロールが必要>	0	0.0%	. 2	0.2%	0	0.0%	2	0.1%
肺炎	0	0.0%	109	11.0%	46	24.1%	155	6.6%
尿路感染症	0	0.0%	95	9.6%	14	7.3%	109	4.6%
創感染	0	0.0%	9	0.9%	4	2.1%	13	0.6%
リハビリテーション	0	0.0%	14	1.4%	2	1.0%	16	0.7%
脱水	0	0.0%	52	5.2%	25	13.1%	77	3.3%
体内出血	0	0.0%	9	0.9%	7	3.7%	16	0.7%
嘔吐	0	0.0%	23	2.3%	12	6.3%	35	1.5%
褥瘡	0	0.0%	73	7.4%	15	7.9%	88	3.7%
うっ血性潰瘍	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
せん妄	0	0.0%	24	2,4%	2	1.0%	26	1.1%
うつ状態	0	0.0%	142	14.3%	8	4.2%	150	6.4%
暴行	0	0.0%	69	7.0%	4	2.1%	73	3.1%
透析	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
経鼻胃管・胃痩の経腸栄養<発熱または嘔 吐を伴う>	0	0.0%	122	12.3%	40	20.9%	162	6.9%
喀痰吸引(1日8回以上)	0	0.0%	234	23.6%	58	30.4%	292	12.4%
気管切開・気管内挿管	0	0.0%	54	5.4%	19	9.9%	73	3.1%
血糖検査(1日3回以上)	0	0.0%	12	1.2%	3	1.6%	15	0.6%
皮膚の潰瘍のケア	0	0.0%	93	9.4%	17	8.9%	110	4.7%
創傷処置	0	0.0%	214	21.6%	16	8.4%	230	9.8%
全 体	1,176	100.0%	991	100.0%	191	100.0%	2,358	100.0%

3 入退院の状況

調査病棟に入院する前の状況	医療	区分1	医療	区分2	医療	区分3	全	体
1. 自宅(家族等との同居も含む)	128	10.9%	91	9.2%	20	10.5%	239	10.1%
2. グループホーム	14	1.2%	12	1.2%	0	0.0%	26	1.1%
3. 有料老人ホーム	2	0.2%	0	0.0%	1	0.5%	3	0.1%
4. ケアハウス(軽費老人ホーム含む)	2	0.2%	3	0.3%	0	0.0%	5	0.2%
5. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	20	1.7%	15	1.5%	5	2.6%	40	1.7%
6. 介護老人保健施設	93	7.9%	84	8.5%	11	5.8%	188	8.0%
7. 他の医療機関の一般病床	694	59.0%	617	62.3%	125	65.4%	1,436	60.9%
8. 他の医療機関の医療保険適用療養病床	114	9.7%	94	9.5%	18	9.4%	226	9.6%
9. 他の医療機関の介護保険適用療養病床	54	4.6%	31	3.1%	6	3.1%	91	3.9%
10. 他の医療機関のその他の病床(精神病床等)	33	2.8%	25	2.5%	3	1.6%	61	2.6%
11. わからない	13	1.1%	9	0.9%	0	0.0%	22	0.9%
無回答	9	0.8%	10	1.0%	2	1.0%	-21	0.9%
全 体	1,176	100.0%	991	100.0%	191	100.0%	2,358	100.0%

調査病棟に入院した背景(複数回答)	医療区分1		医療区分2		医療区分3		全 体	
急性期状態が安定	669	56.9%	610	61.6%	127	66.5%	1,406	59.6%
疾病の急性憎悪	131	11.1%	76	7.7%	14	7.3%	221	9.4%
継続的高度医療管理が必要	83	7.1%	149	15.0%	25	13.1%	257	10.9%
継続的なリハビリが必要	402	34.2%	331	33.4%	56	29.3%	789	33.5%
他施設の空きがない	51	4.3%	32	3.2%	4	2.1%	87	3.7%
自宅の体制が整わない	184	15.6%	110	11.1%	17	8.9%	311	13.2%
本人、家族等が希望	810	68.9%	737	74.4%	119	62.3%	1,666	70.7%
全体	1,176	100.0%	991	100.0%	191	100.0%	2,358	100.0%

退院先の見通し	医療	区分1	医療	区分2	医療	区分3	全	体
1. 自宅(家族等との同居も含む)	41	11.3%	24	8.2%	1	1.9%	66	9.3%
2. グループホーム	21	5.8%	4	1.4%	1	1.9%	26	3.7%
3. 有料老人ホーム	1	0.3%	1	0.3%	2	3.8%	4	0.6%
4. ケアハウス(軽費老人ホーム含む)	2	0.6%	4	1.4%	0	0.0%	6	0.8%
5. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	153	42.3%	97	33.3%	3	5.7%	253	35.8%
6. 介護老人保健施設	51	14.1%	30	10.3%	3	5.7%	84	11.9%
7. 他の医療機関の一般病床	5	1.4%	12	4.1%	10	18.9%	27	3.8%
8. 他の医療機関の療養病床	79	21.8%	101	34.7%	14	26.4%	194	27.5%
9. 他の医療機関のその他の病床	0	0.0%	6	2.1%	1	1.9%	7	1.0%
10. その他	2	0.6%	3	1.0%	9	17.0%	14	2.0%
無回答	7	1.9%	9	3.1%	9	17.0%	25	3.5%
全 体	362	100.0%	291	100.0%	53	100.0%	706	100.0%

退院の見通し	医療区分1		医療区分2		医療区分3		全 体	
1. 90日以内に退院できる見通し	18	1.5%	13	1.3%	1	0.5%	32	1.4%
2.90日以内に退院できる見通しはないが、今後受け皿が整備されれば退院できる	331	28.1%	235	23.7%	24	12.6%	590	25.0%
3. 悪化して転院・死亡する見通し	13	1.1%	43	4.3%	28	14.7%	84	3.6%
4. 退院(転院)の見通しはない	797	67.8%	694	70.0%	138	72.3%	1,629	69.1%
無回答	17	1.4%	6	0.6%	0	0.0%	23	1.0%
全 体	1,176	100.0%	991	100.0%	191	100.0%	2,358	100.0%

退院先の見通し(「1.90日以内に退院できる見通し」の回答者)	医療区分1		医療区分2		医療	区分3	全 体	
1. 自宅(家族等との同居も含む)	11	61.1%	5	38.5%	0	0.0%	16	50.0%
2. グループホーム	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
3. 有料老人ホーム	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	1	3.1%
4. ケアハウス(軽費老人ホーム含む)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	3	16.7%	2	15.4%	0	0.0%	5	15.6%
6. 介護老人保健施設	1	5.6%	2	15.4%	0	0.0%	3	9.4%
7. 他の医療機関の一般病床	2	11.1%	1	7.7%	0	0.0%	3	9.4%
8. 他の医療機関の療養病床	1	5.6%	2	15.4%	0	0.0%	3	9.4%
9. 他の医療機関のその他の病床	0	0.0%	1	7.7%	0	0.0%	1	3.1%
10. その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
全体	18	100.0%	13	100.0%	1	100.0%	32	100.0%

退院先の見通し(「2.今後受け皿が整備されれば退院できる」の回答者)	医療区分1		医療区分2		医療	区分3	全	体
1. 自宅(家族等との同居も含む)	30	9.1%	17	7.2%	0	0.0%	47	8.0%
2. グループホーム	21	6.3%	4	1.7%	1	4.2%	26	4.4%
3. 有料老人ホーム	1	0.3%	0	0.0%	1	4.2%	2	0.3%
4. ケアハウス(軽費老人ホーム含む)	2	0.6%	4	1.7%	0	0.0%	6	1.0%
5. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	150	45.3%	95	40.4%	3	12.5%	248	42.0%
6. 介護老人保健施設	50	15.1%	28	11.9%	3	12.5%	81	13.7%
7. 他の医療機関の一般病床	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%
8. 他の医療機関の療養病床	68	20.5%	81	34.5%	14	58.3%	163	27.6%
9. 他の医療機関のその他の病床	0	0.0%	1	0.4%	0	0.0%	1	0.2%
10. その他	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%
無回答	7	2.1%	5	2.1%	2	8.3%	14	2.4%
全_体	331	100.0%	235	100.0%	24	100.0%	590	100.0%

退院先の見通し(「3.悪化して転院・死亡する見通し」の回答者)	医療[区分1	医療区分2		医療	区分3	全体		
1. 自宅(家族等との同居も含む)	0	0.0%	2	4.7%	1	3.6%	3	3.6%	
2. グループホーム	0 '	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
3. 有料老人ホーム	0	0.0%	1	2.3%	0	0.0%	1	1.2%	
4. ケアハウス(軽費老人ホーム含む)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
5. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
6. 介護老人保健施設	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
7. 他の医療機関の一般病床	2	15.4%	. 11	25.6%	10	35.7%	23	27.4%	
8. 他の医療機関の療養病床	10	76.9%	18	41.9%	0	0.0%	28	33.3%	
9. 他の医療機関のその他の病床	0	0.0%	4	9.3%	1	3.6%	5	6.0%	
10. その他	1	7.7%	3	7.0%	9	32.1%	13	15.5%	
無回答	0	0.0%	4	9.3%	7	25.0%	11	13.1%	
全 体	13	100.0%	43	100.0%	28	100.0%	84	100.0%	

4 その他の患者状態像 (医療区分採用項目以外)

疾患(複数回答)	医療	区分1	医療	⊠分2	医療区	⊠分3	· 全	体
糖尿病	162	13.8%	125	12.6%	25	13.1%	312	13.2%
不整脈	50	4.3%	54	5.4%	9	4.7%	113	4.8%
うっ血性心不全	38	3.2%	46	4.6%	5	2.6%	89	3.8%
高血圧症	238	20.2%	166	16.8%	25	13.1%	429	18.2%
虛血性心疾患	38	3.2%	49	4.9%	9	4.7%	96	4.1%
大腿骨頚部骨折	91	7.7%	73	7.4%	15	7.9%	179	7.6%
脊椎圧迫骨折	35	3.0%	50	5.0%	5	2.6%	90	3.8%
その他の骨折	31	2.6%	26	2.6%	5	2.6%	62	2.6%
関節リウマチ	20	1.7%	11	1.1%	2	1.0%	33	1.4%
アルツハイマー病	97	8.2%	101	10.2%	23	12.0%	221	9.4%
失語症	112	9.5%	93	9.4%	22	11.5%	227	9.6%
脳性麻痺	4	0.3%	2	0.2%	0	0.0%	6	0.3%
脳梗塞	498	42.3%	448	45.2%	87	45.5%	1,033	43.8%
脳出血	203	17.3%	143	14.4%	31	16.2%	377	16.0%
アルツハイマー病以外の認知症	432	36.7%	300	30.3%	44	23.0%	776	32.9%
片側不全麻痺/片麻痺	223	19.0%	176	17.8%	21	11.0%	420	17.8%
四肢麻痺	81	6.9%	100	10.1%	24	12.6%	205	8.7%
脊髄損傷	1	0.1%	9	0.9%	2	1.0%	12	0.5%
喘息	24	2.0%	17	1.7%	6	3.1%	47	2.0%
がん(悪性腫瘍)	34	2.9%	36	3.6%	10	5.2%	80	3.4%
腸閉塞(イレウス)	7	0.6%	3	0.3%	6	3.1%	16	0.7%
腎不全	27	2.3%	28	2.8%	9	4.7%	64	2.7%
肝不全	7	0.6%	3	0.3%	2	1.0%	12	0.5%
急性心不全	1	0.1%	2	0.2%	1	0.5%	4	0.2%
慢性心不全	107	9.1%	95	9.6%	24	12.6%	226	9.6%
仮性球麻痺	48	4.1%	76	7.7%	17	8.9%	141	6.0%
全 体	1,176	100.0%	991	100.0%	191	100.0%	2,358	100.0%

感染症(複数回答)	医療	区分1	医療	区分2	医療	区分3	全	体
抗生物質耐性菌感染(たとえばMRSA)	10	0.9%	15	1.5%	6	3.1%	31	1.3%
後天性免疫不全症候群(HIV感染含む)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
上気道感染	19	1.6%	56	5.7%	12	6.3%	87	3.7%
敗血症	1	0.1%	5	0.5%	1	0.5%	7	0.3%
多剤耐性結核	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
上記以外の結核	1	0.1%	1	0.1%	0	0.0%	2	0.1%
ウィルス性肝炎	9	0.8%	10	1.0%	2	1.0%	21	0.9%
皮膚の感染症	17	1.4%	19	1.9%	3	1.6%	39	1.7%
急性胆囊炎	1	0.1%	2	0.2%	3	1.6%	6	0.3%
急性腹膜炎	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
急性膵炎	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
全体	1,176	100.0%	991	100.0%	191	100.0%	2,358	100.0%

問題状況(複数回答)	医療	区分1	医療	区分2	医療	区分3	全	体
妄想	33	2.8%	57	5.8%	3	1.6%	93	3.9%
発熱	23	2.0%	151	15.2%	58	30.4%	232	9.8%
幻覚	22	1.9%	28	2.8%	0	0.0%	50	2.1%
嘔吐	0	0.0%	23	2.3%	12	6.3%	35	1.5%
胸水	6	0.5%	7	0.7%	4	2.1%	17	0.7%
腹水	1	0.1%	2	0.2%	1	0.5%	4	0.2%
高カルシウム血症(10.	0	0.0%	1	0.1%	5mg O	0.0%	1	0.0%
悪疫質(癌を伴う)	2	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.1%
消化管の通過障害(癌を伴う)	0	0.0%	2	0.2%	2	1.0%	4	0.2%
全 体	1,176	100.0%	991	100.0%	191	100.0%	2,358	100.0%

処置·治療(複数回答)	医療	区分1	医療	区分2	医療[区分3	全	体
抗がん剤療法	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
胃痩、腎痩、人工肛門などの痩の処置	162	13.8%	228	23.0%	49	25.7%	439	18.6%
放射線治療	0	0.0%	1	0.1%	1	0.5%	2	0.1%
吸引(1日1~7回)	92	7.8%	95	9.6%	22	11.5%	209	8.9%
輸血	. 0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%	1	0.0%
緩和ケア	9	0.8%	3	0.3%	2	1.0%	14	0.6%
疼痛コントロール	14	1.2%	16	1.6%	1	0.5%	31	1.3%
膀胱留置カテーテル	41	3.5%	89	9.0%	37	19.4%	167	7.1%
血糖チェック(週1回~1日2回)	40	3.4%	38	3.8%	10	5.2%	88	3.7%
インシュリン皮下注射	45	3.8%	36	3.6%	7	3.7%	88	3.7%
全 体	1,176	100.0%	991	100.0%	191	100.0%	2,358	100.0%

状態の安定性(複数回答)	医療	区分1	医療	区分2	医療	区分3	全	体
個室における管理が必要	5	0.4%	12	1.2%	11	5.8%	28	1.2%
急性症状が発生したり再発性や慢性の問題が 再燃した	23	2.0%	44	4.4%	39	20.4%	106	4.5%
末期の疾患であり余命が6ヶ月以下である	2	0.2%	· 2	0.2%	12	6.3%	16	0.7%
全体	1.176	100.0%	991	100.0%	191	100.0%	2.358	100.0%

栄養摂取の方法(複数回答)	医療	区分1	医療	区分2	医療	区分3	全	体
中心静脈栄養	0	0.0%	0	0.0%	14	7.3%	14	0.6%
末梢静脈栄養	8	0.7%	23	2.3%	74	38.7%	105	4.5%
経管栄養	318	27.0%	475	47.9%	96	50.3%	889	37.7%
いずれか1つ以上該当	325	27.6%	488	49.2%	157	82.2%	970	41.1%
全 体	1,176	100.0%	991	100.0%	191	100.0%	2,358	100.0%

リハビリテーションを要す状態 発症してからの日数	医療	区分1	医療	区分2	医療	区分3	全	体
14日以下	0	0.0%	9	1,4%	2	2.0%	11	0.7%
15日から30日以下	0	0.0%	5	0.8%	0	0.0%	5	0.3%
31日から90日以下	14	1.8%	16	2.4%	3	3.0%	33	2.2%
91日から180日以下	21	2.8%	18	2.7%	5	5.0%	44	2.9%
181日以上	722	94.9%	614	92.2%	88	87.1%	1,424	93.2%
無回答	4	0.5%	4	0.6%	3	3.0%	11	0.7%
全体	761	100.0%	666	100.0%	101	100.0%	1,528	100.0%

日常の意思決定を行うための認知能力	医療	区分1	医療	区分2	医療	区分3	全	体
自立	60	5.1%	48	4.8%	5	2.6%	113	4.8%
限定的な自立	111	9.4%	49	4.9%	3	1.6%	163	6.9%
軽度の障害	119	10.1%	65	6.6%	10	5.2%	194	8.2%
中程度の障害	260	22.1%	191	19.3%	18	9.4%	469	19.9%
重度の障害	489	41.6%	449	45.3%	102	53.4%	1,040	44.1%
意識障害者	111	9.4%	175	17.7%	50	26.2%	336	14.2%
無回答	26	2.2%	14	1.4%	3	1.6%	43	1.8%
全 体	1,176	100.0%	991	100.0%	191	100.0%	2,358	100.0%

平成18年度「慢性期入院医療の包括評価に関する調査」 《タイムスタディ調査 集計結果速報》

1 患者1人1日当り総ケア時間

■医療療養病棟における患者1人1日当り総ケア時間(平均)

	平成18年度調査	平成16年度調査
患者数	1,550人	1,666人
総ケア時間	209分	177分
(再掲)間接ケア時間	28分	26分
(再掲)個別ケア時間	181分	150分

[※]平成16年度調査と平成18年度調査に共通する33病院について、集計比較を行ったもの。 平成16年度調査は、療養病棟入院基本料及び特殊疾患療養病棟入院基本料を算定している病棟を対

平成16年度調査は、療養病棟人院基本料及び特殊疾患療養病棟人院基本料を鼻近している病棟を対象とした。

個別ケア時間は、調査対象病棟の各患者のケアに要した時間とした。

■個別ケア時間の職種別内訳

	平成18年度調査	平成16年度調査
個別ケア時間	181分	150分
(再掲)医師	5分	3分
(再掲)看護師	36分	31分
(再掲)准看護師	42分	33分
(再掲)看護補助者	75分	65分
(再掲)リハスタッフ	13分	11分
(再掲)その他職種	10分	6分

[※]間接ケア時間は、「食事・休憩等」と「病棟外の活動」の時間を除く、「会議・研修等」、「定期的書類作成」、「管理・運営」、「病棟維持・管理」の時間とした。

■患者1人1日当り職種別人件費重み付けケア時間

	平成18年度調査	平成16年度調査
個別ケア時間	151分	121分
(再掲)医師	15分	10分
(再掲)看護師	36分	31分
(再掲)准看護師	37分	27分
(再掲)看護補助者	44分	38分
(再掲)リハスタッフ	10分	9分
(再掲)その他職種	8分	5分

[※]職種別人件費重み付けケア時間は、患者1人1日当りの個別ケア時間に職種別の人件費の相対比を乗じて算定した。平成18年度と平成16年度の職種別人件費の相対比は、下表のとおりとした。

職種別人件費の相対比

	H18		H16		
職種	人件費 (円/時間)	相対比	人件費 (円/時間)	相対比	
医師	7,631 円	3.35	7,352 円	2.95	
看護師	2,276 円	1.00	2,488 円	1.00	
准看護師	1,997 円	0.88	2,023 円	0.81	
看護補助者	1,349 円	0.59	1,454 円	0.58	
リハスタッフ(PT,OT,ST)	1,802 円	0.79	2,046 円	0.82	
その他職種(MSW,薬剤師,栄養士,その他)	1,808 円	0.79	2,139 円	0.86	

2 患者分類(11区分)別のケア時間の状況

■患者分類(11区分)別の患者1人1日当り職種別人件費重み付けケア時間(リハスタッフ分を除く)

平成18年度		<u>単位∶分</u>		
	医療区分1	医療区分2	医療区分3	全体
ADL区分3	130	148	197	161
ADL区分2	112	130	169	127
ADJ EZ A1	84(認)	106(認)	134	101
ADL区分1			134	101

117

127

109

平成16年度	調査			<u>単位:分</u>
	医療区分1	医療区分2	医療区分3	全体
ADL区分3	111	124	164	130
ADL区分2	102	115	155	109
ADL区分1	88(認)	98(認)	116	. 85
ADEED	77	89	110	00
全体	97	114	158	112

[※]リハスタッフ分を除いた患者1人1日当り職種別人件費重み付けケア時間である。

190

■患者分類(11 区分)別の患者1人1日当り職種別人件費重み付けケア時間の相対比

141

平成18年度調宜								
医療区分1	医療区分2	医療区分3	全体					
0.920	1.050	1.396	1.140					
0.793	0.925	1.195	0.904					
0.592	0.752	0.053	0.713					
0.594	0.833	0.933	0.713					
0.772	0.904	1.344	1.000					
	医療区分1 0.920 0.793 0.592 0.594 0.772	医療区分1 医療区分2 0.920 1.050 0.793 0.925 0.592 0.752 0.594 0.833	医療区分1 医療区分2 医療区分3 0.920 1.050 1.396 0.793 0.925 1.195 0.592 0.752 0.953 0.594 0.833 0.772 0.904 1.344					

平成16年度調査

	医療区分1	医療区分2	医療区分3	全体
ADL区分3	0.993	1.108	1.462	1.163
ADL区分2	0.912	1.028	1.383	0.978
ADL区分1	0.785	0.872	1.037	0.761
ADLETT	0,690	0.800	1.037	0.701
全体	0.866	1.022	1.408	1.000

■患者分類(11区分)別の患者数分布

平原	艾18	3年,	度記	日査	

平成18年度調査 単位∶%									
医療区分1	医療区分2	医療区分3	全体						
8.8	28.7	17.6	55.1						
10.9	13.1	3.2	27.2						
2.3	2.5	1 1	17.7						
6.3	5.6	j.l	17.7						
28.3	49.9	21.9	100.0						
	医療区分1 8.8 10.9 2.3 6.3	医療区分1 医療区分2 8.8 28.7 10.9 13.1 2.3 2.5 6.3 5.6	医療区分1 医療区分2 医療区分3 8.8 28.7 17.6 10.9 13.1 3.2 2.3 2.5 1.1 6.3 5.6						

平成1	6年	度調	杳
		ᇩᅃ	а.

<u> 平成16年度</u>	<u>調査</u>			单位:%
	医療区分1	医療区分2	医療区分3	全体
ADL区分3	13.9	17.5	11.1	42.5
ADL区分2	18.5	11.1	1.7	31.3
ADL区分1	3.7	1.9	1.5	26.2
ADLEST	13.2	5.8	1.5	20.2
全体	49.4	36.3	14.3	100.0

[※]最大値と最小値に網掛け

3 医師による直接医療提供頻度及び看護師による直接看護提供頻度別ケア時間

■H18 年度 医師による直接医療提供頻度

	医療区分1		医療区分2		医療区分3		全体	
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
I 31 医師医療提供頻度 指示ほとんどなし	40.4	111	22.8	129	6.8	160	24.3	122
I32 医師医療提供頻度 週1回程度	45.9	108	46.4	138	35.7	162	43.9	133
I33 医師医療提供頻度 週2~3回程度	7.8	121	23.0	144	30.7	204	20.4	162
I34 医師医療提供頻度 毎日	1.1	118	4.5	180	17.7	209	6.5	194
I35 医師医療提供頻度 1日数回	0.0		0.3	75 ↓	1.8	224	0.5	187
I 36 医師医療提供頻度 24時間体制	0.0		0.0		5.3	261	1.2	261
全体	100.0	109	100.0	138	100.0	190	100.0	141

⁽注)医療区分1の↑印は医療区分2全体のケア時間より長い場合のもの、↑↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの。 医療区分2の↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの、↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。 医療区分3の↓印は医療区分2全体のケア時間より短い場合のもの、↓↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。

■H16年度 医師による直接医療提供頻度

	医療区分1		医療区分2		医療区分3		全体	
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
I 31 医師医療提供頻度 指示ほとんどなし	53.8	89	32.9	105	8.8	122	39.8	95
I 32 医師医療提供頻度 週1回程度	35.8	104	47.1	113	29.8	143	39.1	112
I33 医師医療提供頻度 週2~3回程度	8.4	116	15.5	129	33.2	163	14.5	136
I34 医師医療提供頻度 毎日	0.9	. 89	2.8	149	16.4	171	3.8	156
I35 医師医療提供頻度 1日数回	0.0		0.5	233	4.2	207	0.8	213
I 36 医師医療提供頻度 24時間体制	0.2	189	0.7	119	7.6	174	1.4	166
全体	100.0	97	100.0	114	100.0	158	100.0	112

■H18 年度 看護師による直接看護提供頻度

	医療区分1		医療区分2		医療区分3		全体	
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
I 41 看護提供頻度 定時の観察のみ	51.1	105	23.7	122	7.4	154	27.9	115
I42 看護提供頻度 定時以外1日1回~数回	41.1	112	48.1	142	36.9	180	43.7	141
I43 看護提供頻度 頻回の観察	5.5	120	19.3	153	36.0	192	19.0	166
I 44 看護提供頻度 24時間観察	1.8	106	.8.9	124	19.5	212	9.2	164
全体	100.0	109	100.0	138	100.0	190	100.0	141

⁽注) 医療区分1の↑印は医療区分2全体のケア時間より長い場合のもの、↑↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの。 医療区分2の↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの、↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。 医療区分3の↓印は医療区分2全体のケア時間より短い場合のもの、↓↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。

■H16年度 看護師による直接看護提供頻度

	医療区分1		医療区分2		医療区分3		全体	
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケ ア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
I 41 看護提供頻度 定時の観察のみ	62.9	90	36.0	98	10.1	121	45.6	93
I 42 看護提供頻度 定時以外1日1回~数回	31.0	107	50.2	119	39.5	152	39.2	119
I43 看護提供頻度 頻回の観察	4.7	121	10.1	146	31.9	167	10.6	150
I 44 看護提供頻度 24時間観察	0.6	117	3.1	121	18.5	172	4.1	154
全体	100.0	97	100.0	114	100.0	158	100.0	112

4 記憶に関する状態別のケア時間

■H18 年度

	医组	医療区分1		医療区分2		医療区分3		:体
	割合%	· ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
Ⅱ1 意識障害者である	8.0	115	22.6	145	32.7	195	20.7	159
II 4a-f せん妄の兆候がみられる	0.0		8.0	153	47.1	253	6.5	198
全体	100.0	109	100.0	138	100.0	190	100,0	141

⁽注1) 医療区分1の↑印は医療区分2全体のケア時間より長い場合のもの、↑↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの。 医療区分2の↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの、↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。 医療区分3の↓印は医療区分2全体のケア時間より短い場合のもの、↓↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。

■H16年度

	医组	医療区分1		医療区分2		₹区分3	全体	
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
Ⅱ1 意識障害者である	8.7	116	20.2	124	43.7	169	17.9	138
Ⅱ 4a-f せん妄の兆候がみられる	0.0		2.3	136	3.8	139	1.4	137
全体	100.0	97	100.0	114	100.0	158	100.0	112

⁽注)「せん妄の兆候」は、以下の6項目のうち「この7日間は通常の状態と異なる」に該当する項目が1つ以上ある場合とした。 a.注意がそらされやすい/b.周囲の環境に関する認識が変化する/c.支離滅裂な会話が時々ある/ d.落ち着きがない/e.無気力/f.認知能力が1日の中で変動する

⁽注2)「せん妄の兆候」は、以下の6項目のうち「この7日間は通常の状態と異なる」に該当する項目が1つ以上ある場合とした。 a.注意がそらされやすい/ b.周囲の環境に関する認識が変化する/ c.支離滅裂な会話が時々ある/ d.落ち着きがない/e.無気力/f.認知能力が1日の中で変動する

5 気分と行動に関する状態別ケア時間

■H18年度

	医療区分1		医療区分2		医療区分3		全体	
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
IV1a-g うつ状態(回答点数合計が4点以上)	0.0		15.5	124	1.5	206	8.1	127
IV2a 問題行動 徘徊が毎日	1.1	105	2.8	129	0.3	153	1.8	125
IV 2b 問題行動 暴言が毎日	1.1	127	4.7	120	1.2	201	2.9	128
IV2c 問題行動 暴行が毎日	0.0		4.3	122	0.9	174	2.3	127
IV 2d 問題行動 不適当行為が毎日	2.3	152 ↑	6.0	129	1.5	227	3.9	141
IV2e 問題行動 ケア抵抗が毎日	2.7	136	6.9	127	4.4	222	5.2	146
全体	100.0	109	100.0	138	100.0	190	100.0	141

- (注1)医療区分1の↑印は医療区分2全体のケア時間より長い場合のもの、↑↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの。 医療区分2の↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの、↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。 医療区分3の↓印は医療区分2全体のケア時間より短い場合のもの、↓↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。
- (注2)「うつ状態」は、以下の7項目の回答点数(1点:3日間のうち1・2日観察された/2点:3日間のうち毎日観察された)の合計が4点以上の場合とした。
 - 〜上ン∞ 日こした。 a.否定的な言葉を言った/ b.自分や他者に対する継続した怒り/ c.現実には起こりそうもないことに対する恐れを表現した/ d.健康上の不満を繰返した/ e.たびたび不安、心配事を訴えた/ f.悲しみ、苦悩、心配した表情/ g.何回も泣いたり涙もろい

■H16年度

	医療区分1		医療区分2		医療区分3		全体	
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
IV1a-g うつ状態(回答点数合計が4点以上)	0.0		12.2	113	5.0	144	5.2	117
IV2a 問題行動 徘徊が毎日	2.4	103	1.8	125	0.0		1.9	110
IV 2b 問題行動 暴営が毎日	1.3	103	3.5	129	2.1	134	2.2	122
IV2c 問題行動 暴行が毎日	0.0		2.6	132	1.3	186	1.1	141
IV2d 問題行動 不適当行為が毎日	3.0	104	4.0	116	1.7	145	3.2	112
IV 2e 問題行動 ケア抵抗が毎日	1.8	126	4.6	125	2.9	163	3.0	130
全体	100.0	97	100.0	114	100.0	158	100.0	112

⁽注)「うつ状態」は、以下の7項目の回答点数(1点:3日間のうち1·2日観察された/2点:3日間のうち毎日観察された)の合計が4点以上の場合とした。

[∞] ロこし.。 a.否定的な言葉を言った/ b.自分や他者に対する継続した怒り/ c.現実には起こりそうもないことに対する恐れを表現した/ d.健康上の不満を繰返した/ e.たびたび不安、心配事を訴えた/ f.悲しみ、苦悩、心配した表情/ g.何回も泣いたり涙もろい

6 疾患の状態別ケア時間

■H18年度

	医療	区分1	医痨	区分2	医卵	区分3	全	:体
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア 時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
VI1a 疾患 糖尿病	15.5	108	17.7	151	13.0	211	16.1	150
VI 1b 疾患 不整脈	6.2	108	3.6	160	4.7	180	4.6	145
VI1c 疾患 うっ血性心不全	3.7	100	3.4	172	5.6	218	3.9	167
VI1d 疾患 急性心不全	0.5	139 ↑	0.3	100 I	0.3	385	0.3	173
VI1e 疾患 慢性心不全	11.0	118	9.4	139	16.5	188	11.4	149
VI1f疾患 高血圧症	25.1	105	19.7	141	12.4	184	19.6	134
VI1g 疾患 虚血性心疾患	5.7	111	3.9	141	2.9	224	4.2	142
Ⅵ1h 疾患 大腿骨頚部骨折	8.2	111	6.9	136	3.5	221	6.5	137
Ⅵ1i疾患 脊椎圧迫骨折	1.6	103	2.7	112	2.4	197	2.3	129
VI1j 疾患 その他の骨折	3.9	132	1.3	133	1.2	193	2.0	140
VI1k 疾患 関節リウマチ	1.4	120	2.8	118	1.5	249	2.1	138
Ⅵ11 疾患 アルツハイマー病	2.7	131	3.6	157	4.1	219	3.5	167
VI1m 疾患 失語症	8.4	106	7.2	138	8.3	189	7.8	140
VI in 疾患 脳性麻痺	0.0		0.9	159	0.6	143	0.6	155
VI 1o 疾患 脳梗塞	43.2	111	33.8	143	38.6	195	37.5	144
VI1p 疾患 脳出血	20.5	115	16.6	140	18.3	185	18.1	142
Ⅵ1q 疾患 アルツハイマー病以外の認知症	18.3	120	21.2	135	8.3	215	17.5	139
VI1r疾患 片側不全麻痺/片麻痺	21.2	109	9.4	146	8.3	175	12.5	132
VI1s 疾患 多発性硬化症	0.0		0.5	93 ↓	0.3	162	0.3	106
Ⅵ1t 疾患 パーキンソン病関連疾患	0.0		14.1	132	10.6	199	9.4	149
VI 1u 疾患 四肢麻痺	5.5	117	9.1	143	10.9	195	8.5	153
Ⅵ1∨疾患 仮性球麻痺	18.0	120	16.9	139	21.8	203	18.3	150
VI 1w 疾患 スモン	0.0		0.0		0.6	232	0.1	232
VI1x 疾患 その他の神経難病	0.0		3.6	135	2.4	202	2.3	150
VI 1y 疾患 神経難病以外の難病	0.0		5.2	122	2.1	183	3.0	131
VI1z 疾患 脊髄損傷	4.3	127	3.9	148	0.9	311	3.4	150
VI1zu 疾患 脊髄損傷(四肢麻痺が伴う)	0.0	•	1.7	150	0.3	305	0.9	161
VI 1aa 疾患 喘息	1.8	105	3.1	156	4.1	158	3.0	148
VI 1ab 疾患 肺気腫/慢性閉塞性肺疾患(COF			2.5	119	8.6	167	3.1	148
VI1ac 疾患 がん(悪性腫瘍)	5.0	114	4.9	140	6.8	195	5.4	148
VI lacx 疾患 がん(疼痛コントロールが必要)	0.0		1.3	148	0.6	223	0.8	160
VI1ad 疾患 腸閉塞	0.7	142 1	0.8	130	2.7	178	1.2	156
VI 1ae 疾患 腎不全	3.4	107	4.5	182	5.0	210	4.3	172
VI 1af 疾患 肝不全	0.5	108	0.1	93 1	0.0	•	0.2	103
VI2a 感染症 抗生物質耐性菌感染(たとえばM		138 1	2.7	173	10.9	183	4.2	175
VI2b 感染症 後天性免疫不全症候群(HIV感染		<u> </u>	0.0		0.3	163	0.1	163
VI2c 感染症 肺炎	0.0		10.6	147	26.5	206	11.1	178
VI2d 感染症 上気道感染	1.1	141 1	3.5	145	4.4	212	3.0	166
VI2e 感染症 敗血症	0.2	160 ↑	0.0	<u> </u>	0.9	204	0.3	193
VI2f 感染症 多剤耐性結核	0.0		0.0		0.0	ļ	0.0	
VI2g 感染症 上記以外の結核	0.2	87	0.4	152	0.0		0.3	136
VI2h 感染症 尿路感染症(過去30日間)	0.0	, , ,	10.1	159	9.1	243	7.0	183
VI2i 感染症 ウィルス性肝炎	1.4	131	0.8	171	0.0		0.8	151
VI2j 感染症 急性胆囊炎	0.5	138	0.3	204 1	1.8	181	0.6	177
VI2k 感染症 急性腹膜炎	0.0		0.0	<u> </u>	0.0		0.0	
Ⅵ2Ⅰ 感染症 急性膵炎	0.0		0.1	106 ↓	0.3	128	0.1	117
VI2m 憋染症 創態染	0.0		1.7	133	1.5	187	1.2	148
VI2n 感染症 皮膚の感染症	0.2	148 1	1.8	161	2.7	249	1.5	193
全体	100.0	109	100.0	138	100.0	190	100.0	141

(注) 医療区分1の↑印は医療区分2全体のケア時間より長い場合のもの、↑↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの。 医療区分2の↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの、↓↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。 医療区分3の↓印は医療区分2全体のケア時間より短い場合のもの、↓↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。

■H16年度

	医療	区分1	医療	区分2	医療	区分3	全	体
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間(分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
VI1a疾患 糖尿病	16.2	100	16.4	115	12.2	156	15.7	112
VI1b 疾患 不整脈	3.9	100	3.8	103	5.0	149	4.0	110
VI1c 疾患 うっ血性心不全	7.5	103	7.1	105	16.4	171	8.6	122
VI1d 疾患 高血圧症	20.3	99	16.0	109	15.5	166	18.1	111
VI1e 疾患 虚血性心疾患	5.2	95	6.1	121	7.1	156	5.8	116
VI1f疾患 大腿骨頚部骨折	8.3	102	7.6	108	5.9	173	7.7	112
VI1g 疾患 脊椎圧迫骨折	2.6	94	2.5	109	0.4	208	2.2	103
VI1h 疾患 その他の骨折	4.1	88	3.3	105	3.4	138	3.7	100
Ⅵ1i 疾患 アルツハイマー病	5.7	104	6.3	119	2.5	192	5.5	116
VI1j疾患 失語症	4.1	98	3.8	102	5.9	176	4.3	115
VI1k 疾患 脳性麻痺	0.9	82	0.3	71	0.4	90	0.6	80
VI1Ⅰ疾患 脳梗塞	39.0	101	36.0	116	33.6	168	37.2	115
VI1m 疾患 脳出血	15.3	97	13.2	115	21.4	175	15.4	118
VI1n 疾患 アルツハイマー病以外の痴呆症	19.6	104	17.5	120	11.3	184	17.6	117
VI1o 疾患 片側不全麻痺/片麻痺	14.1	100	11.9	125	6.7	159	12.2	113
VI1p 疾患 多発性硬化症	0.0		1.0	131	0.4	145	0.4	133
VI1q 疾患 パーキンソン病関連疾患	0.0		18.2	101	7.1	160	7.6	109
VI1r疾患 四肢麻痺	3.9	104	8.1	127	10.9	179	6.4	133
VI1s 疾患 その他の神経難病	0.0		5.5	127	2.9	149	2.4	131
VI1t疾患 神経難病以外の難病	0.0		1.5	123	0.0		0.5	123
VI1u 疾患 脊髄損傷	1.3	79	3.6	118	1.3	171	2.2	111
VI1u 疾患 四肢麻痺を伴う脊髄損傷	0.0		1.5	153	0.0		0.5	153
Ⅵ1∨疾患 喘息	2.7	103	3.3	111	5.0	127	3.2	111
VI1w疾患 肺気腫/慢性閉塞性肺疾患(COPD)	0.0		1.8	114	9.7	163	2.0	147
VI1x 疾患 がん(悪性腫瘍)	5.3	103	6.6	117	7.6	146	6.1	116
VI1×疾患 疼痛コントロールが必要な悪性新生物	0.0		1.0	137	0.8	164	0.5	143
VI2a 感染症 抗生物質耐性菌感染(たとえばMR	0.5	110	2.3	122	7.6	158	2.2	139
VI2b 感染症 後天性免疫不全症候群(HIV感染的	0.0		0.3	86	0.0		0.1	86
VI2c 感染症 肺炎	0.0		11.1	117	23.1	175	7.3	143
VI2d 感染症 上気道感染	1.2	94	4.3	117	5.0	156	2.9	122
VI2e 感染症 敗血症	0.1	130	0.0		1.3	186	0.2	172
VI2f 感染症 多剤耐性結核	0.1	72	0.2	188	0.0		0.1	130
VI2g 感染症 上記以外の結核	0.1	100	0.7	88	1.3	102	0.5	95
VI2h 感染症 尿路感染症(過去30日間)	0.0		7.8	110	7.1	157	3.8	122
VI2i 感染症 ウィルス性肝炎	1.0	93	0.5	113	2.1	232	1.0	140
VI2j 感染症 創感染	0.0		0.8	119	2.1	167	0.6	143
VI2k 感染症 皮膚の感染症	0.6	96	1.5	122	2.5	201	1.2	139
全体	100.0	97	100.0	114	100.0	158	100.0	112

7 症状と状態別ケア時間

■H18年度

	医療	医分1	医療	医区分2	医療	区分3	全	体
	割合%	ケ ア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
Ⅷ1a 問題状況 脱水	0.0		5.6	151	9.1	228	4.8	183
VII1b 問題状況 妄想	2.3	116	7.5	125	1.8	257	4.8	135
VII1c 問題状況 発熱	3.9	156 1	15.9	161	45.4	201	19.0	182
VII1d 問題状況 幻覚	1.8	101	4.8	114	1.8	227	3.3	125
VII1e 問題状況 体内出血	0.0	•	1.0	193 †	2.7	250	1.1	223
Ⅷ1f 問題状況 嘔吐	0.0		2.7	133	2.4	165	1.9	142
WII1g 問題状況 胸水	0.2	132	0.8	163	4.7	232	1.5	210
VII1h 問題状況 腹水	0.0	•	0.1	97 ↓	0.9	219	0.3	188
VIIIi 問題状況 高カルシウム血しょう	0.0		0.4	115	0.0		0.2	115
VII 1j 問題状況 悪疫質	0.0	•	0.5	131	1.8	226	0.6	188
Ⅷ1k 問題状況 消化管の通過障害	0.0	,	0.1	97 ↓	0.9	253	0.3	214
VII2a 痛み 頻度(痛みあるが毎日ではない以上	21.0	106	19.3	140	10.3	191	17.8	135
Ⅷ2a 痛み 頻度(毎日)	8.0	102	9.7	147	5.9	212	8.4	145
Ⅷ2b 痛み 程度(中程度の痛み以上)	8.7	113	8.5	147	5.6	203	7.9	145
VII2b 痛み 程度(激しい痛み)	0.5	113	0.8	139	1.2	230	0.8	165
VII3a 状態の安定性 個室管理	0.5	115	1.3	109	8.8	207	2.7	179
VII3b 状態の安定性 急性症状発生	4.6	77	11.4	142	24.5	218	12.3	168
Ⅷ3c 状態の安定性 余命6ヶ月以下	0.7	136	0.4	236 1	3.5	261	1.2	236
全体	100.0	109	100.0	138	100.0	190	100.0	141

⁽注) 医療区分1の↑印は医療区分2全体のケア時間より長い場合のもの、↑↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの。 医療区分2の↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの、↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。 医療区分3の↓印は医療区分2全体のケア時間より短い場合のもの、↓↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。

■H16年度

	医療	区分1	医療	区分2	医療!	区分3	全	体
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間(分)
WI1a 問題状況 脱水	0.0		2.5	145	4.6	144	1.6	145
WIIb 問題状況 妄想	1.7	123	3.8	115	2.1	131	2.5	120
WI1c 問題状況 発熱	3.6	104	13.7	136	46.2	158	13.4	143
VII1d 問題状況 幻覚	1.6	102	3.0	125	1.7	139	2.1	118
WI1e 問題状況 体内出血	0.0		1.7	118	5.9	163	1.4	144
WIIIf 問題状況 嘔吐	0.0		1.7	158	3.4	147	1.1	153
VII2a 痛み 頻度(痛みあるが毎日ではない以上)	20.2	94	23.5	114	14.3	168	20.5	110
WII2a 痛み 頻度(毎日)	9.0	95	11.7	111	8.4	167	9.9	111
VII2b 痛み 程度(中程度の痛み以上)	6.6	98	10.7	109	10.5	179	8.6	117
VII2b 痛み 程度(激しい痛み)	0.4	112	0.8	129	1.7	177	0.7	141
VII3a 状態の安定性 絶対安静	0.1	116	0.5	94	12.6	190	2.0	179
VII3b 状態の安定性 個室管理	0.4	130	1.2	97	6.7	206	1.6	168
VII3c 状態の安定性 急性症状発生	2.6	98	6.6	126	30.3	175	8.0	148
VII3d 状態の安定性 余命6ヶ月以下	0.5	129	1.2	154	8.0	171	1.8	162
全体	100.0	97	100.0	114	100.0	158	100.0	112

8 栄養状態別ケア時間

■H18年度

	医卵	₹区分1	医療	区分2	医療区分3		全体	
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
WII2a 中心静脈栄養	0.0	٠	0.0		33.9	206	7.4	206
™2b 末梢静脈栄養	1.8	130	4.5	171	18.9	203	6.9	187
WI2c 経管栄養(経鼻、胃瘻等)	20.5	119	44.9	146	44.5	192	37.9	154
WII2c 発熱のある経管栄養(経鼻、胃瘻等)	0.0		9.8	163	25.7	202	10.5	184
WII2c 嘔吐のある経管栄養(経鼻、胃瘻等)	0.0		1.9	145	1.8	178	1.4	155
Ⅷ2 摂取カロリーの割合 1%以上	20.8	120	49.2	146	80.2	195	47.9	161
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	20.1	119	47.5	147	77.6	194	46.3	161
▼ 2 摂取カリーの割合 51%以上	19.9	119	46.8	147	74.6	193	45.3	160
WII2 摂取加リーの割合 76%以上	18.9	118	45.8	146	72.6	192	44.1	160
WII2 摂取水分量 1cc以上	21.2	120	49.5	147	82.3	194	48.7	161
₩ 2 接取水分量 501cc以上	20.5	121	47.2	148	77.6	195	46.3	162
VIII2 摂取水分量 1001cc以上	17.8	120	40.9	148	69.0	196	40.5	162
WⅢ2 摂取水分量 1501cc以上	8.0	106	20.2	139	42.8	193	21.7	159
WII 摂取水分量 2001cc以上	0.2	150 ↑	0.5	185	4.7	202	1.4	196
全体	100.0	109	100.0	138	100.0	190	100.0	141

⁽注)医療区分1の↑印は医療区分2全体のケア時間より長い場合のもの、↑↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの。 医療区分2の↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの、↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。 医療区分3の↓印は医療区分2全体のケア時間より短い場合のもの、↓↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。

■H16年度

	医療	逐分1	医病	区分2	医病	区分3	全体	
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
Ⅷ2a 中心静脈栄養	0.0		0.0		29.4	157	4.2	157
Ⅷ2b 末梢静脈栄養	1.2	117	4.8	162	23.5	182	5.7	169
2c 経管栄養(経鼻、胃瘻等)	17.1	109	36.0	121	37.0	169	26.8	127
	0.0	•	6.9	125	18.1	149	5.1	137
- 100 100 100 100 100 100 100 100 100 10	0.0		0.2	174	1.7	172	0.3	173
1%以上 1%以上	19.0	109	39.5	124	75.6	164	34.5	133
1厘2 摂取カロリーの割合 26%以上	18.3	108	38.3	123	73.1	166	33.4	132
Ⅷ2 摂取カロリーの割合 51%以上	17.9	108	36.7	123	69.3	166	32.1	132
〒2 摂取カロリーの割合 76%以上	17.7	107	36.0	123	66.0	165	31.3	131
™2 摂取水分量 1cc以上	19.6	110	40.5	126	76.5	166	35.3	134
哑2 摂取水分量 501cc以上	18.3	110	37.9	124	71.8	166	33.1	133
哑2 摂取水分量 1001cc以上	15.7	107	34.2	123	59.7	166	28.7	131
哑2 摂取水分量 1501cc以上	5.5	115	13.6	118	26.9	152	11.5	129
娅2 摄取水分量 2001cc以上	0.2	100	0.8	102	1.3	135	0.6	112
全体	100.0	97	100.0	114	100.0	158	100.0	112

9 皮膚の状態別ケア時間

■H18年度

	医療	区分1	医療	区分2	医療	区分3	全	:体
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間(分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
IX1 褥瘡·潰瘍 2箇所以上	0.0		4.4	172	5.9	237	3.5	196
IX2a 褥瘡 2度以上	0.0		9.2	154	19.2	233	8.8	191
IX2b うっ血性潰瘍 2度以上	0.0		1.7	180	1.5	241	1.2	197
IX3a 皮膚他問題 すり傷、内出血	1.1	130	5.3	168	3.5	236	3.7	178
IX3b 皮膚他問題 II 度以上の火傷	0.2	118	0.5	171	0.3	168	0.4	161
IX3c 皮膚他問題 潰瘍、発疹、切り傷以外の開	0.2	111	3.1	153	2.7	233	2.2	173
IX3d 皮膚他問題 発疹	9.4	106	13.2	137	15.6	183	12.6	143
IX3e 皮膚他問題 痛みや圧迫に対して皮膚が	6.2	108	12.0	155	16.8	209	11.4	165
IX3f 皮膚他問題 裂傷または切り傷(手術創以	0.2	170 ↑	1.4	146	1.5	241	1.1	175
IX3g 皮膚他問題 手術創	0.0		2.3	122	1.2	139	1.4	125
区4a 皮膚のケア 圧迫を取り除く用具を使用	47.5	122	66.8	146	85.8	194	65.5	155
区4b 皮膚のケア 体位変換	52.5	121	71.7	144	89.7	192	70.2	153
区4c 皮膚のケア 皮膚の治療を目的とした栄養	3.2	136	11.4	163	10.9	203	9.0	171
IX4d 皮膚のケア 潰瘍のケア	0.0		8.2	153	13.9	229	7.1	185
IX4e 皮膚のケア 手術創のケア	0.0		3.4	148	1.8	150	2.1	148
IX4f 皮膚のケア 足以外の創傷処置(外用薬例	0.0		5.3	171	7.1	259	4.2	203
区4g 皮膚のケア 軟膏や薬剤の使用(足以外)	18.0	101	27.2	145	28.9	205	25.0	151
IX4h 皮膚のケア 広範な皮膚の処置	7.5	100	8.9	141	11.5	202	9.1	149
IX4i 皮膚のケア その他の予防的・保護的皮膚	10.3	134	19.4	155	27.1	222	18.5	173
IX5a 足の問題とケア うおのめ、たこ等	0.9	64	1.7	152	1.2	191	1.4	143
IX5b 足の問題とケア 感染症(蜂巣炎、膿等)	0.0		1.4	142	2.7	185	1.3	162
区5c 足の問題とケア 開放創	0.0		0.6	178	0.3	363	0.4	209
IX5d 足の問題とケア 過去90日間に爪やたこれ	7.5	108	7.5	159	8.3	212	7.7	157
区5e 足の問題とケア 保護的なケア	2.1	144 1	2.1	161	2.9	216	2.3	172
IX5f 足の問題とケア 足の創傷処置	0.0		6.9	155	5.0	220	4.5	171
全体	100.0	109	100.0	138	100.0	190	100.0	141

⁽注)医療区分1の↑印は医療区分2全体のケア時間より長い場合のもの、↑↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの。 医療区分2の↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの、↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。 医療区分3の↓印は医療区分2全体のケア時間より短い場合のもの、↓↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。

	医療	区分1	医療	区分2	医療	区分3 全		体
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
IX1 褥瘡・潰瘍 2箇所以上	0.0		8.1	129	8.8	143	4.2	133
IX2a 褥瘡 2度以上	0.0		14.5	125	16.0	164	7.6	136
IX2b うっ血性潰瘍 2度以上	0.0		1.0	123	1.3	157	0.5	134
区3a 皮膚他問題 すり傷、内出血	1.1	100	4.0	113	5.0	164	2.7	124
IX3b 皮膚他問題 II 度以上の火傷	0.0		0.2	87	0.0		0.1	87
IX3c 皮膚他問題 潰瘍、発疹、切り傷以外の開放	0.4	65	3.0	125	2.9	141	1.7	123
IX3d 皮膚他問題 発疹	11.2	96	13.9	118	15.5	167	12.8	117
IX3e 皮膚他問題 痛みや圧迫に対して皮膚が鈍	4.7	112	11.6	118	10.9	187	8.1	129
IX3f 皮膚他問題 裂傷または切り傷(手術創以外	0.4	167	2.0	100	1.3	138	1.1	118
IX3g 皮膚他問題 手術創	0.1	101	0.2	102	0.8	141	0.2	121
IX4a 皮膚のケア 圧迫を取り除く用具を使用	39.2	107	58.2	121	80.3	162	52.0	125
IX4b 皮膚のケア 体位変換	54.2	107	70.7	120	84.9	162	64.6	123
IX4c 皮膚のケア 皮膚の治療を目的とした栄養や	1.9	108	10.6	115	14.7	177	6.9	133
IX4d 皮膚のケア 潰瘍のケア	0.0		11.2	119	10.5	168	5.6	132
IX4e 皮膚のケア 手術創のケア	0.0		1.0	126	0.8	123	0.5	125
IX4f 皮膚のケア 足以外の創傷処置(外用薬使用	0.0		7.1	118	6.7	159	3.5	129
IX4g 皮膚のケア 軟膏や薬剤の使用(足以外)	18.2	95	30.7	110	28.6	165	24.2	113
IX4h 皮膚のケア その他の予防的・保護的皮膚の	19.9	98	30.2	115	32.8	159	25.5	116
区3 皮膚のケアの伴う開放創又は手術創	0.5	74	3.1	124	3.8	141	1.9	123
IX5a 足の問題とケア うおのめ、たこ等	3.8	88	5.6	104	2.9	121	4.3	99
IX5b 足の問題とケア 感染症(蜂巣炎、膿等)	0.0		1.2	139	1.3	183	0.6	152
区5c 足の問題とケア 開放創	0.0		0.5	130	0.8	111	0.3	122
IX5d 足の問題とケア 過去90日間に爪やたこが	8.6	90	7.9	110	4.2	120	7.7	100
IX5e 足の問題とケア 保護的なケア	1.6	86	6.1	106	6.3	158	3.9	114
IX5f 足の問題とケア 足の創傷処置	0.0		8.6	116	6.3	196	4.0	134
全体	100.0	97	100.0	114	100.0	158	100.0	112

10 注射・点滴別ケア時間

■H18年度

	医療区分1		医療	区分2	医療	区分3	全	体
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
X1 注射·点滴日数 1日以上	8.2	124	16.2	151	63.4	203	24.3	178
X1 注射·点滴日数 2日以上	4.8	135	12.3	158	60.2	204	20.6	186
X1 注射·点滴日数 3日以上	4.1	143 1	10.2	162	55.5	204	18.4	189
X1 注射·点滴日数 4日以上	2.5	149 ↑	7.0	172	53.1	206	15.8	196
X1 注射·点滴日数 5日以上	2.3	153 ↑	6.3	171	51.3	206	15.0	197
X1 注射·点滴日数 6日以上	2.3	153 †	5.6	177	49.3	207	14.2	199
X1 注射·点滴日数 7日以上	2.3	153 ↑	4.7	181	47.8	208	13.4	201
X2a 注射·点滴 補液	6.4	130	10.3	157	38.1	212	15.3	184
X 2b 注射·点滴 抗生物質注射	2.5	141 ↑	7.4	169	33.9	224	11.8	202
X2c 注射·点滴 強心剤注射	0.0		0.0		2.4	234	0.5	234
X2d 注射・点滴 昇圧剤、降圧剤の持続点滴	0.0		0.0		1.8	220	0.4	220
X2e 注射·点滴 24時間持続点滴	0.0		0.0		46.3	200	10.1	200
全体	100.0	109	100.0	138	100.0	190	100.0	141

	医療区分1		医療	区分2	医療	区分3	全体	
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
X1 注射·点滴日数 1日以上	6.6	124	16.9	141	63.0	173	18.4	154
X1 注射·点滴日数 2日以上	5.8	121	14.7	142	60.5	173	16.9	155
X1 注射·点滴日数 3日以上	4.5	127	11.6	144	58.4	175	14.8	159
X1 注射·点滴日数 4日以上	3.3	129	7.3	158	54.2	178	12.0	167
X1 注射·点滴日数 5日以上	2.6	124	6.0	156	50.4	176	10.6	166
X1 注射·点滴日数 6日以上	2.4	123	4.3	154	47.9	176	9.6	166
X1 注射·点滴日数 7日以上	2.1	127	4.1	156	46.6	178	9.2	168
X2a 注射·点滴 補液	6.0	122	13.4	142	44.5	175	14.2	153
X 2b 注射·点滴 抗生物質注射	4.5	125	12.4	136	42.4	178	12.8	154
X2b 感染症で抗生物質注射	0.5	142	5.1	134	21.4	179	5.2	161
X2c 注射·点滴 強心剤注射	0.0		0.2	56	5.5	179	0.8	171
X2d 注射・点滴 昇圧剤、降圧剤の持続点滴	0.0		0.2	80	2.5	224	0.4	203
X2e 注射·点滴 24時間持続点滴(過去7日間	0.4	109	0.8	154	42.0	162	6.5	160
全体	100.0	97	100.0	114	100.0	158	100.0	112

11 リハビリテーションの状態別ケア時間

■H18年度

	医療区分1		医病	医療区分2		区分3	全体	
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
X I 1 リハ 維持的及び積極的なリハが必要	81.7	109	72.3	138	68.1	194	74.1	140
X I 1 リハ 積極的なリハが必要な状態	20.8	101	16.3	123	9.7	192	16.1	124
X I 11 リハ リハ必要疾患発症から14日以内	0.0	•	1.3	108 L	2.7	199	1.2	151
X I 12 リハ リハ必要疾患発症から15-30日	0.0	,	3.0	130	1.8	197	1.9	144
X I 13 リハ リハ必要疾患発症から31-90日	7.3	113	6.0	162	8.6	212	6.9	161
X I 14 リハ リハ必要疾患発症から91-180日	9.6	106	7.6	145	5.0	154	7.6	132
X I 15 リハ リハ必要疾患発症から181日以上	64.4	109	54.1	135	49.6	195	56.0	138
全体	100.0	109	100.0	138	100.0	190	100.0	141

⁽注)医療区分1の↑印は医療区分2全体のケア時間より長い場合のもの、↑↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの。 医療区分2の↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの、↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。 医療区分3の↓印は医療区分2全体のケア時間より短い場合のもの、↓↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。

	医療区分1		医療区分2		医療区分3		全体	
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
X I 1 リハ 維持的及び積極的なリハが必要	80.8	98	81.5	116	69.3	154	79.4	111
X I 1 リハ 積極的なリハが必要な状態	10.3	107	7.6	117	3.4	144	8.3	113
X I 11 リハ リハ必要疾患発症から14日以内	0.0	•	0.5	133	0.0		0.2	133
X I 12 リハ リハ必要疾患発症から15-30日	0.0		3.0	108	1.3	197	1.3	121
X I 13 リハ リハ必要疾患発症から31-90日	6.8	101	3.1	113	2.5	191	4.9	110
X I 14 リハ リハ必要疾患発症から91-180日	7.7	101	5.6	113	7.6	135	6.9	110
X I 15 リハ リハ必要疾患発症から181日以上	65.2	97	68.1	116	57.1	153	65.1	111
全体	100.0	97	100.0	114	100.0	158	100.0	112

12 処置別ケア時間

■H18年度

	医療	区分1	医療	区分2	医療	区分3	全	体
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
XⅡ1a処置 抗がん剤療法	0.2	201 🕇 🕇	0.1	218 1	0.0	•	0.1	209
XⅡ1b処置 透析	0.0		3.1	195	0.3	198	1.6	195
XⅡ1c処置 胃瘻、腎瘻、人工肛門などの瘻の	16.2	115	32.6	143	37.2	191	29.0	152
X II 1d処置 ドレーン法・胸腹腔洗浄	0.0		0.0		1.5	147	0.3	147
X II 1e処置 酸素療法	0.0		0.0		41.9	201	9.2	201
X II 1f処置 放射線治療	0.0		0.0		0.0	•	0.0	
XIg処置 吸引(1日8回以上)	0.0		28.6	149	48.1	201	24.8	171
X II g処置 吸引(1日1~7回)	3.7	133	7.1	142	14.5	197	7.7	163
X II 1h処置 気管切開口・気管内挿管のケア	0.0		12.4	153	26.8	206	12.1	179
X II 1hc処置 発熱の伴う気管切開口・気管内	0.0		0.0		17.7	211	3.9	211
XII 1i処置 輸血	0.0		0.3	135	2.7	238	0.7	219
X II 1j処置 レスピレーター	0.0		0.0		6.8	237	1.5	237
X Ⅱ 1k処置 緩和ケア	0.2	48	0.5	170	0.6	292	0.5	187
XⅡ11処置 疼痛コントロール	1.4	62	4.1	145	1.8	197	2.8	141
X II 1m処置 膀胱留置カテーテル	4.3	123	9.7	163	30.7	210	12.8	184
XII1n処置 感染隔離室におけるケア	0.0		0.0		9.1	191	2.0	191
X II 1o処置 血糖チェック(1日3回以上)	0.0		8.4	151	6.2	212	5.5	166
X II 1 o処置 血糖チェック(週1回~1日2回)	3.2	102	5.0	149	10.3	202	5.7	163
X II 1p処置 インシュリン皮下注射(自己注射)	3.7	95	7.8	154	5.0	204	6.0	153
全体	100.0	109	100.0	138	100.0	190	100.0	141

⁽注) 医療区分1の↑印は医療区分2全体のケア時間より長い場合のもの、↑ ↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの。 医療区分2の↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの、↓ 印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。 医療区分3の↓印は医療区分2全体のケア時間より短い場合のもの、↓ ↓ 印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。

	医療	区分1	医療	区分2 医療		区分3	全体	
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
XII1a処置 抗がん剤療法	0.4	130	0.0		0.0		0.2	130
XⅡ1b処置 透析	0.0		5.5	107	1.7	139	2.2	110
XII1c処置 胃瘻、腎瘻、人工肛門などの瘻の処	10.6	103	24.0	123	25.2	173	17.5	127
X Ⅱ1d処置 ドレーン法・胸腹腔洗浄	0.0		0.0		0.8	111	0.1	111
XII1e処置 酸素療法	0.0		0.0		62.2	163	8.9	163
XII1f処置 放射線治療	0.1	179	0.0		0.8	200	0.2	193
XII1g処置 吸引(1日8回以上)	0.0		16.5	130	39.9	177	11.7	153
XII1h処置 吸引(1日1~7回)	10.6	116	15.7	122	31.5	154	15.4	129
XII1i処置 気管切開口・気管内挿管のケア	0.0		11.2	134	24.8	170	7.6	151
XII 1i処置 発熱のある気管切開口・気管内挿管	0.0		0.0		12.6	169	1.8	169
X II 1j処置 輸血	0.1	48	0.2	244	1.7	194	0.4	178
X II 1k処置 レスピレーター	0.0		0.0		2.9	188	0.4	188
XⅡ1Ⅰ処置 緩和ケア	1.1	102	1.8	107	2.1	194	1.5	122
XII1m処置 疼痛コントロール	2.8	100	3.6	111	2.9	179	3.1	115
XII1n処置 膀胱留置カテーテル	3.5	110	13.2	126	31.9	171	11.1	142
XIIIo処置 感染隔離室におけるケア	0.0		0.0		2.9	203	0.4	203
X Ⅱ1p処置 血糖チェック(1日3回以上)	0.0		2.6	124	2.5	220	1.3	150
X II 1q処置 血糖チェック(週1回~1日2回)	7.4	108	7.3	114	9.2	135	7.6	115
X II 1r処置 インシュリン皮下注射(自己注射除く	4.4	97	5.3	112	2.1	188	4.4	109
全体	100.0	97	100.0	114	100.0	158	100.0	112

平成18年度「慢性期入院医療の包括評価に関する調査」 《タイムスタディ調査 集計結果速報》

1 患者1人1日当り総ケア時間

■医療療養病棟における患者1人1日当り総ケア時間(平均)

	平成18年度調査	平成16年度調査
患者数	2,997人	3,538人
総ケア時間	205分	176分
(再掲)間接ケア時間	28分	27分
(再掲)個別ケア時間	177分	149分

[※]平成18年度調査(速報版)は、70病院における療養病棟入院基本料2を算定している病棟を対象とした もの。

個別ケア時間は、調査対象病棟の各患者のケアに要した時間とした。

■個別ケア時間の職種別内訳

	平成18年度調査	平成16年度調査
個別ケア時間	177分	149分
(再掲)医師	5分	3分
(再掲)看護師	44分	34分
(再掲)准看護師	38分	35分
(再掲)看護補助者	69分	61分
(再掲)リハスタッフ	13分	10分
(再掲)その他職種	8分	6分

平成16年度調査は、89病院における療養病棟入院基本料及び特殊疾患療養病棟入院基本料を算定している病棟を対象としたもの。

[※]間接ケア時間は、「食事・休憩等」と「病棟外の活動」の時間を除く、「会議・研修等」、「定期的書類作成」、「管理・運営」、「病棟維持・管理」の時間とした。

■患者1人1日当り職種別人件費重み付けケア時間

	平成18年度調査	平成16年度調査
個別ケア時間	151分	121分
(再掲)医師	16分	10分
(再掲)看護師	44分	34分
(再掲)准看護師	34分	28分
(再掲)看護補助者	41分	36分
(再掲)リハスタッフ	10分	8分
(再掲)その他職種	7分	5分

[※]職種別人件費重み付けケア時間は、患者1人1日当りの個別ケア時間に職種別の人件費の相対比を乗じて算定した。平成18年度と平成16年度の職種別人件費の相対比は、下表のとおりとした。

職種別人件費の相対比

	H18		H16		
職種	人件費 (円/時間)	相対比	人件費 (円/時間)	相対比	
医師	7,631 円	3.35	7,352 円	2.95	
看護師	2,276 円	1.00	2,488 円	1.00	
准看護師	1,997 円	0.88	2,023 円	0.81	
看護補助者	1,349 円	0.59	1,454 円	0.58	
リハスタッフ(PT,OT,ST)	1,802 円	0.79	2,046 円	0.82	
その他職種(MSW,薬剤師,栄養士,その他)	1,808 円	0.79	2,139 円	0.86	

2 患者分類(11区分)別のケア時間の状況

■患者分類(11区分)別の患者1人1日当り職種別人件費重み付けケア時間(リハスタッフ分を除く)

平成18年度	単位:分			
	医療区分1	医療区分2	医療区分3	全体
ADL区分3	134	151	193	162
LADI ET ALO	110	100	474	100

ADL区分3	134	151	193	162	
ADL区分2	118	136	171	133	
ADL区分1	93(認)	107(認)	119	97	
	87	105	119	ופ	
全体	111	133	185	141	

平成16年度	調査			単位:分
	医療区分1	医療区分2	医療区分3	全体
ADL区分3	112	127	173	132
ADL区分2	103	122	155	113
ADL区分1	85(認)	103(認)	106	83
ADLEST	75	89	, 00	83
全体	96	118	164	113

[※]リハスタッフ分を除いた患者1人1日当り職種別人件費重み付けケア時間である。

■患者分類(11 区分)別の患者1人1日当り職種別人件費重み付けケア時間の相対比

平成18年度調査

十八10千尺	医療区分1	医療区分2	医療区分3	全体
ADL区分3	0.953	1.073	1.372	1.149
ADL区分2	0.838 0.966		1.212	0.942
ADI E A1	0.664	0.757	0.844	0.691
ADL区分1	0.621	0.743	0.644	0.091
全体	0.790	0.942	1.317	1.000

平成16年度調査

	医療区分1 医療区分		医療区分3	全体
ADL区分3	DL区分3 0.989 1.124		1.534	1.174
ADL区分2	0.914 1.082		1.371	1.002
ADI ☑ △1	0.751	0.910	0.941	0.735
ADL区分1	0.662	0.789	0.941	0.733
全体	0.848	1.047	1.450	1.000

平成18年度調査

全体

■患者分類(11区分)別の患者数分布

8.6

29.6

医療区分1 医療区 ADL区分3 7.8 28. ADL区分2 10.5 11.9 2.7 2.0 ADL区分1

僚区分2	医療区分3	全体	
28.9	16.8	53.5	
11.9	3.0	25.4	
2.0	1.3	21.1	
6.5	1.3	21.1	
49.3	21.1	100.0	

単位:%

平成16年度	調査			単位:%
	医療区分1	医療区分2	医療区分3	全体
ADL区分3	13.9	18.9	9.8	42.5
ADL区分2	16.7	11.2	1.5	29.4
ADL区分1	4.4	2.1	1.4	28.1
ADLEST	14.2	6.0	1.4	20.1
全体	49.2	38.2	12.6	100.0

[※]最大値と最小値に網掛け

3 医師による直接医療提供頻度及び看護師による直接看護提供頻度別ケア時間

■H18 年度 医師による直接医療提供頻度

		医规	医療区分1		区分2	医療	区分3	全体	
		割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
	I31 医師医療提供頻度 指示ほとんどなし	47.2	107	27.8	130	9.7	154	29.7	121
1	I 32 医師医療提供頻度 週1回程度	41.8	113	43.7	138	33.8	163	41.0	135
	I 33 医師医療提供頻度 週2~3回程度	6.9	131	21.5	150	28.4	201	18.6	164
*	I34 医師医療提供頻度 毎日	1.4	162 1	4.8	179	19.7	201	6.9	191
*	I 35 医師医療提供頻度 1日数回	0.2	166 ↑	0.3	108 1	2.9	236	0.8	205
*	I 36 医師医療提供頻度 24時間体制	0.1	118	0.1	202 †	4.1	248	1.0	240
	全体	100.0	111	100.0	140	100.0	185	100.0	141

⁽注) 医療区分1の↑印は医療区分2全体のケア時間より長い場合のもの、↑↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの。 医療区分2の↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの、↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。 医療区分3の↓印は医療区分2全体のケア時間より短い場合のもの、↓↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。 左端の*印の項目は、別紙4の共通病院での比較で傾向の違いが見られたもの(矢印の向き又は有無)。

■H16年度 医師による直接医療提供頻度

	医排	医療区分1		医公分2	医療	区分3	全体	
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
I 31 医師医療提供頻度 指示ほとんどなし	51.0	89	33.2	110	9.2	122	38.9	97
I32 医師医療提供頻度 週1回程度	39.1	101	47.3	117	35.3	145	41.7	113
I33 医師医療提供頻度 週2~3回程度	7.0	110	13.8	131	26.8	169	12.1	136
I34 医師医療提供頻度 毎日	2.1	108	4.4	140	18.1	188	5.0	155
I 35 医師医療提供頻度 1日数回	0.0		0.4	224	3.1	225	0.5	224
I 36 医師医療提供頻度 24時間体制	0.1	189	0.4	136	7.2	204	1.1	193
全体	100.0	96	100.0	118	100.0	164	100.0	113

■H18 年度 看護師による直接看護提供頻度

-		医療区分1		医療	区分2	医療区分3		全体	
		割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
	I 41 看護提供頻度 定時の観察のみ	58.4	103	27.3	121	10.3	142	32.9	113
	I 42 看護提供頻度 定時以外1日1回~数回	34.5	120	46.9	141	36.9	176	41.1	142
*	I43 看護提供頻度 頻回の観察	5.5	141 ↑	19.5	162	35.0	189	18.6	171
	I 44 看護提供頻度 24時間観察	1.2	133	6.2	140	17.1	224	7.0	183
	全体	100.0	111	100.0	140	100.0	185	100.0	141

⁽注) 医療区分1の↑印は医療区分2全体のケア時間より長い場合のもの、↑↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの。 医療区分2の↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの、↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。 医療区分3の↓印は医療区分2全体のケア時間より短い場合のもの、↓↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。 左端の*印の項目は、別紙4の共通病院での比較で傾向の違いが見られたもの(矢印の向き又は有無)。

■H16年度 看護師による直接看護提供頻度

	医療	医療区分1		医分2	医療	区分3	全体	
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
I 41 看護提供頻度 定時の観察のみ	62.0	89	36.5	102	9.4	121	45.6	94
I42 看護提供頻度 定時以外1日1回~数回	32.6	106	45.9	122	33.3	150	37.8	118
I43 看護提供頻度 頻回の観察	4.4	116	13.9	143	34.9	169	11.9	148
I 44 看護提供頻度 24時間観察	0.5	100	3.3	140	22.1	193	4.3	172
全体	100.0	96	100.0	118	100.0	164	100.0	113

4 記憶に関する状態別のケア時間

■H18 年度

	医療	医療区分1		区分2	区分2 医规		全体	
	割合%	ケ ア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
Ⅱ1 意識障害者である	8.3	130	24.3	150	35.3	194	21.9	163
II 4a-f せん妄の兆候がみられる	0.0		14.1	155	48.7	196	8.7	170
全体	100.0	111	100.0	140	100.0	185	100.0	141

(注1)医療区分1の↑印は医療区分2全体のケア時間より長い場合のもの、↑↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの。 医療区分2の↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの、↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。 医療区分3の↓印は医療区分2全体のケア時間より短い場合のもの、↓↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。 左端の*印の項目は、別紙4の共通病院での比較で傾向の違いが見られたもの(矢印の向き又は有無)。

(注2)「せん妄の兆候」は、以下の6項目のうち「この7日間は通常の状態と異なる」に該当する項目が1つ以上ある場合とした。 a.注意がそらされやすい/b.周囲の環境に関する認識が変化する/c.支離滅裂な会話が時々ある/ d.落ち着きがない/e.無気力/f.認知能力が1日の中で変動する

	医療	医療区分1		区分2	医療	区分3	全体	
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
Ⅱ1 意識障害者である	9.8	111	22.0	122	40.7	171	18.4	133
Ⅱ 4a-f せん妄の兆候がみられる	0.0	•	3.6	135	3.1	158	1.8	140
全体	100,0	96	100.0	118	100.0	164	100.0	113

⁽注)「せん妄の兆候」は、以下の6項目のうち「この7日間は通常の状態と異なる」に該当する項目が1つ以上ある場合とした。 a.注意がそらされやすい/b.周囲の環境に関する認識が変化する/c.支離滅裂な会話が時々ある/ d.落ち着きがない/e.無気力/f.認知能力が1日の中で変動する

5 気分と行動に関する状態別ケア時間

■H18年度

	医療区分1		医猪	医療区分2		医療区分3		体
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
IV1a-g うつ状態(回答点数合計が4点以上)	0.0		14.1	131	3.0	181	7.6	135
IV2a 問題行動 徘徊が毎日	1.1	105	2.8	136	0.2	153	1.7	131
IV2b 問題行動 暴言が毎日	0.9	135	4.3	138	1.9	183	2.8	144
IV2c 問題行動 暴行が毎日	0.0		3.8	135	1.1	186	2.1	141
IV2d 問題行動 不適当行為が毎日	2.4	144 ↑	5.3	147	2.4	221	3.8	156
IV2e 問題行動 ケア抵抗が毎日	2.4	140 ↑	6.2	136	4.4	209	4.7	151
全体	100.0	111	100.0	140	100.0	185	100.0	141

- (注1) 医療区分1の↑印は医療区分2全体のケア時間より長い場合のもの、↑↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの。 医療区分2の↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの、↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。 医療区分3の↓印は医療区分2全体のケア時間より短い場合のもの、↓↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。 左端の*印の項目は、別紙4の共通病院での比較で傾向の違いが見られたもの(矢印の向き又は有無)。
- (注2)「うつ状態」は、以下の7項目の回答点数(1点:3日間のうち1・2日観察された/2点:3日間のうち毎日観察された)の合計が4点

	医療	医療区分1		医療区分2		医療区分3		体
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
IV1a-g うつ状態(回答点数合計が4点以上)	0.0		11.4	118	5.1	163	5.0	124
IV2a 問題行動 徘徊が毎日	2.4	98	1.8	136	0.2	341	1.9	115
IV2b 問題行動 暴言が毎日	1.1	104	3.6	129	1.8	128	2.2	122
IV2c 問題行動 暴行が毎日	0.0		3.0	127	1.3	224	1.3	140
IV2d 問題行動 不適当行為が毎日	2.6	107	4.2	125	1.8	183	3.1	121
IV2e 問題行動 ケア抵抗が毎日	2.5	122	5.3	123	4.0	192	3.7	132
全体	100.0	96	100.0	118	100.0	164	100.0	113

- (注)「うつ状態」は、以下の7項目の回答点数(1点:3日間のうち1・2日観察された/2点:3日間のうち毎日観察された)の合計が4点 以上の場合とした。
 - 〜 → 〜 ∞ ロ こしん。 a. 否定的な言葉を言った/b. 自分や他者に対する継続した怒り/c. 現実には起こりそうもないことに対する恐れを表現した/ d.健康上の不満を繰返した/e.たびたび不安、心配事を訴えた/f.悲しみ、苦悩、心配した表情/g.何回も泣いたり涙もろい

6 疾患の状態別ケア時間

■H18年度

		医療	区分1	医療	区分2	医療	₹区分3	全	 :体
		割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
1	Vī1a疾患 糖尿病	14.7	108	17.1	144	13.2	191	15.5	143
	VI1b疾患 不整脈	5.5	113	5.5	150	6.3	187	5.7	148
	VI1c 疾患 うっ血性心不全	3.3	106	3.2	160	7.6	198	4.1	162
*	VI1d 疾患 急性心不全	0.2	139	0.2	111 L	1.1	201	0.4	168
1	VI1e 疾患 慢性心不全	8.7	120	7.7	139	14.9	186	9.5	149
	VIIf疾患 高血圧症	22.8	102	19.6	136	14.9	169	19.6	129
	VI1g 疾患 虚血性心疾患	5.3	120	5.3	140	4.3	205	5.1	145
	VI1h 疾患 大腿骨頚部骨折	8.2	106	5.9	145	3.8	180	6.2	134
	VI1i疾患 脊椎圧迫骨折	2.4	97	3.0	125	2.2	178	2.7	127
	VI1j疾患 その他の骨折	4.6	104	3.5	141	2.1	170	3.5	131
ļ	VI1k 疾患 関節リウマチ	1.7	124	2.4	127	1.1	212	1.9	137
1	Ⅵ11 疾患 アルツハイマー病	2.9	128	3.7	147	5.4	192	3.8	156
ı	VIim 疾患 失語症	6.8	118	9.0	144	8.7	192	8.3	148
*	VIin 疾患 脳性麻痺	0.3	152 1	0.7	154	0.3	143	0.5	153
	VI1o疾患 脳梗塞	38.1	111	34.5	140	36.0	187	35.9	141
	VI1p疾患 脳出血	18.2	120	16.4	142	16.0	186	16.8	144
	VI1q 疾患 アルツハイマー病以外の認知症	16.9	116	21.1	141	13.5	193	18.3	142
	VI1r疾患 片側不全麻痺/片麻痺	17.9	116	12.4	140	8.6	176	13.2	136
*	VI1s疾患 多発性硬化症	0.0		0.5	114	0.3	186	0.3	130
	VI1t 疾患 パーキンソン病関連疾患	0.0		13.7	134	7.0	192	8.2	145
	VI1u疾患 四肢麻痺	4.1	123	10.6	154	11.1	193	8.8	160
	VI.1v 疾患 仮性球麻痺	11.4	123	15.3	146	18.4	202	14.8	156
	VI1w 疾患 スモン	0.0		0.0		0.3	232	0.1	232
	VI1x 疾患 その他の神経難病	0.0		3.5	149	2.5	204	2.3	162
	VI 1y 疾患 神経難病以外の難病	0.0		3.2	120	1.4	177	1.9	129
	VI1z疾患 脊髄損傷	2.5	123	2.9	147	0.8	272	2.3	148
	VI1zu 疾患 脊髄損傷(四肢麻痺が伴う)	0.0		1.3	147	0.5	244	0.7	161
	VI1aa 疾患 喘息	2.4	94	2.6	143	5.4	162	3.1	139
	VI1ab 疾患 肺気腫/慢性閉塞性肺疾患(COPD	0.0		4.2	140	12.5	167	4.7	155
	VI1ac 疾患 がん(悪性腫瘍)	4.5	112	5.2	142	8.7	188	5.7	150
ļ	VI1acx 疾患 がん(疼痛コントロールが必要)	0.0		1.1	133	1.7	227	0.9	170
*	VI1ad 疾患 腸閉塞	0.7	123	0.8	139	3.5	187	1.3	163
	VI1ae 疾患 腎不全	3.4	102	5.2	156	4.3	198	4.5	152
*	VI1af 疾患 肝不全	0.6	99	0.5	126	1.0	160	0.6	130
,	VI2a 感染症 抗生物質耐性菌感染(たとえばMR	0.9	143 ↑	3.3	170	10.9	198	4.2	183
	VI2b 感染症 後天性免疫不全症候群(HIV感染含	0.0		0.0		0.2	163	0.0	163
	VI2c 感染症 肺炎	0.0		9.8	160	26.0	203	10.3	182
*	VI2d 感染症 上気道感染	0.9	136	2.7	145	3.2	196	2.3	159
	VI2e 感染症 敗血症	0.1	160 ↑	0.0		0.6	214	0.2	203
	VI2f 感染症 多剤耐性結核	0.0		0.0		0.0		0.0	
	VI2g 感染症 上記以外の結核	0.1	87	0.2	152	0.0		0.1	136
	VI2h 感染症 尿路感染症(過去30日間)	0.0		11.4	145	10.8	216	7.9	165
	VI2i 感染症 ウィルス性肝炎	1.0	121	0.7	152	0.0		0.6	137
*	VI2j 感染症 急性胆囊炎	0.3	171 🕇	0.3	196 1	1.3	188	0.5	187
	VI2k 感染症 急性腹膜炎	0.0		0.0		0.0		0.0	
	VI2I 感染症 急性膵炎	0.0		0.1	106 I	0.2	128 ↓	0.1	117
	VI2m 感染症 創感染	0.0		1.1	133	1.3	219	0.8	161
						L			1
	VI2n 感染症 皮膚の感染症	0.6	142 1	1.9	162	2.2	231	1.6	180

⁽注) 医療区分1の↑印は医療区分2全体のケア時間より長い場合のもの、↑↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの。 医療区分2の↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの、↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。 医療区分3の↓印は医療区分2全体のケア時間より短い場合のもの、↓↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。 左端の*印の項目は、別紙4の共通病院での比較で傾向の違いが見られたもの(矢印の向き又は有無)。

	医療	区分1	医療	区分2	医療	区分3	全	体
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
VI1a 疾患 糖尿病	13.8	97	16.2	116	12.5	155	14.6	111
VI1b 疾患 不整脈	4.6	94	4.6	109	9.6	182	5.2	120
VI1c 疾患 うっ血性心不全	7.2	99	10.3	111	17.2	168	9.7	119
VI1d 疾患 高血圧症	21.5	95	17.9	116	13.9	164	19.2	109
VIIe 疾患 虚血性心疾患	5.7	89	7.5	113	6.5	152	6.5	107
VI1f疾患 大腿骨頚部骨折	6.9	97	6.7	116	4.7	181	6.6	112
VI1g疾患 脊椎圧迫骨折	3.3	87	3.0	116	1.1	218	2.9	105
VI th 疾患 その他の骨折	4.0	90	2.9	127	2.2	161	3.4	108
VI ti 疾患 アルツハイマー病	7.4	104	6.2	121	3.8	185	6.5	116
Ⅵ1j 疾患 失語症	4.2	105	6.1	110	6.7	162	5.2	116
VI1k 疾患 脳性麻痺	0.6	93	0.4	88	0.4	122	0.5	95
Ⅵ11疾患 脳梗塞	40.8	99	36.3	119	31.5	170	37.9	114
VI1m 疾患 脳出血	15.8	97	14.8	120	20.1	170	16.0	117
VI in 疾患 アルツハイマー病以外の認知症	19.1	100	16.7	121	11.2	189	17.2	115
VI1o疾患 片側不全麻痺/片麻痺	15.0	102	12.9	122	10.1	166	13.6	115
VI1p 疾患 多発性硬化症	0.0		0.9	123	0.4	180	0.4	131
VI1q 疾患 パーキンソン病関連疾患	0.0		15.4	112	6.0	172	6.6	119
VI1r疾患 四肢麻痺	3.5	111	9.3	127	11.0	173	6.7	133
VI1s 疾患 その他の神経難病	0.0		4.7	126	8.7	182	2.9	147
VI1t 疾患 神経難病以外の難病	0.0	,	1.0	107	0.4	158	0.5	113
VI1u 疾患 脊髄損傷	1.7	88	2.3	116	1.3	209	1.9	112
VI1u 疾患 四肢麻痺を伴う脊髄損傷	0.0		1.1	133	0.4	313	0.5	154
VI 1v 疾患 喘息	2.1	99	2.4	121	3.1	138	2.3	114
VIIw 疾患 肺気腫/慢性閉塞性肺疾患(COPD)	0.0		3.5	103	11.2	144	2.7	124
VI1x 疾患 がん(悪性腫瘍)	5.1	100	5.8	113	6.5	157	5.5	114
VI1×疾患 疼痛コントロールが必要な悪性新生物	0.0		1.3	119	1.1	168	0.6	130
VI2a 感染症 抗生物質耐性菌感染(たとえばMR	0.6	117	3.0	127	9.6	181	2.6	151
VI2b 感染症 後天性免疫不全症候群(HIV感染含	0.0		0.2	97	0.0		0.1	97
VI2c 感染症 肺炎	0.0		11.5	129	29.8	185	8.1	155
VI2c 感染症 発熱を伴う肺炎	0.0		2.8	146	15.7	196	3.1	178
VI2c 感染症 発熱を伴わない肺炎	0.0		8.7	123	14,1	173	5.1	141
VI2c 感染症 肺炎(喀痰吸引1日8回以上)	0.0		3.2	135	16.6	194	3.3	173
VI2d 感染症 上気道感染	1.7	101	3.3	127	9.4	185	3.3	142
VI2e 感染症 敗血症	0.1	130	0.1	207	0.9	221	0.2	203
VI2f 感染症 多剤耐性結核	0.1	72	0.1	149	0.0	,	0.1	123
VI2g 感染症 上記以外の結核	0.1	85	0.4	101	0.7	102	0.3	98
VI2h 感染症 尿路感染症(過去30日間)	0.0		8.5	121	6.9	177	4.1	133
VI2i 感染症 ウィルス性肝炎	0.9	90	0.4	100	1.3	219	0.8	120
VI2j 感染症 創感染	0.0		1.3	135	2.0	163	0.7	144
Ⅵ2j 感染症 足以外の創傷処置と創感染	0.0		0.1	124	0.4	126	0.1	125
VI2j 感染症 足の創傷処置と創感染	0.0		0.3	125	0.2	146	0.1	129
VI2k 感染症 皮膚の感染症	0.6	107	1.4	134	2.7	196	1.2	144
全体	100.0	96	100.0	118	100.0	164	100.0	113

7 症状と状態別ケア時間

■H18年度

		医療	区分1	医療	区分2	医療	区分3	全	体
		割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間(分)	割合%	ケア時間 (分)
VII1a 問題‡	犬況 脱水	0.0		6.1	157	10.3	218	5.2	182
VII1b 問題和	犬況 妄想	2.8	121	6.8	138	2.5	246	4.7	147
VII1c 問題和	状況 発熱	2.9	155 ↑	13.3	159	44.7	196	16.9	180
Viild 問題地	状況 幻覚	1.7	115	3.9	134	2.4	207	2.9	143
* VII te 問題	伏況 体内出血	0.0		0.9	165	3.5	231	1.2	207
VII1f 問題制	大況 嘔吐	0.0		3.0	138	3.2	195	2.2	156
* VII1g 問題1		0.2	147 ↑	1.0	175	4.9	210	1.6	197
* VII1h 問題:	 状況 腹水	0.0		0.2	180	2.2	223	0.6	216
VII1i 問題∜	状況 高カルシウム血しょう	0.0		0.2	115	0.2	227	0.1	143
* VII1j 問題划	大況 悪疫質	0.1	152 ↑	0.3	154	2.2	210	0.7	193
VII1k 問題物	状況 消化管の通過障害	0.0		0.1	95 ↓	1.4	231	0.4	207
VII2a 痛み	頻度(痛みあるが毎日ではない以上)	21.3	108	19.1	141	11.1	189	18.1	135
VII2a 痛み	頻度(毎日)	11.2	107	10.5	147	7.3	207	10.0	143
VII2b 痛み	程度(中程度の痛み以上)	8.5	109	9.1	145	6.3	198	8.3	143
VII2b 痛み	程度(激しい痛み)	1.2	110	0.8	155	1.3	252	1.0	164
* VII3a 状態(の安定性 個室管理	0.5	144 †	1.1	142	9.8	214	2.8	196
VII3b 状態の	の安定性 急性症状発生	2.9	90	8.7	149	21.4	216	9.6	175
* VII3c 状態(の安定性 余命6ヶ月以下	0.6	148 ↑	0.4	201 🚶	4.3	257	1,3	234
全体		100.0	111	100.0	140	100.0	185	100.0	141

⁽注) 医療区分1の↑印は医療区分2全体のケア時間より長い場合のもの、↑↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの。 医療区分2の↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの、↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。 医療区分3の↓印は医療区分2全体のケア時間より短い場合のもの、↓↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。 左端の*印の項目は、別紙4の共通病院での比較で傾向の違いが見られたもの(矢印の向き又は有無)。

	医療	区分1	医療[区分2	医療	区分3	全体	
	割合%	ケア時間(分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
WI1a 問題状況 脱水	0.0		1.8	140	5.1	191	1.3	165
WI1b 問題状況 妄想	2.1	105	3.1	131	2.0	161	2.5	123
WIlc問題状況 発熱	2.7	118	13.6	136	39.8	178	11.5	152
WI1d 問題状況 幻覚	1.2	99	2.7	119	2.2	169	1.9	120
WI1e 問題状況 体内出血	0.0		1.0	117	3.1	163	0.8	140
VIIIf問題状況 嘔吐	0.0		1.7	158	2.9	147	1.0	154
WII2a 痛み 頻度(痛みあるが毎日ではない以上)	20.7	93	23.6	119	16.8	178	21.3	112
Ⅷ2a 痛み 頻度(毎日)	9.1	95	13.0	117	9.2	165	10.6	113
₩I2b 痛み 程度(中程度の痛み以上)	7.6	95	11.6	118	9.8	175	9.4	116
WI2b 痛み 程度(激しい痛み)	0.7	87	1.2	127	2.2	146	1.1	120
VII3a 状態の安定性 絶対安静	0.1	116	0.4	129	9.4	202	1.4	191
VII3b 状態の安定性 個室管理	0.4	128	1.0	115	7.2	206	1.5	171
VII3c 状態の安定性 急性症状発生	2.0	101	5.6	139	23.3	184	6.0	155
₩I3d 状態の安定性 余命6ヶ月以下	0.4	112	1.0	147	5.4	175	1.2	157
全体	100.0	96	100.0	118	100.0	164	100.0	113

8 栄養状態別ケア時間

■H18年度

	医绷	区分1	医療	区分2	医療	区分3	全体	
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
WII2a 中心静脈栄養	0.0		0.0	•	31.2	198	6.6	198
VII2b 末梢静脈栄養	1.6	160 †	3.7	183	17.9	207	6.1	196
WI2c 経管栄養(経鼻、胃瘻等)	17.8	124	45.8	151	43.7	189	37.1	156
WII2c 発熱のある経管栄養(経鼻、胃瘻等)	0.0	,	8.9	158	24.2	195	9.5	178
Ⅷ2c 嘔吐のある経管栄養(経鼻、胃瘻等)	0.0		2.0	150	2.1	199	1.4	165
Ⅷ2 摂取カロリーの割合 1%以上	18.0	132	49.2	152	78.8	194	46.2	164
WII2 摂取カリーの割合 26%以上	17.5	132	47.6	151	75.6	194	44.6	164
WII2 摂取カリーの割合 51%以上	17.2	131	46.9	151	73.7	193	43.7	164
Ⅷ2 摂取カロリーの割合 76%以上	16.5	132	46.0	151	70.8	193	42.5	164
WII2 摂取水分量 1cc以上	19.2	129	50.0	152	80.8	193	47.3	164
Ⅷ2 摂取水分量 501cc以上	18.5	129	48.0	152	77.0	194	45.4	164
™2 摂取水分量 1001cc以上	16.1	128	42.7	152	70.2	195	40.6	165
2 摄取水分量 1501cc以上	7.4	122	22.4	149	38.7	192	21.4	163
™2 摂取水分量 2001cc以上	0.7	148 🕇	2.6	160	5.7	180	2.7	168
全体	100.0	111	100.0	140	100.0	185	100.0	141

⁽注) 医療区分1の↑印は医療区分2全体のケア時間より長い場合のもの、↑↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの。 医療区分2の↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの、↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。 医療区分3の↓印は医療区分2全体のケア時間より短い場合のもの、↓↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。 左端の*印の項目は、別紙4の共通病院での比較で傾向の違いが見られたもの(矢印の向き又は有無)。

	医卵	·····································	医卵	医区分2	医规	₹区分3	全体	
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
垭2a 中心静脈栄養	0.0		0.0		19.9	161	2.5	161
Ⅷ2b 末梢静脈栄養	0.9	114	3.4	157	17.9	184	4.0	168
WII2c 経管栄養(経鼻、胃瘻等)	16.9	108	38.5	126	44.3	170	28.6	129
WII2c 発熱のある経管栄養(経鼻、胃瘻等)	0.0		8.1	130	18.1	174	5.4	148
2000 100 100 100 100 100 100 100 100 100	0.0		0.5	144	1.6	162	0.4	153
Ⅷ2 摂取カロリーの割合 1%以上	18.0	108	41.4	127	72.0	169	33.8	133
Ⅷ2 摂取カロリーの割合 26%以上	17.6	107	40.4	126	68.9	171	32.8	133
Ⅷ2 摂取カロリーの割合 51%以上	17.2	107	39.5	126	66.2	170	31.9	133
▼ 摂取カリーの割合 76%以上	17.0	107	38.9	126	62.6	168	31.1	132
™2 摂取水分量 1cc以上	18.7	110	42.7	128	74.0	170	34.9	134
™2 摂取水分量 501cc以上	17.4	109	39.5	127	69.4	171	32.4	134
WII 摄取水分量 1001cc以上	14.8	108	32.8	128	56.8	171	27.0	134
W12 摄取水分量 1501cc以上	6.6	112	15.8	127	28.4	162	12.9	133
垭2 摂取水分量 2001cc以上	0.3	96	2.1	128	2.9	149	1.4	130
全体	100.0	96	100.0	118	100.0	164	100.0	113

9 皮膚の状態別ケア時間

■H18年度

1		医療	区分1	医療	区分2	医療	区分3	全	体
		割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
Ì	IX1 褥瘡·潰瘍 2箇所以上	0.0		4.9	166	7.3	224	4.0	188
	X2a 褥瘡 2度以上	0.0		10.0	155	17.7	216	8.7	182
	IX2b うっ血性潰瘍 2度以上	0.0		1.3	177	1.3	233	0.9	194
*	区3a 皮膚他問題 すり傷、内出血	1.7	153 🕇	5.5	157	4.1	226	4.1	171
	IX3b 皮膚他問題 II 度以上の火傷	0.1	118	0.3	171	0.3	159	0.2	160
*	IX3c 皮膚他問題 潰瘍、発疹、切り傷以外の開加	0.2	147 🕇	2.8	156	3.2	220	2.1	176
	IX3d 皮膚他問題 発疹	8.2	107	12.9	147	13.9	181	11.7	147
	IX3e 皮膚他問題 痛みや圧迫に対して皮膚が鈍	4.6	114	11.5	151	13.3	213	9.8	163
	IX3f 皮膚他問題 裂傷または切り傷(手術創以外	0.5	160 †	1.8	150	1.0	231	1.2	164
*	IX3g 皮膚他問題 手術創	0.1	192 🕇 🕆	1.7	128	1.3	204	1.1	148
	IX4a 皮膚のケア 圧迫を取り除く用具を使用	41.5	127	63.4	150	81.3	194	60.7	157
	IX4b 皮膚のケア 体位変換	46.1	128	69.7	149	87.3	190	66.4	156
	IX4c 皮膚のケア 皮膚の治療を目的とした栄養・	2.9	121	11.5	161	9.5	203	8.5	167
	IX4d 皮膚のケア 潰瘍のケア	0.0		8.1	152	10.9	215	6.3	175
	IX4e 皮膚のケア 手術創のケア	0.0		2.4	145	1.9	214	1.6	163
	IX4f 皮膚のケア 足以外の創傷処置(外用薬使)	0.0		8.0	161	6.7	235	5.3	180
	区4g 皮膚のケア 軟膏や薬剤の使用(足以外)	14.2	111	26.1	148	25.4	199	22.4	153
	IX4h 皮膚のケア 広範な皮膚の処置	5.4	104	8.4	146	10.0	202	7.8	152
	IX4i 皮膚のケア その他の予防的・保護的皮膚の	10.0	133	24.0	152	22.7	211	19.6	163
	IX5a 足の問題とケア うおのめ、たこ等	1.0	108	2.3	164	1.7	195	1.8	161
	区5b 足の問題とケア 感染症(蜂巣炎、膿等)	0.0		1.4	142	2.2	177	1.2	156
	IX5c 足の問題とケア 開放創	0.0		0.6	157	0.5	285	0.4	189
	IX5d 足の問題とケア 過去90日間に爪やたこが	8.9	110	13.0	154	13.5	196	11.9	154
*	IX5e 足の問題とケア 保護的なケア	1.8	131	3.1	155	2.5	196	2.6	158
	IX5f 足の問題とケア 足の創傷処置	0.0		7.4	160	4.8	217	4.7	172
	全体	100.0	111	100.0	140	100.0	185	100.0	141

⁽注)医療区分1の↑印は医療区分2全体のケア時間より長い場合のもの、↑↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの。 医療区分2の↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの、↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。 医療区分3の↓印は医療区分2全体のケア時間より短い場合のもの、↓↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。 左端の*印の項目は、別紙4の共通病院での比較で傾向の違いが見られたもの(矢印の向き又は有無)。

	医療	区分1	医療	区分2	医療	区分3	全	体
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
IX1 褥瘡・潰瘍 2箇所以上	0.0		6.1	130	8.9	156	3.4	139
IX2a 褥瘡 2度以上	0.0		12.8	129	14.8	175	6.8	141
IX2b うっ血性潰瘍 2度以上	0.0		1.2	127	1.1	163	0.6	135
IX3a 皮膚他問題 すり傷、内出血	2.0	104	5.1	124	4.9	187	3.5	130
IX3b 皮膚他問題 II 度以上の火傷	0.1	77	0.1	87	0.4	167	0.1	124
IX3c 皮膚他問題 潰瘍、発疹、切り傷以外の開放	0.5	86	3.1	120	2.2	130	1.7	117
IX3d 皮膚他問題 発疹	9.8	100	12.9	122	13.2	169	11.4	119
区3e 皮膚他問題 痛みや圧迫に対して皮膚が鈍	3.4	113	8.4	127	9.8	179	6.1	134
IX3f 皮膚他問題 裂傷または切り傷(手術創以外	0.3	133	1.7	122	1.3	161	1.0	130
IX3g 皮膚他問題 手術創	0.1	89	1.0	119	3.6	198	0.9	157
IX4a 皮膚のケア 圧迫を取り除く用真を使用	39.5	108	59.0	125	79.6	170	52.0	127
IX4b 皮膚のケア 体位変換	50.3	108	69.6	125	84.6	170	62.0	126
IX4c 皮膚のケア 皮膚の治療を目的とした栄養や	2.6	111	9.6	128	12.1	188	6.5	139
IX4d 皮膚のケア 潰瘍のケア	0.0		10.4	124	10.5	169	5.3	135
区4e 皮膚のケア 手術創のケア	0.0		1.8	128	3.4	188	1.1	151
IX4f 皮膚のケア 足以外の創傷処置(外用薬使用	0.0		7.2	119	6.3	172	3.5	131
IX4g 皮膚のケア 軟膏や薬剤の使用(足以外)	15.5	99	27.9	120	28.4	170	21.8	121
IX4h 皮膚のケア その他の予防的・保護的皮膚の	14.4	102	23.9	124	30.2	172	20.0	125
区3 皮膚のケアの伴う開放創又は手術創	0.5	87	4.1	120	5.6	173	2.5	132
IX5a 足の問題とケア うおのめ、たこ等	4.5	109	6.3	121	6.7	194	5.5	127
IX5b 足の問題とケア 感染症(蜂巣炎、膿等)	0.0		1.3	1 42	0.7	183	0.6	148
IX5c 足の問題とケア 開放創	0.0		0.7	1 46	0.4	111	0.3	140
IX5d 足の問題とケア 過去90日間に爪やたこが	10.3	93	12.0	116	4.7	186	10.3	109
IX5e 足の問題とケア 保護的なケア	1.4	107	3.9	115	3.8	168	2.7	122
IX5f 足の問題とケア 足の創傷処置	0.0		7.9	118	4.3	188	3.5	129
全体	100.0	96	100.0	118	100.0	164	100.0	113

10 注射・点滴別ケア時間

■H18年度

ļ		医療	区分1	医療	区分2	医療	区分3	全	体
		割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
	X1 注射·点滴日数 1日以上	7.0	133	12.2	153	57.2	201	20.2	180
*	X1 注射·点滴日数 2日以上	4.6	143 🕇	9.4	161	54.5	202	17.5	186
	X1 注射·点滴日数 3日以上	4.2	149 1	7.8	164	51.3	202	15. 9	188
	X1 注射·点滴日数 4日以上	2.8	153 1	5.5	174	49.0	203	13.9	194
	X1 注射·点滴日数 5日以上	2.6	158 🕇	4.7	176	47.5	203	13.1	196
	X1 注射·点滴日数 6日以上	2.3	167 1	3.9	182	46.0	203	12.3	198
*	X1 注射·点滴日数 7日以上	2.0	162 †	3.4	188 1	44.8	203	11.7	199
	X2a 注射·点滴 補液	5.1	138	8.1	163	36.8	203	13.2	183
	X 2b 注射·点滴 抗生物質注射	2.4	158 ↑	5.7	174	31.1	221	10,1	204
	X2c 注射·点滴 強心剤注射	0.0		0.0		1.7	214	0.4	214
*	X2d 注射・点滴 昇圧剤、降圧剤の持続点滴	0.0		0.1	88 Ì	1.7	217	0.4	197
	X2e 注射·点滴 24時間持続点滴	0.0		0.0		41.4	203	8.7	203
	全体	100.0	111	100.0	140	100.0	185	100.0	141

⁽注) 医療区分1の↑印は医療区分2全体のケア時間より長い場合のもの、↑ ↑ 印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの。 医療区分2の↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの、↓ ↑ 印は医療区分1全体のケア時間より長い場合のもの。 医療区分3の↓印は医療区分2全体のケア時間より短い場合のもの、↓ ↓ 印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。 左端の*印の項目は、別紙4の共通病院での比較で傾向の違いが見られたもの(矢印の向き又は有無)。

	医療	区分1	医療	区分2	医鴉	区分3	全体	
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
X1 注射·点滴日数 1日以上	5.7	124	14.7	139	52.3	179	15.0	154
X1 注射·点滴日数 2日以上	4.7	119	12.3	143	49.9	178	13.3	156
X1 注射・点滴日数 3日以上	3.7	122	9.9	143	47.0	179	11.5	158
X1 注射·点滴日数 4日以上	2.6	126	6.6	154	42.3	180	9.2	165
X1 注射·点滴日数 5日以上	2.1	122	5.5	154	39.4	178	8.1	164
X1 注射·点滴日数 6日以上	1.9	122	4.3	154	36.5	177	7.2	165
X1 注射·点滴日数 7日以上	1.7	125	3.9	157	35.1	177	6.8	166
X2a 注射·点滴 補液	5.2	123	11.9	146	38.5	181	11.9	155
X2b 注射·点滴 抗生物質注射	3.7	129	10.1	145	36.7	188	10.3	161
X2b 感染症で抗生物質注射	0.5	128	4.7	144	21.7	194	4.8	172
X2c 注射·点滴 強心剤注射	0.1	90	0.1	124	3.8	183	0.6	172
X2d 注射・点滴 昇圧剤、降圧剤の持続点滴	0.0		0.1	127	2.5	188	0.4	179
X2e 注射·点滴 24時間持続点滴	0.0		0.0		30.4	169	3.8	169
全体	100.0	96	100.0	118	100.0	164	100.0	113

11 リハビリテーションの状態別ケア時間

■H18年度

_	医绷	医療区分1		区分2	医绷	₹区分3	全体	
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
X I 1 リハ 維持的及び積極的なリハが必要	70.9	112	65.2	139	53.9	190	64.5	139
X I 1 リハ 積極的なリハが必要な状態	18.8	102	13.4	126	6.2	189	13.5	123
X I 11 リハ リハ必要疾患発症から14日以内	0.0	•	1,1	109 J	1.7	202	0.9	145
X I 12 リハ リハ必要疾患発症から15-30日	0.0	•	3.9	132	1.3	187	2.2	139
X I 13 リハ リハ必要疾患発症から31-90日	10.8	111	6.2	152	7.0	193	7.7	143
X I 14 リハ リハ必要疾患発症から91-180日	10.0	108	7.5	140	6.2	154	8.0	131
X I 15 リハ リハ必要疾患発症から181日以上	48.9	113	45.4	137	36.3	195	44.5	139
全体	100.0	111	100.0	140	100.0	185	100.0	141

⁽注) 医療区分1の↑印は医療区分2全体のケア時間より長い場合のもの、↑↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの。 医療区分2の↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの、↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。 医療区分3の↓印は医療区分2全体のケア時間より短い場合のもの、↓↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。 左端の*印の項目は、別紙4の共通病院での比較で傾向の違いが見られたもの(矢印の向き又は有無)。

	医療区分1		医療	医療区分2		₹区分3	全体	
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
X I 1 リハ 維持的及び積極的なリハが必要	74.2	96	70.8	119	55.9	161	70.6	111
X I 1 リハ 積極的なリハが必要な状態	10.0	99	8.8	121	2.9	139	8.6	109
X I 11 リハ リハ必要疾患発症から14日以内	0.0		1.6	130	0.2	130	0.6	130
X I 12 リハ リハ必要疾患発症から15-30日	0.0		2.9	116	0.9	210	1.2	125
X I 13 リハ リハ必要疾患発症から31-90日	7.5	102	3.8	127	2.5	184	5.4	114
X I 14 リハ リハ必要疾患発症から91-180日	8.7	94	5.9	124	6.7	130	7.4	107
X I 15 リハ リハ必要疾患発症から181日以上	56.8	96	55.8	118	45.0	164	54.9	111
全体	100.0	96	100.0	118	100.0	164	100.0	113

12 処置別ケア時間

■H18年度

	医療	区分1	医療	区分2	医療	区分3	全	体
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
X II 1a処置 抗がん剤療法	0.2	140	0.3	175	0.6	298	0.3	217
X II 1b処置 透析	0.0	•	4.8	146	0.3	150	2.4	146
XII 1c処置 胃瘻、腎瘻、人工肛門などの瘻の処	11.2	120	28.5	150	32.2	194	24.1	158
XⅡ1d処置 ドレーン法・胸腹腔洗浄	0.0		0.0		1.1	132 ↓	0.2	132
X Ⅱ 1e処置 酸素療法	0.0	,	0.0		48.5	190	10.2	190
XII If処置 放射線治療	0.0		0.0		0.2	82 ↓	0.0	82
XⅡg処置 吸引(1日8回以上)	0.0		29.5	157	46.0	201	24.2	174
XⅡg処置 吸引(1日1~7回)	4.4	135	8.2	146	16.3	195	8.8	164
XII 1h処置 気管切開口・気管内挿管のケア	0,0		11.8	162	25.4	199	11.1	180
X II 1hc処置 発熱の伴う気管切開口・気管内挿	0.0		0.0		17.1	203	3.6	203
X II 1;処置 輸血	0.0		0.1	135	1.4	238	0.4	219
X II 1j処置 レスピレーター	0.0		0.0		5.2	229	1.1	229
XⅡ1k処置 緩和ケア	0.2	100	0.4	158	1.0	261	0.5	194
X II 11処置 疼痛コントロール	3.7	100	4.3	138	3.2	198	3.9	137
XII1m処置 膀胱留置カテーテル	4.8	133	12.3	161	36.0	200	15.1	178
X II in処置 感染隔離室におけるケア	0.0		0.0		9.0	199	1.9	199
X II 1o処置 血糖チェック(1日3回以上)	0.0		7.8	146	6.5	200	5.2	160
X II 1o処置 血糖チェック(週1回~1日2回)	3.4	102	4.3	147	6.8	206	4.5	155
X II 1p処置 インシュリン皮下注射(自己注射除	3.3	101	7.2	149	5.5	183	5.7	148
全体	100.0	111	100.0	140	100.0	185	100.0	141

⁽注)医療区分1の↑印は医療区分2全体のケア時間より長い場合のもの、↑↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの。 医療区分2の↑印は医療区分3全体のケア時間より長い場合のもの、↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。 医療区分3の↓印は医療区分2全体のケア時間より短い場合のもの、↓↓印は医療区分1全体のケア時間より短い場合のもの。 左端の*印の項目は、別紙4の共通病院での比較で傾向の違いが見られたもの(矢印の向き又は有無)。

	医療	区分1	医療	 表区分2	医療	区分3	全	体
	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)	割合%	ケア時間 (分)
X II 1a処置 抗がん剤療法	0.3	113	0.0		0.0		0.2	113
XⅡ1b処置 透析	0.0	•	5.2	102	1.1	144	2.1	105
XII 1c処置 胃瘻、腎瘻、人工肛門などの瘻の処	9.1	106	22.7	124	26.6	180	16.5	131
X II 1d処置 ドレーン法・胸腹腔洗浄	0.0		0.0		1.1	115	0.1	115
XⅡ1e処置 酸素療法	0.0		0.0		57.9	168	7.3	168
X II 1f処置 放射線治療	0.1	179	0.0		0.7	190	0.1	187
XII1g処置 吸引(1日8回以上)	0.0		18.7	134	45.2	178	12.8	154
X II 1h処置 吸引(1日1~7回)	10.7	117	15.2	125	26.8	171	14.4	133
XII ii処置 気管切開口・気管内挿管のケア	0.0	•	10.1	137	28.0	172	7.4	154
X II 1i処置 発熱のある気管切開口・気管内挿管	0.0		0.0		11.0	182	1.4	182
X II 1j処置 輸血	0.1	48	0.3	161	1.8	178	0.4	163
X II 1k処置 レスピレーター	0.0		0.0		11.0	181	1.4	181
X II 11処置 緩和ケア	0.7	97	1.8	112	2.2	204	1.3	127
XII 1m処置 疼痛コントロール	3.4	92	4.1	120	3.1	169	3.7	113
XII 1n処置 膀胱留置カテーテル	3.3	113	13.5	133	30.2	177	10.6	146
XII 1o処置 感染隔離室におけるケア	0.0	•	0.0		5.4	178	0.7	178
X II 1p処置 血糖チェック(1日3回以上)	0.0		2.7	117	3.1	194	1.4	138
X II 1q処置 血糖チェック(週1回~1日2回)	6.2	106	6.1	120	8.5	146	6.4	118
X II 1r処置 インシュリン皮下注射(自己注射除く	3.7	97	5.7	118	4.0	172	4.5	116
X Ⅱ 1r処置 血糖チェック1日3回以上でインシュリン皮゙	0.0	•	2.0	117	1.1	147	0.9	122
全体	100.0	96	100.0	118	100.0	164	100.0	113

平成18年度「慢性期入院医療の包括評価に関する調査」 《コスト調査 集計結果速報》

1 患者 1 人当り費用の算定

■H18 年度コスト調査 患者 1 人当り費用の算定結果

(単位:円)

		\ 			
	H18(n=50)				
費用内訳	1日当り費用	構成比			
給与費	11,168	5 7 .3%			
材料費	2,562	13.1%			
委託費	1,586	8.1%			
設備関係費	2,269	11.6%			
研究研修費	66	0.3%			
経費	1,672	8.6%			
その他	150	0.8%			
全体費用	19,505	100.0%			

- ※ タイムスタディ調査を実施した病棟を対象病棟とし、平成 18 年 11 月データにもとづいて、H16 年度のコスト算定方法と同様の方法にて算定した。
- ※ 現段階までに精査した調査票 50 病院分を集計の対象とした。対象病棟数は 20:1 病棟が 17、25:1 病棟 が 38 である。

<備考>

- ・給与費:給料、賞与、賞与引当金繰入額、退職給与費用など(病院長、役員含む)
- ·材料費:医薬品費、診療材料費、医療消耗器具備品費、給食用材料費
- ・委託費:検査委託費、給食委託費、寝具委託費など
- ・設備関係費:減価償却費、地代家賃、修繕費など
- ·研究研修費:研究費、研修費
- ・経費:福利厚生費、旅費交通費、職員被服費、通信費など
- ・その他:控除対象外消費税等負担額、本部費配賦額

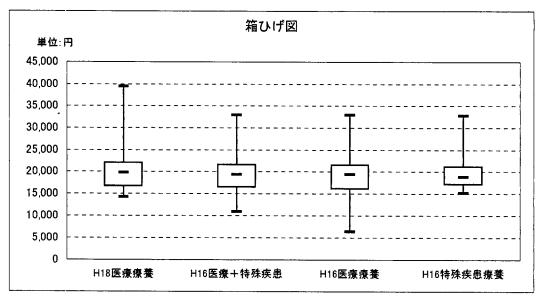
■(参考)H16 年度コスト調査 患者 1 人当り費用の算定結果

(単位:円)

						(+12:11)	
	H16(医療療養+特殊疾患療養)(n=65) (内訳)医療療養(n=54)		H16(医療療養+特殊疾患療養)(n=65) (内訳)医療療養(n=54) (内訳)特殊疾患			悬療養(n=26)	
費用内訳	1日当り費用	構成比	1日当り費用	構成比	1日当り費用	構成比	
給与費	10,703	56.1%	10,504	55.7%	11,160	57.0%	
材料費	2,189	11.5%	2,232	11.8%	2,091	10.7%	
委託費	1,349	7.1%	1,390	7.4%	1,256	6.4%	
設備関係費	1,962	10.3%	1,911	10.1%	2,079	10.6%	
研究研修費	67	0.4%	59	0.3%	85	0.4%	
経費	2,329	12.2%	2,328	12.3%	2,332	11.9%	
その他	478	2.5%	435	2.3%	579	3.0%	
全体費用	19,077	100.0%	18,858	100.0%	19,582	100.0%	

- ※ 費目の内容については上記参照。
- ※ H16年度の値は平成15年度年間データにもとづき算定。医療療養病棟及び特殊疾患療養病棟について整理したものである。

■H18 年度コスト調査及び H16 年度コスト調査における患者1人当り費用の分布状況



- ※ H16 年度:65 病院(医療療養病棟:54、特殊疾患療養病棟:26)、H18 年度:50 病院の分布である。
- ※ H16の算定結果は平成15年度年間データ、H18年度の算定結果は平成18年11月データにもとづく。
- ※ 患者1人当り費用は、患者1人1日当り費用である。

■H16 年度及び H18 年度コスト調査実施病院(23 病院)における比較

(単位:円)

		(早位:[7]			
	H18(n=23)				
費用内訳	1日当り費用	構成比			
給与費	10,902	56.2%			
材料費	2,369	12.2%			
委託費	1,837	9.5%			
設備関係費	2,325	12.0%			
研究研修費	95	0.5%			
経費	1,737	9.0%			
その他	124	0.6%			
全体費用	19,390	100.0%			

(単位:円)

H16(医療療養+		H16(医療療養+特殊疾患療養)(n=23)		療養(n=19)	(内訳)特殊疾患療養(n=10)		
費用内訳	1日当り費用	構成比	1日当り費用	構成比	1日当り費用	構成比	
給与費	10,974	55.1%	11,114	54.7%	10,702	55.8%	
材料費	2,300	11.5%	2,404	11.8%	2,098	10.9%	
委託費	1,541	7.7%	1,687	8.3%	1,257	6.6%	
設備関係費	2,305	11.6%	2,393	11.8%	2,133	11.1%	
研究研修費	68	0.3%	59	0.3%	84	0.4%	
経費	2,567	12.9%	2,464	12.1%	2,768	14.4%	
その他	176	0.9%	202	1.0%	126	0.7%	
全体費用	19,930	100.0%	20,324	100.0%	19,169	100.0%	

[※] H16 年度及び H18 年度の 2 ヵ年についてコスト調査を実施している病院(現段階までに精査した 23 病院)を対象とした。

■(参考)上記の比較対象病院のうち H16 年度に特殊疾患療養病棟のない病院について

	H18(n=	:11)	H16 医療療養(n=11)		
費用内訳	1日当り費用	構成比	1日当り費用	構成比	
給与費	12,459	56.8%	12,127	55.2%	
材料費	3,387	15.4%	2,833	12.9%	
委託費	1,995	9.1%	1,821	8.3%	
設備関係費	2,255	10.3%	2,338	10.6%	
研究研修費	94	0.4%	63	0.3%	
経費	1,684	7.7%	2,472	11.3%	
その他	49	0.2%	300	1.4%	
全体費用	21,923	100.0%	21,953	100.0%	

[※] H16 年度及び H18 年度の 2 ヵ年についてコスト調査を実施している病院 23 病院のうち、特殊疾患療養病棟を持たない病院(11 病院)を比較対象とした。

[※] H16 の算定結果は平成 15 年度年間データ、H18 の算定結果は平成 18 年 11 月データにもとづく。

[※] コスト調査の対象病棟は各年度におけるタイムスタディ調査実施病棟であるため、同一病棟であるとは 限らない。

[※] H16 の算定結果は平成 15 年度年間データ、H18 の算定結果は平成 18 年 11 月データにもとづく。

4 職種別人件費について

■H16 年度及び H18 年度の職種別人件費と相対比

	H18		H16	
職種	人件費 (円/時間)	相対比	人件費 (円/時間)	相対比
医師	7,631 円	3.35	7,352 円	2.95
看護師	2,276 円	1.00	2,488 円	1.00
准看護師	1,997 円	0.88	2,023 円	0.81
看護補助者	1,349 円	0.59	1,454 円	0.58
リハスタッフ(PT,OT,ST)	1,802 円	0.79	2,046 円	0.82
その他職種(MSW,薬剤師,栄養士,その他)	1,808 円	0.79	2,139 円	0.86

[※] H16年度:80病院、H18年度:50病院のデータにもとづく。

[※] H16 年度の値は平成 15 年度年平均値、H18 年度の値は平成 18 年 11 月データにもとづく。

平成18年度「慢性期入院医療の包括評価に関する調査」 《レセプト調査(タイムスタディ調査病棟) 集計結果速報》

1 レセプト調査票(タイムスタディ調査病棟)の集計件数

■タイムスタディ調査病棟における収集レセプト件数

病院数	タイムスタディ調査病棟 レセプト件数	タイムスタディ調査病棟 レセプト算定日数
77	2, 879	82, 504

[※]タイムスタディ調査を実施した病棟(医療療養病棟)の1ヶ月分のレセプトコピーを収集した。但し、必ずしも 調査基準日に属する月のレセプトとはなっていない。11月のレセプトコピーは64病院、12月のレセプトコピ ーは13病院である。

2 医療区分別・ADL区分別患者分類(5区分)の状況

■H18 年度レセプト調査(タイムスタディ調査病棟) 2006 年 11 月・12 月(77 病院、2,879 件)

	医療区分1	医療区分2	医療区分3	計
ADL区分3	7.6%	36.3%		
ADL区分2	ADL区分2 19.5%		29.8%	
ADL区分1	19.0 /0	6.8%		
計	27. 1%	43. 1%	29.8%	100.0%

[※]レセプトの算定実日数による構成比

■(参照)H18 年度国保支払分レセプト調査 2006 年 10 月(1,033 病院、42,881 件)

	医療区分1	医療区分2	医療区分3	計
ADL区分3	9.7%	43. 4%		
ADL区分2	20.39/	43. 4 /0	18.2%	
ADL区分1	20. 3%	8.4%		
計	30.0%	51.8%	18. 2%	100.0%

[※]レセプトの算定実日数による構成比

3 医療区分別・ADL区分別患者分類(9区分)の状況

■H18 年度レセプト調査(タイムスタディ調査病棟) 2006 年 11 月・12 月(77 病院、2,766 件)

	医療区分1	医療区分2	医療区分3	計
ADL区分3	7. 7%	24. 3%	22. 9%	54.9%
ADL区分2	10. 2%	12.6%	4.8%	27.6%
ADL区分1	9. 1%	6.5%	1.9%	17. 5%
計	27.0%	43. 4%	29. 5%	100.0%

[※]レセプトの算定実日数による構成比

■(参照)H18 年度国保支払分レセプト調査 2006 年 10 月(1,002 病院、40,227 件)

	医療区分1	医療区分2	医療区分3	計
ADL区分3	9.6%	26.8%	13.9%	50. 4%
ADL区分2	10.1%	16.8%	3.0%	30.0%
ADL区分1	9. 7%	8.4%	1.5%	19.6%
計	29. 5%	52.0%	18. 4%	100.0%

[※]レセプトの算定実日数による構成比

4 医療区分別·ADL区分別·認知機能障害加算別患者分類(11区分)

■H18 年度レセプト調査(タイムスタディ調査病棟) 2006 年 11 月・12 月(77 病院、2,497 件)

	医療区分1	医療区分2	医療区分3	計
ADL区分3	8.1%	24. 4%	22. 3%	54.8%
ADL区分2	10.3%	12. 7%	4.6%	27. 7%
ADIEAL	0.0%(認)	1.2%(認)	1.8%	17.5%
ADL区分1	9.0%	5. 5%	1.070	11.576
計	27. 4%	43.8%	28.8%	100.0%

[※]レセプトの算定実日数による構成比

■(参照)H18 年度国保支払分レセプト調査 2006 年 10 月(989 病院、31,399 件)

	医療区分1	医療区分2	医療区分3	計
ADL区分3	9.1%	26.0%	14. 5%	49.7%
ADL区分2	10.3%	16.8%	3.3%	30.3%
1.D.1.E.0.1	0.1%(認)	1.5%(認)	1.6%	20.0%
ADL区分1	10.1%	6.8%	1.070	20.076
計	29.6%	51.0%	19.5%	100.0%

[※]レセプトの算定実日数による構成比

平成18年度「慢性期入院医療の包括評価に関する調査」 《有床診療所の患者分類分布調査 集計結果》

1 有床診療所調査の集計件数

■都道府県別有床診療所数、医療療養病床数(有効回答件数)

都道府県	平成18		平成17年度調査
	有床診療所数	医療療養病床	有床診療所数
)1. 北海道	6	40	10
12. 青森県	6	50	7
3. 岩手県	3	24	3
)4. 宮城県	2	19	5
)5. 秋田県	ī	4	1
)6. 山形県			1
)7. 福島県	_		2
)8. 茨城県	_		
)9. 栃木県	2	16	-
0. 群馬県	1	5	1
11. 埼玉県		-	
12. 千葉県	1	3	2
13. 東京都	1	15	
14. 神奈川県	2	22	2
15. 新潟県	-	-	-
16. 富山県	<u>-</u>	-	
17. 石川県	2	16	2
18. 福井県	-	_	2
19. 山梨県	2	18	3
20.長野県	-	-	1
21. 岐阜県	6	49	7
22.静岡県	1	19	2
23. 愛知県	1	10	3
24. 三重県	1	10	2
25. 滋賀県		_	1
26. 京都府	_	_	1
27. 大阪府	-	-	-
28. 兵庫県	3	27	4
29. 奈良県	_		-
30. 和歌山県	2	16	2
31. 鳥取県	2	17	_
32. 島根県	-	-	2
33. 岡山県	1	4	3 .
34. 広島県	3	24	3
35. 山口県	2	24	1
36. 徳島県		-	1
37. 香川県	2	12	3
38. 愛媛県	3	29	8
20. 发版示 20. 宣加目	1	11	2
39. 高知県	15	119	18
40. 福岡県			
41. 佐賀県	6	46	6
42. 長崎県	8	52	10
43. 熊本県	9	75	18
44. 大分県	-	-	4
45. 宮崎県	1	6	5
46. 鹿児島県	12	106	21
47. 沖縄県	1	88	1
計	109	896	170

[※]平成18年度調査では、平成17年度に調査協力を頂いた診療所 225(有効回答を得た診療所数は 170)に調査依頼をし、 109の有床診療所から回答を得た。

2 有床診療所の医療区分別・ADL区分別患者分類(5区分)の状況

■2006 年 9 月末日,10 月末日,11 月末日の計 (n:109)

	医療区分1	医療区分2	医療区分3	計
ADL区分3	9.9%	27.7%		
ADL区分2	46.6%	21.170	3.5%	
ADL区分1		12. 3%		
計	56. 4%	40.0%	3.5%	100.0%

■2006 年 9 月末日 (n:109)

	医療区分1	医療区分2	医療区分3	計
ADL区分3	9.6%	27.6%		
ADL区分2	47.0%	21.076	4.1%	
ADL区分1		11.7%		
計	56. 7%	39. 3%	4.1%	100.0%

■2006年10月末日 (n:109)

	医療区分1	医療区分2	医療区分3	計
ADL区分3	10.2%	28, 4%		
ADL区分2	46. 8%	20. 4 /0	2.7%	
ADL区分1		11.8%		·
計	57.0%	40. 3%	2. 7%	100.0%

■2006年11月末日 (n:109)

	医療区分1	医療区分2	医療区分3	計
ADL区分3	9.7%	27. 2%		
ADL区分2	45.9%	21.2/0	3.8%	
ADL区分1		13. 4%		
計	55.6%	40.6%	3.8%	100.0%

3 有床診療所の医療区分別・ADL区分別患者分類(H17 年度調査との比較)

■H18 年度調査(2006 年 9 月末日,10 月末日,11 月末日の計 n:109)

1	医療区分1	医療区分2	医療区分3	計
ADL区分3	9.9%	27. 7%		
ADL区分2	46.6%	21.170	3.5%	
ADL区分1		12.3%		
計	56. 4%	40.0%	3.5%	100.0%

■H17 年度調査(患者特性調査 2005 年 9 月時点 n:170)

	医療区分1	医療区分2	医療区分3	計
ADL区分3	4.3%	9.5%	2.3%	16.1%
ADL区分2	6.9%	8.6%	1.0%	16.5%
ADL区分1	41.3%	24. 5%	1.6%	67. 4%
計	52. 4%	42.7%	4.9%	100.0%

4 H17 年度調査・H18 年度調査同一施設での比較

■H18 年度調査(2006 年 9 月末日,10 月末日,11 月末日の計 n:83)

	医療区分1	医療区分2	医療区分3	計
ADL区分3	6.8%	- 25. 3%	4.1%	
ADL区分2	51.9%			·
ADL区分1		11.9%		
計	58. 7%	37. 2%	4.1%	100.0%

■H17 年度調査(患者特性調査 2005 年 9 月時点 n:83)

	医療区分1	医療区分2	医療区分3	計
ADL区分3	3.7%	9.1%	2. 7%	15.5%
ADL区分2	6. 7%	10.6%	1.3%	18. 7%
ADL区分1	38.9%	25. 4%	1.5%	65. 8%
計	49. 3%	45. 1%	5.6%	100.0%